

海南市地域公共交通に関する市民アンケート 調査結果

令和5（2023）年1月

海 南 市

目 次

1. 実施概要.....	1
1.1 実施概要.....	1
1.2 調査物件.....	2
2. 結果概要.....	7
2.1 回答者の概要【質問 1,2】	7
2.2 回答状況.....	11
2.2.1 普段の移動について【質問 3～6】	11
2.2.2 海南市内の地域公共交通について【質問 7～13】	32
2.2.3 最近の生活スタイルについて【質問 14, 15】	61

1. 実施概要

1.1 実施概要

実施概要は、次のとおりです。

表 実施概要

項目	概要
対象	海南市民 ※高校生以上（2006(平成18)年4月2日生まれ以前）
方法	郵送配布・郵送回収 ※1通につき調査票2票を封入。2名までの回答を依頼
期間	2022(令和4)年8月5日発送 2022(令和4)年8月24日締切
有効配布数	1,968通
有効回収数	1,325票
主な調査項目	・個人属性 ・普段の外出状況 ・地域公共交通の利用状況 ・新型コロナによる外出と地域公共交通利用の変化 ・地域公共交通の今後に対する意見

※地域別の集計は、海南市都市計画マスタープランに基づき、地区を下記の通り集約して集計した。

- ・西部地域：黒江・船尾、日方、内海、大野、巽、亀川
- ・東部地域：中野上、北野上、南野上
- ・南部地域：下津、大崎、大東、塩津、加茂、仁義

1.2 調査物件

調査票等は、次の通りです。

依頼文

令和 4 年 8 月

海南市の地域公共交通に関するアンケートのお願い

市民のみなさまには、日頃から市政各般にわたりご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。このアンケート調査は、『海南市地域公共交通計画』策定のため、みなさまの日常的な移動の現状や、地域公共交通へのお考えなどをお伺いするために行うものです。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、下記に記載したご回答にあたっての留意点をご確認のうえ、アンケートにご回答いただけますよう、よろしくお願いいたします。

ご回答いただいた内容につきましては、集計して活用しますので、回答者の個人が特定されることはありません。また、回答者の情報を目的外に使用することはありません。

●アンケートのご回答にあたっての留意点●

- ・アンケート調査票は、2 通封入しています。
- ・1 通は本調査票を受け取られた宛名のご本人がご記入ください。
- ・高校生以上のご家族または知人がいらっしゃる場合には、もう 1 通へのご回答にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。（なるべく宛名のご本人と年齢層・性別・ふだん利用する交通手段が異なる方にお答えいただくようお願いします）

●調査票の回収について●

ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ

8 月 24 日（水）までに、

無記名のまま切手を貼らずにポストにご投函ください。

●お問合せ先●

海南市 総務部 市民交流課（海南市地域公共交通協議会事務局）

TEL：073-483-8455（8 時 30 分から 17 時 15 分まで（土、日、祝日を除く））

FAX：073-482-0099

メール：siminkoryu@city.kainan.lg.jp

海南市の地域公共交通に関するアンケート

◆ あなたご自身のことについて教えてください。

質問 1		あなたの性別や年齢、お住まいなどについて教えてください。【○はそれぞれ1つ】				
①性別	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答		
②年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代		
	5. 50歳代	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70～74歳		
	9. 75～79歳	10. 80～84歳	11. 85歳以上			
③お住まい (地区名)	1. 黒江・船尾	2. 日方	3. 内海	4. 冷水	5. 大野	6. 箕
	7. 亀川	8. 北野上	9. 中野上	10. 南野上	11. 下津	12. 大崎
	13. 大東	14. 塩津	15. 加茂	16. 仁義		
④世帯構成	1. 一人暮らし		2. 家族と同居(夫婦のみ)		3. 家族と同居(2.以外)	
	4. その他()					
⑤運転免許	1. 持っている	2. 返納した	3. 返納を検討中	4. 取得したことがない		

質問 2 あなたは、外出に際して介助等が必要ですか。【○は1つ】

1. ひとりで不自由なく外出できる 2. 介助があれば外出できる 3. 外出には全面的な介助が必要

◆ あなたの普段の移動について教えてください。

質問 3		通勤・通学についてお聞きします。			
①通勤・通学の 頻度 【○は1つ】	1. 週5日以上	2. 週3～4日	3. 週1～2日	4. 月に2～3日	
	5. 月に1日	6. 通勤・通学はしていない			→質問4へ
②通勤・通学先 【○は1つ】	1. 市内(自宅外)	2. 市内(自宅)	3. 和歌山市	4. 紀の川市	
	5. 有田市	6. 紀美野町	7. 有田川町	8. 和歌山県内その他	
	9. 大阪府内	10. その他			
③通勤・通学の 時間帯	行き⇒()時頃～()時頃 帰り⇒()時頃～()時頃				
④②への移動 手段 【利用するもの すべてに○】	1. 鉄道	2. 路線バス	3. コミュニティバス	4. 自家用車を運転	
	5. 自家用車で送迎	6. バイク・原付	7. タクシー	8. 自転車	
	9. 徒歩	10. なし(自宅)	11. その他		

質問 4 食料品・日用品など日常の買い物についてお聞きします。

①買い物に行く 頻度 【○は1つ】	1. ほぼ毎日	2. 週3～4日	3. 週1～2日	4. 月に2～3日	
	5. 月に1日	6. ほとんど行かない			→質問5へ
②最も利用する 買い物先 【○は1つ】	1. 松源 海南日方店		2. スーパーセンターオークワ海南店		3. ヒダカヤ海南店
	4. オークワ海南幡川店		5. エバグリーン海南店		6. 松源海南阪井店
	7. オークワ海南野上店		8. 松源下津店		
	9. 市内のその他の店(名称:)				
	10. 市外の店(市・町、名称:)				
③買物の時間帯	行き⇒()時頃～()時頃 帰り⇒()時頃～()時頃				
④②への移動 手段 【利用するもの すべてに○】	1. 鉄道	2. 路線バス	3. コミュニティバス	4. 自家用車を運転	
	5. 自家用車で送迎	6. バイク・原付	7. タクシー	8. 自転車	
	9. 徒歩	10. なし(ネット・通販等)	11. その他		

質問5 医療機関の利用（通院）についてお聞きします。				
①医療機関に行く頻度 【〇は1つ】	1. ほぼ毎日	2. 週3～4日	3. 週1～2日	4. 月に2～3日
	5. 月に1日	6. 体調が悪いときのみ	→質問6へ	
②最も利用する医療機関 【〇は1つ】	1. 海南医療センター 2. 谷口病院 3. 笠松病院 4. 石本病院 5. 恵友病院 6. 市内のその他の病院（名称：_____） 7. 市外の病院（_____市・町、名称：_____）			
③通院の時間帯	行き⇒（_____）時頃～（_____）時頃 帰り⇒（_____）時頃～（_____）時頃			
④②への移動手段 【利用するものすべてに〇】	1. 鉄道 2. 路線バス 3. コミュニティバス 4. 自家用車を運転 5. 自家用車で送迎 6. バイク・原付 7. タクシー 8. 自転車 9. 徒歩 10. その他			

質問6 質問3～5で答えた行き先に外出するとき、交通手段に関して困ることがありますか。下記の選択肢の表から当てはまる番号を選び、記入してください。			
	① 困ることがあるか 【1つ記入】	② 困る理由 【最大2つまで記入】	③ 困った場合の対応 【最大2つまで記入】
通勤・通学	（_____）	（_____, _____）	（_____, _____）
買い物	（_____）	（_____, _____）	（_____, _____）
通院	（_____）	（_____, _____）	（_____, _____）

↑

上記①～③について、下記の選択肢から選び、ご記入ください。

①の選択肢	1. よくある 2. 時々ある 3. ほとんどない	→質問7へ
②の選択肢	1. 行きの公共交通機関がない 2. 帰りの公共交通機関がない 3. 駅やバス停までが遠い 4. 複数の公共交通機関の乗り換えが大変 5. 交通渋滞により到着時間が遅れる 6. 目的地の周辺に駐車場がない 7. 身近に送迎をしてくれる人がいない 8. 移動に掛かる費用が高い 9. 真夏や悪天候時に徒歩や自転車で行くのが大変 10. その他	
③の選択肢	1. タクシーを利用する 2. 家族に送迎してもらう 3. 鉄道・バス等の公共交通機関を利用する 4. 近所の人に送迎してもらう 5. 徒歩または自転車を利用する 6. 外出するのをあきらめる 7. その他	

◆ 海南市内の地域公共交通について教えてください。

質問7 鉄道の利用についてお聞きします。				
①利用頻度 【〇は1つ】	1. ほぼ毎日	2. 週3～4日	3. 週1～2日	4. 月に2～3日
	5. 月に1日	6. ほとんど利用しない	→質問8へ	
②最も利用する駅【〇は1つ】	1. 海南駅 2. 黒江駅 3. 冷水浦駅 4. 加茂郷駅 5. 下津駅			
③不便や不満に感じる点 【〇は最大2つ】	1. 路線、時刻、乗換え等の情報がわかりにくい 2. 他の公共交通機関との乗り継ぎが不便 3. 混雑していて座れない時がある 4. 駅での移動（段差等）が大変 5. 利用したい時間帯に便が少ない 6. 駅の近くに駐車場や駐輪場が少ない 7. 特に不便や不満を感じる点はない 8. その他（_____）			

質問 8 市内を運行する路線バスについてお聞きします。	
①利用頻度 【〇は1つ】	1. ほぼ毎日 5. 月に1日 2. 週3～4日 6. ほとんど利用しない → 質問 9 へ 3. 週1～2日 4. 月に2～3日
②最も利用する会社【〇は1つ】	1. 和歌山バス 2. 大十バス 3. その他
③不便や不満に感じる点 【〇は最大3つ】	1. 路線、時刻、乗換え等の情報がわかりにくい 3. 混雑していて座れない時がある 5. 運行便数が少ない 7. 自宅や目的地からバス停までの移動が大変 9. 運行ルートが目的地を経由しない 11. 特に不便や不満を感じる点はない 2. 他の公共交通機関との乗り継ぎが不便 4. 利用したい時間帯に便がない 6. バス停の待合環境が悪い 8. 目的地までの所要時間が長い 10. 時刻表の時間から遅れることがある 12. その他 ()

質問 9 海南市コミュニティバス（コミバス）についてお聞きします。	
①コミバスをご存知ですか	1. 知っている（ルートや時刻表も含む） 2. 知っている（名前だけ） 3. 知らない → 質問 10 へ
②利用頻度 【〇は1つ】	1. ほぼ毎日 5. 月に1回 2. 週3～4日 6. ほとんど利用しない → 質問 10 へ 3. 週1～2日 4. 月に2～3日
③最も利用する路線 【〇は1つ】	1. KIP 線 5. 扱沢線 9. 戸坂線 2. 亀川線 6. 東畑線 10. 仁義線 3. 七山沖野々線 7. 東畑野上新線 11. 大崎線 4. 七山線 8. 鯉川線 12. わからない
④不便や不満に感じる点 【〇は最大3つ】	1. 路線、時刻、乗換え等の情報がわかりにくい 3. 混雑していて座れない時がある 5. 利用したい曜日の運行がない（土日祝日） 7. 運行便数が少ない 9. 自宅や目的地からバス停までの移動が大変 11. 運行ルートが目的地を経由しない 13. 特に不便や不満を感じることはない 2. 他の公共交通機関との乗り継ぎが不便 4. 利用したい曜日の運行がない（平日） 6. 利用したい時間帯に便がない 8. バス停の待合環境が悪い 10. 目的地までの所要時間が長い 12. 時刻表の時間から遅れることがある 14. その他 ()

質問 8 ①または質問 9 ②で「6. ほとんど利用しない」、質問 9 ①で「3. 知らない」を選んだ方のみお答えください。

質問 10 バスを利用しない理由は何ですか。【〇は最大3つ】	
1. 自分の行きたい目的地に行くバスがないから 3. 利用したい時刻にバスが走っていないから 5. 自宅の近くにバス停がないから 7. 目的地までの所要時間が長いから 9. バイク、自転車、徒歩で移動できるので必要ない 11. バスの運行ルートや停留所等を知らないから 13. その他 () 2. 利用したい曜日にバスが走っていないから 4. 運行間隔が長いから 6. 運賃が高いから 8. 自家用車で移動するのでバスを利用する必要がない 10. バスに乗る習慣がない 12. 高齢・ケガ・病気等の理由でバスを利用できない	

質問 11 市内での移動におけるタクシー利用についてお聞きします。	
①利用頻度 【〇は1つ】	1. ほぼ毎日 5. 月に1回 2. 週3～4日 5. 悪天候や緊急時のみ 3. 週1～2日 6. ほとんど利用しない → 質問 12 へ 4. 月に2～3日
②利用方法 【〇は1つ】	1. 街中を走行しているタクシーを停めて乗る 3. 電話で呼ぶ 2. タクシー乗り場から乗る 4. スマートフォンのアプリを使って呼ぶ
③不便や不満に感じる点 【〇は最大2つ】	1. 料金が安い 3. 呼んでも配車に時間がかかる 5. ドライバーの接客態度がよくない 7. 特に不便や不満を感じる点はない 2. 呼ぶ（電話）のが面倒 4. 料金が事前に分からない 6. ドライバーの運転が危ないと感じる 8. その他 ()

→裏面に続きます。

質問 12

コミュニティバスや路線バスが廃止された場合、お困りになりますか。→【○は1つ】
『困る』と回答された方は、代わりの移動手段についてお答えください。

1. 利用していないし、利用する予定もないので困らない。
2. 現在はあまり利用していないが、将来利用する可能性があるので、廃止されると困る。
3. 現在自分が利用しているので、廃止されると困る。
4. 現在家族が利用しているので、廃止されると困る。

代わりの移動手段は？
【○はいくつでも】

1. ない	2. 自動車（自分で運転）	3. 自動車（自分以外が運転）
4. タクシー	5. 自転車	6. バイク・原付
	7. その他	

質問 13-①

海南市では、市民の皆様が生活しやすい環境となるように、コミュニティバスの運行や路線バスの運行支援に毎年約 4,200 万円（市民 1 人当たり約 866 円/年）の財政負担（税金での負担）をしています。
今後の地域公共交通に対する財政負担の考え方について、お答えください。【○は1つ】

1. 市民負担や財政負担を増やしても、今以上に地域公共交通サービスの向上を図るべき
2. 現在と同程度の財政負担を維持したまま、運行の効率化や見直しを行いサービスの向上を図るべき
3. これまでどおり財政負担を続け、現在と同様の地域公共交通サービスを維持していくべき
4. 市民がもっと地域公共交通を利用して、市の財政負担を減らすように協力していくべき
5. 環境対策の面からマイカー利用を減らし、バス等の地域公共交通の利用を増やすべき
6. 利用者の少ない路線は廃止や便数の縮小等を図ることにより、市の財政負担を減らしていくべき
7. 海南市コミュニティバスは、廃止するべき

上記 13-①で『1.』『2.』を回答された方のみお答えください

質問 13-②

具体的に向上が望まれるサービスは何ですか。【○は最大3つ】

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. バスの運行本数を増やす | 2. コミュニティバスを平日毎日運行する |
| 3. コミュニティバスを上日祝日も運行する | 4. いろいろな目的地に乗換えなしで行けるようにする |
| 5. バスの待合環境を向上する（ベンチ、上屋、照明等） | 6. バスの利用に関する分かりやすい情報発信を行う |
| 7. バス停の数を増やす | 8. 自宅の近くまでくる予約型乗合タクシーを導入する |
| 9. タクシーを安く使える利用補助券を配布する | |
| 10. その他（ | ） |

◆ あなたの最近の生活スタイルについて教えてください。

質問 14

新型コロナウイルス感染症（コロナ禍）の影響について【○はそれぞれ1つ】

①外出頻度	1. コロナ禍前より減った	2. コロナ禍前と変わらない	3. コロナ禍前より増えた						
②公共交通利用頻度	1. コロナ禍前より減った	2. コロナ禍前と変わらない	3. コロナ禍前より増えた						
▶代わりに増えた交通手段 【○はいくつでも】	<table border="0"> <tr> <td>1. 徒歩</td> <td>2. 自転車</td> <td>3. 自動車（自分で運転）</td> </tr> <tr> <td>4. 自動車（自分以外が運転）</td> <td>5. 自動二輪・原付</td> <td>6. タクシー</td> </tr> </table>			1. 徒歩	2. 自転車	3. 自動車（自分で運転）	4. 自動車（自分以外が運転）	5. 自動二輪・原付	6. タクシー
1. 徒歩	2. 自転車	3. 自動車（自分で運転）							
4. 自動車（自分以外が運転）	5. 自動二輪・原付	6. タクシー							
③公共交通利用への安心感	<table border="0"> <tr> <td>1. 安心して利用</td> <td>2. 安心できないがやむを得ず利用</td> <td>3. 安心できないので利用を控えている</td> </tr> </table>			1. 安心して利用	2. 安心できないがやむを得ず利用	3. 安心できないので利用を控えている			
1. 安心して利用	2. 安心できないがやむを得ず利用	3. 安心できないので利用を控えている							

質問 15

ご自身でスマートフォンなどをお持ちですか【○は1つ】

1. スマートフォン・タブレット	2. 携帯電話（スマートフォン以外）	3. 持っていない						
▶利用する機能は？ 【○はいくつでも】	<table border="0"> <tr> <td>1. 通話</td> <td>2. メール・SNS（LINE など）</td> <td>3. インターネット</td> </tr> <tr> <td>4. 路線・乗換検索</td> <td>5. キャッシュレス決済（PayPay など）</td> <td>6. その他</td> </tr> </table>		1. 通話	2. メール・SNS（LINE など）	3. インターネット	4. 路線・乗換検索	5. キャッシュレス決済（PayPay など）	6. その他
1. 通話	2. メール・SNS（LINE など）	3. インターネット						
4. 路線・乗換検索	5. キャッシュレス決済（PayPay など）	6. その他						

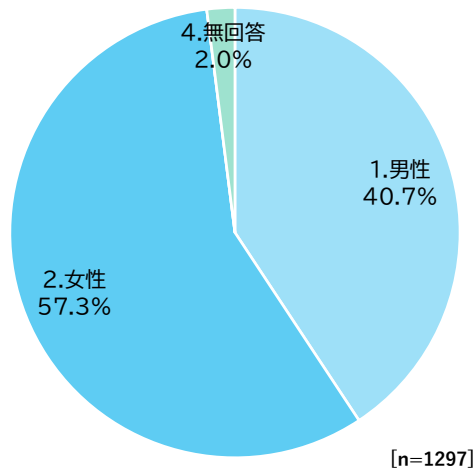
※※ アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。 ※※

2. 結果概要

2.1 回答者の概要【質問 1, 2】

(1) 性別

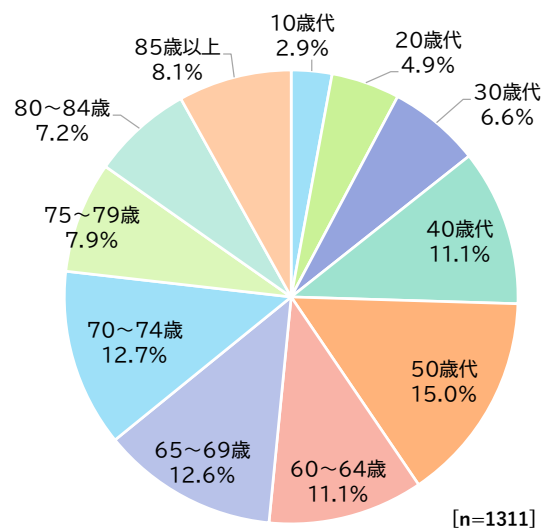
回答者の性別については、約 57%が女性となっています。



※不明、複数回答を除く

(2) 年齢

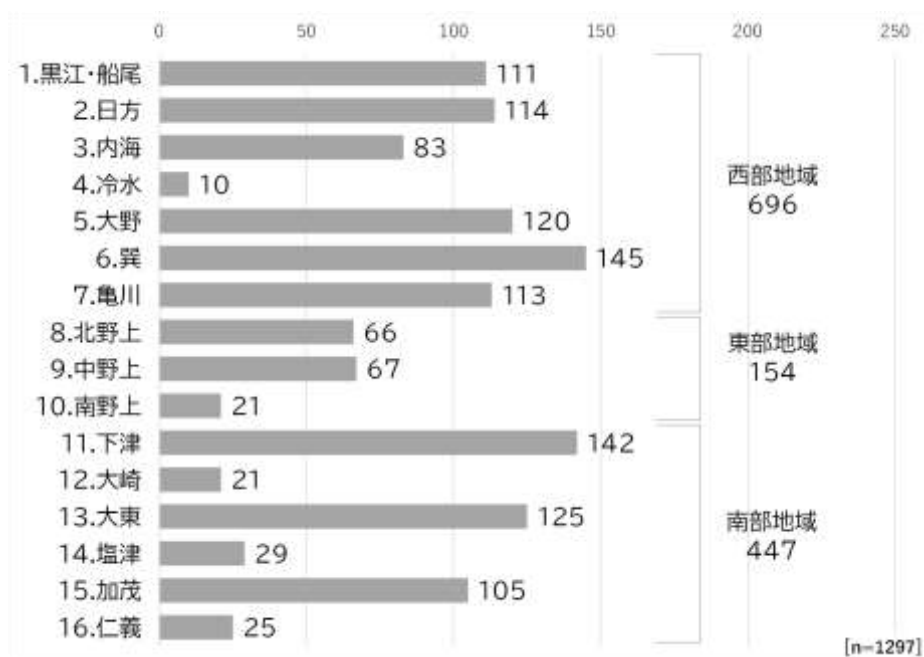
回答者の年齢については、約 48%が 65 歳以上、約 23%が 75 歳以上の高齢者となっています。



※不明、無回答、複数回答を除く

(3) 居住地

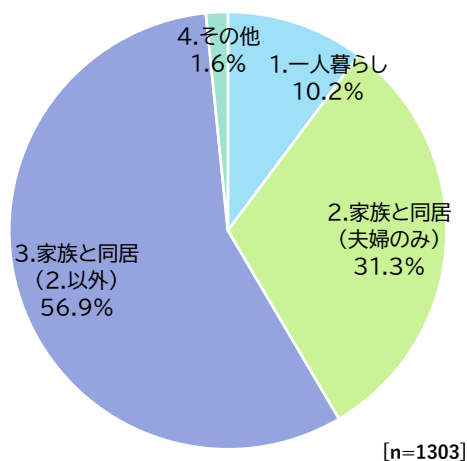
回答者の居住地については、約 54%が西部地域、約 12%が東部地域、約 34%が南部地域となっています。



※不明、無回答、複数回答を除く

(4) 世帯構成

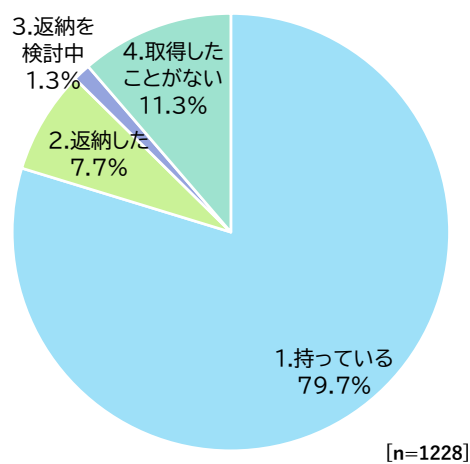
回答者の世帯構成については、約 57%が家族と同居（夫婦のみ以外）で最も多く、次いで、家族と同居（夫婦のみ）が約 31%となっており、一人暮らしは全体の約 10%となっています。



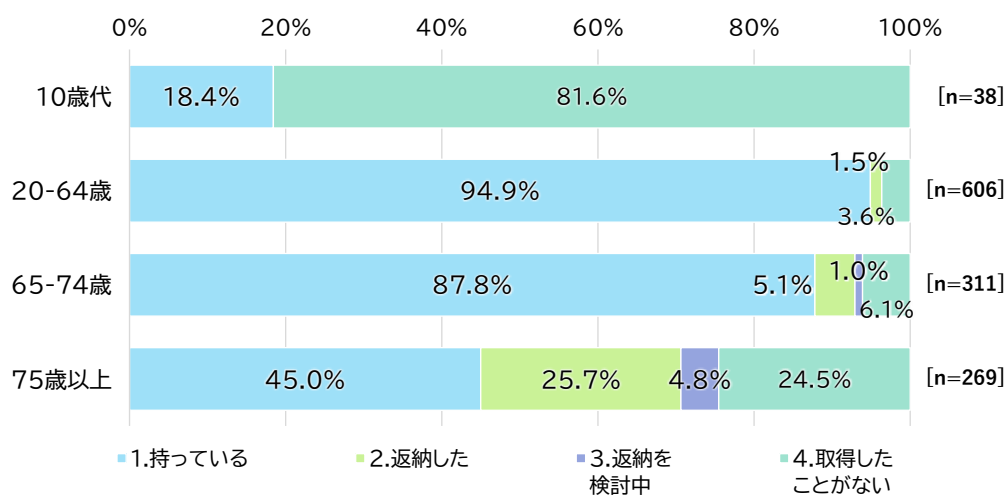
※不明、無回答、複数回答を除く

(5) 運転免許の保有状況

回答者の約80%が運転免許を保有し、（以前保有していたが）返納したが約8%となっています。年齢別に見ると、10歳代、75歳以上で保有率が低く、10歳代では約18%、75歳以上は約45%の保有率となっています。75歳以上では、約26%が既に運転免許を返納したと回答しています。



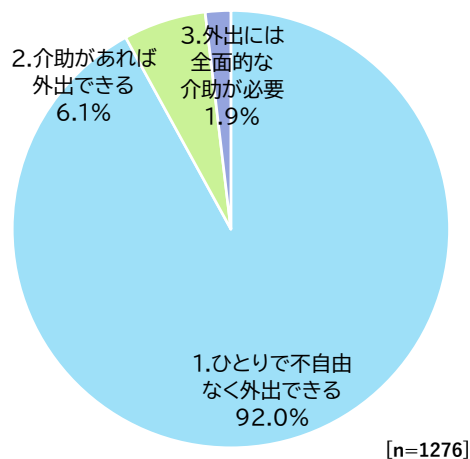
【年齢別】



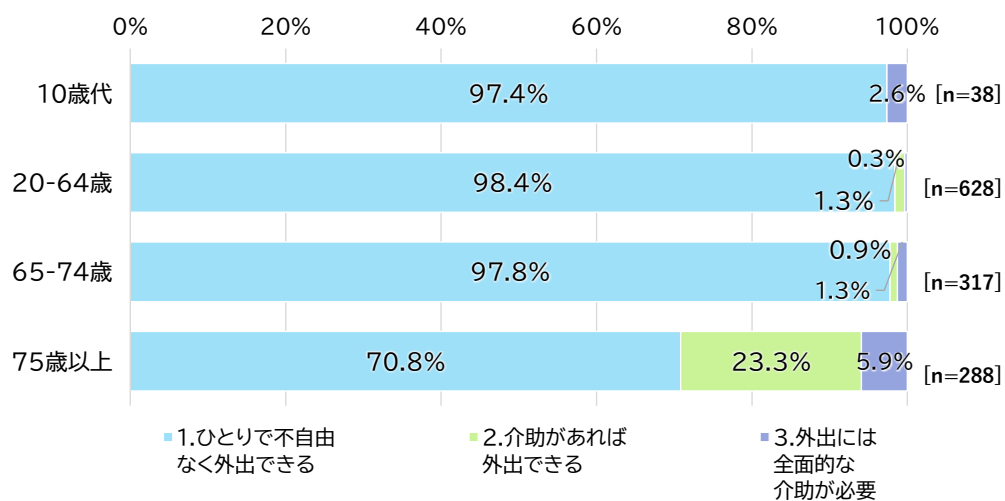
※不明、無回答、複数回答を除く

(6) 外出時の介助の必要性【質問 2】

回答者の約 92%が一人で不自由なく外出できると回答していますが、75 歳以上の約 3 割は、外出するにあたり一部または全面的な介助が必要と回答しています。



【年齢別】



※不明、無回答、複数回答を除く

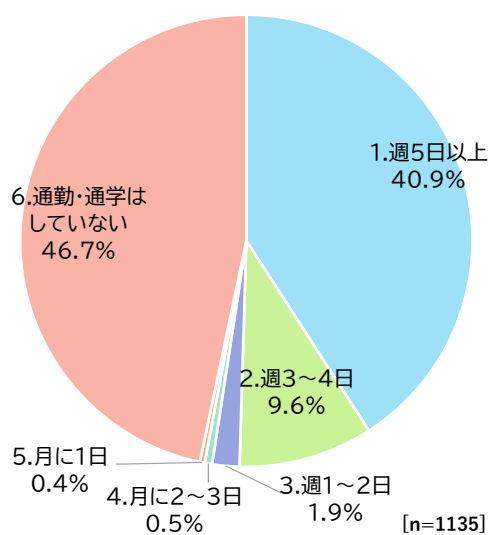
2.2 回答状況【質問 3～13】

2.2.1 普段の移動について【質問 3～6】

(1) 通勤・通学について【質問 3】

①通勤・通学の頻度

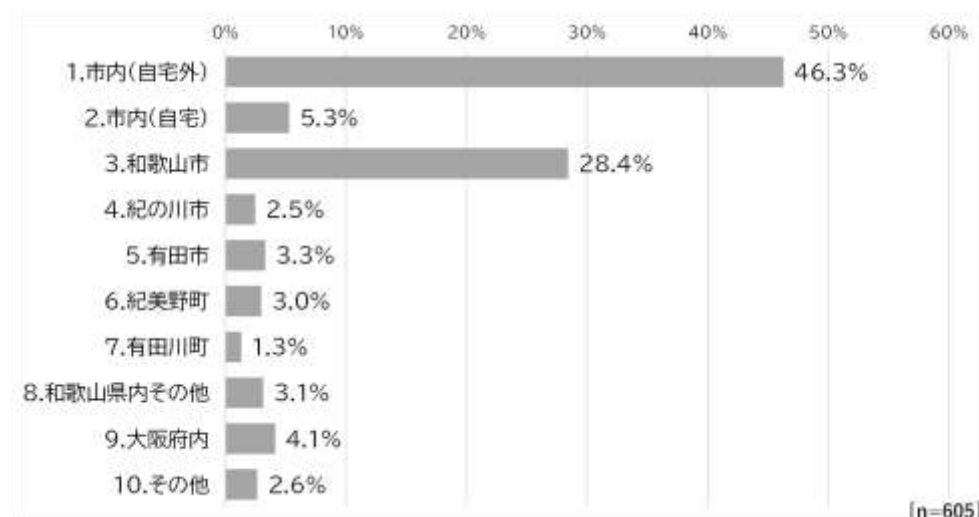
回答者の約 53%が通勤・通学をしており、頻度については、その多くが週 5 日以上となっています。



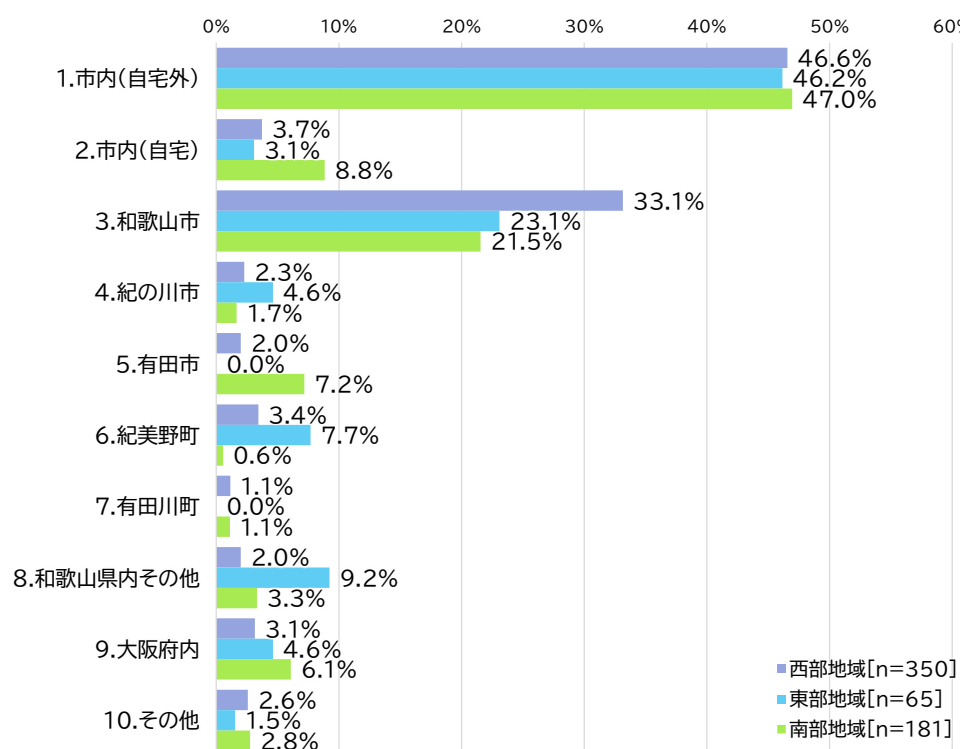
※不明、無回答、複数回答を除く

②通勤・通学先

回答者の通勤・通学先としては、「市内（自宅外）」が約46%で最も多く、これに次いで「和歌山市」（約28%）となっています。地域別に見ると、西部地域では「和歌山市」、東部地域では「紀美野町」・「県内その他」、南部地域では「有田市」への通勤・通学が他地域に比べて高くなっています。



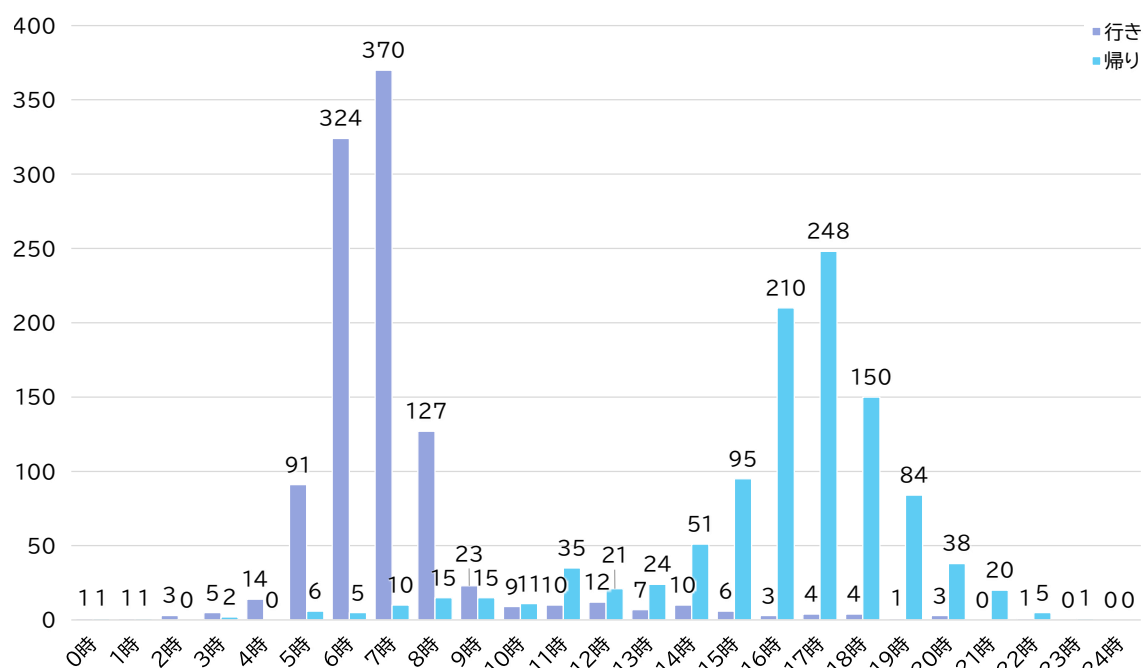
【地域別】



※不明、無回答、複数回答を除く

③通勤・通学の時間帯

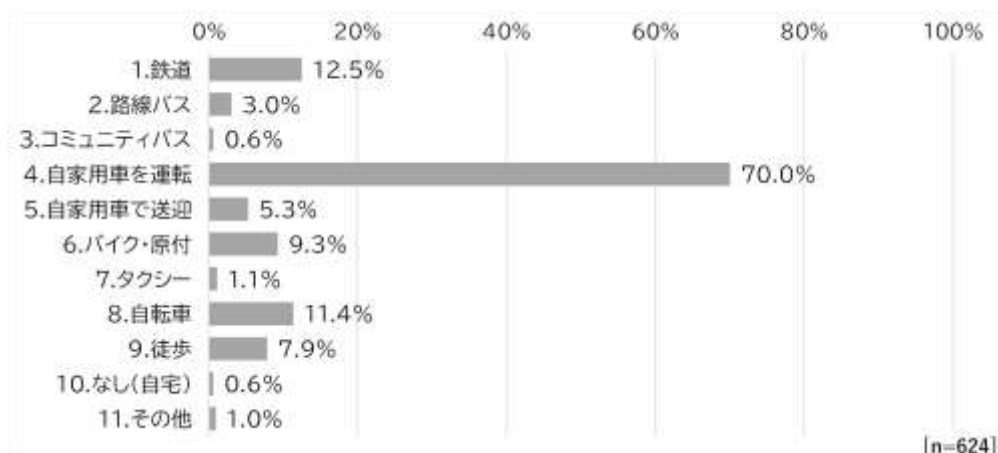
回答者の通勤・通学時間帯は、行きは朝 6～7 時台、帰りは 16～18 時台がピークとなっています。



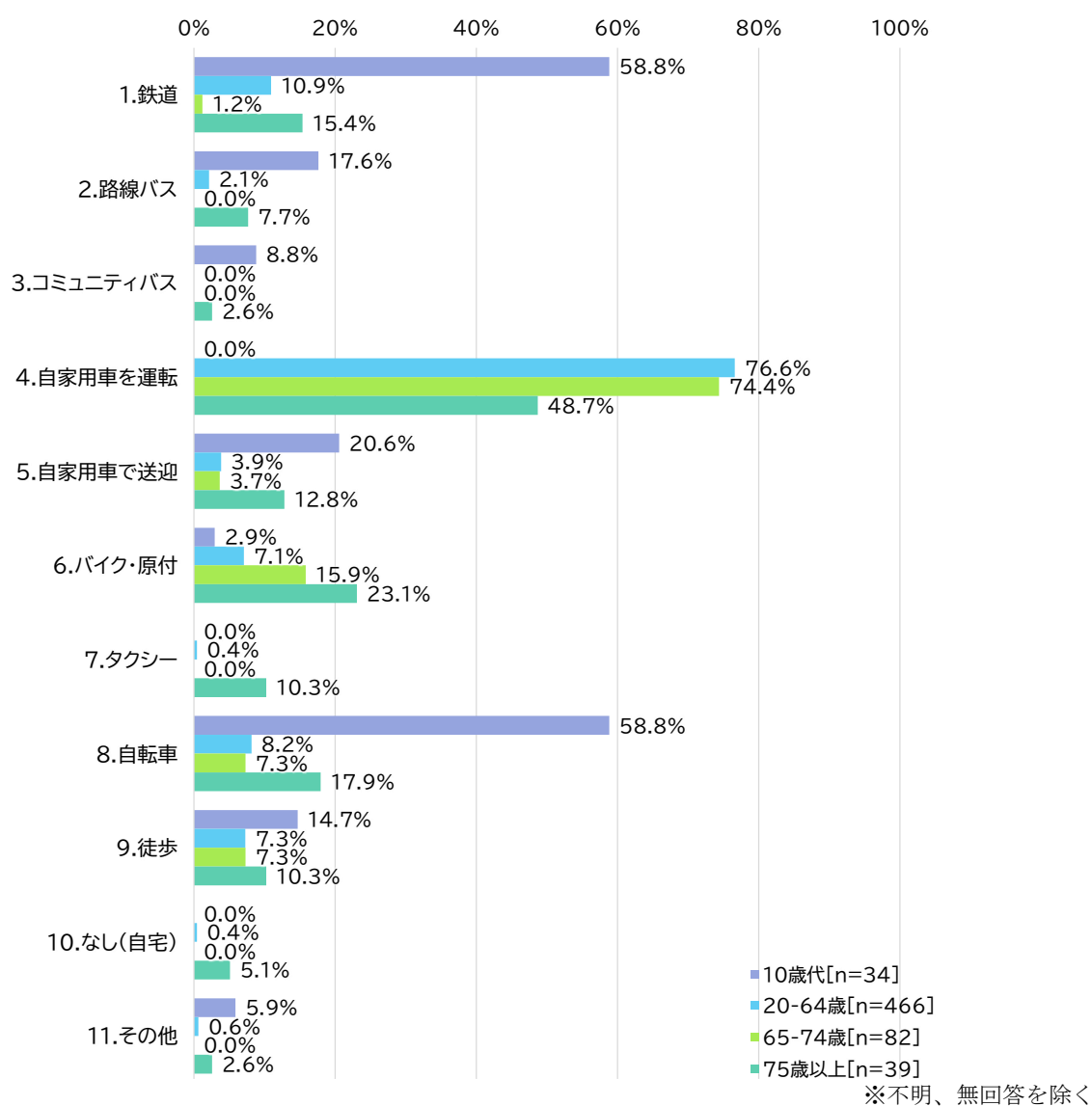
※不明、無回答、複数回答を除く

④通勤・通学の移動手段

回答者の通勤・通学手段は、「自家用車を運転」が70%を占め、圧倒的に多くなっています。年齢別に見ると、10歳代は「鉄道」および「自転車」が約59%で最も多く、20-64歳、65-74歳は「自家用車を運転」が7割を超えています。75歳以上では、「自家用車を運転」は約49%とやや低くなり、「バイク・原付」、「自転車」を利用する割合が他年代に比べ高くなっています。



【年齢別】

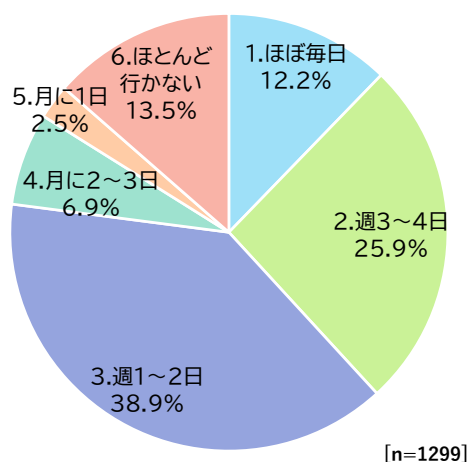


(2) 食料品・日用品などの日常の買い物について【質問4】

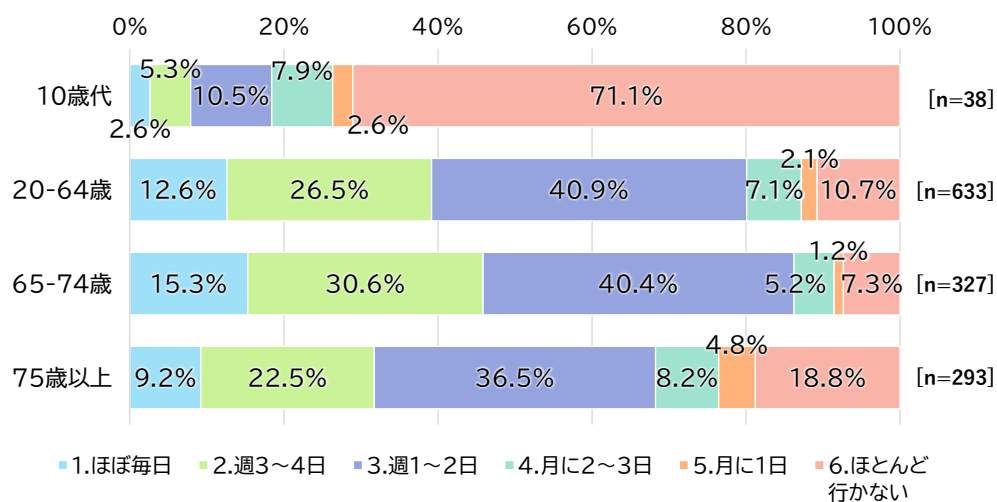
①買い物の頻度

回答者の買い物の頻度については、週1～2日が約39%で最も多く、これに次いで、週3～4日が約26%となっており、週1日以上が約77%を占めています。

年齢別に見ると、20-64歳、65-74歳で週1日以上が約8割以上である一方、10歳代、75歳以上ではやや頻度が低くなっています。



【年齢別】



※不明、無回答、複数回答を除く

②最も利用する買い物先

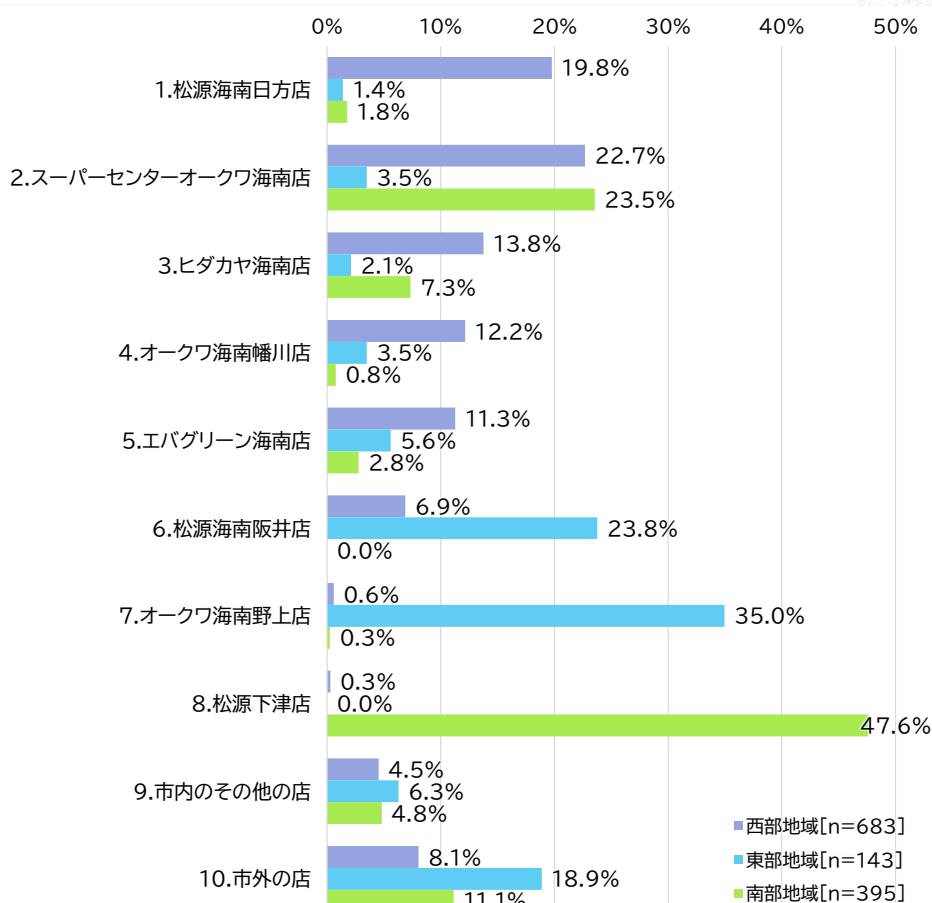
回答者の最も利用する買い物先としては、市全体では「スーパーセンターオークワ海南店」が約21%で最も多く、これに次いで、「松源下津店」が約16%となっています。

地域別に見ると、西部地域では「スーパーセンターオークワ海南店」「松源海南日方店」、東部地域では「オークワ海南幡川店」「松源海南阪井店」、南部地域では「松源下津店」「スーパーセンターオークワ海南店」が多く、概ね地域内または隣接する地域での買い物が多くなっています。

【市全体】



【地域別】

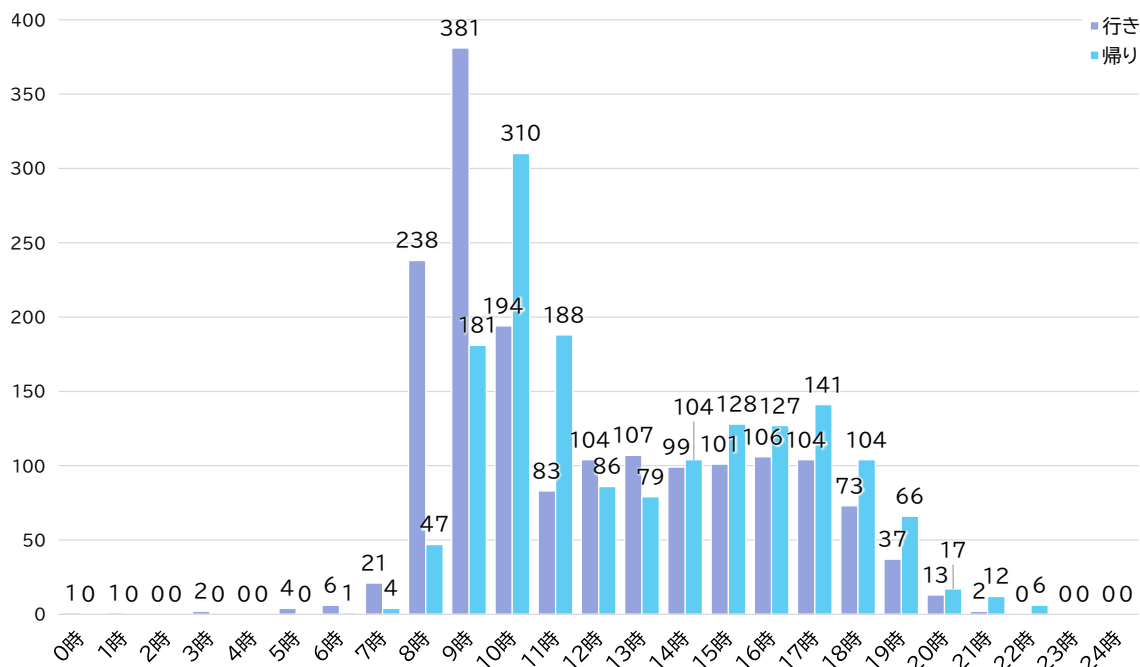


※不明、無回答、複数回答を除く

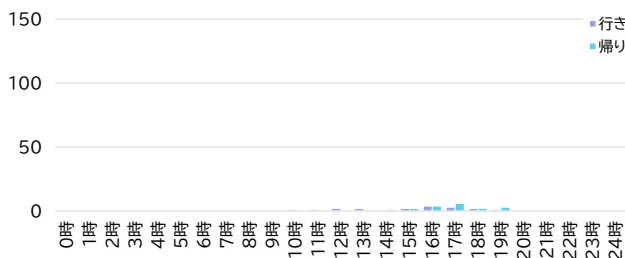
③買い物の時間帯

回答者の買い物の時間帯としては、行きは9時台、帰りは10時台が最も多くなっています。年齢別に見ると、65歳以上の高齢者でこの傾向が強くなっています。20-64歳は、午前中の他に、夕方にもピークが見られます。

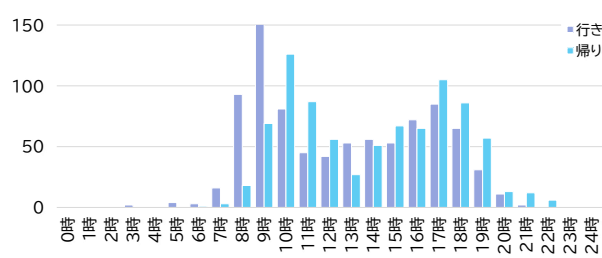
【全年齢】



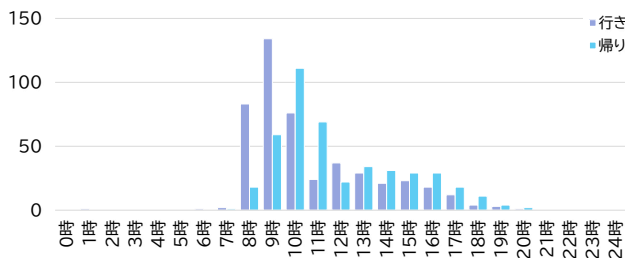
【10歳代】



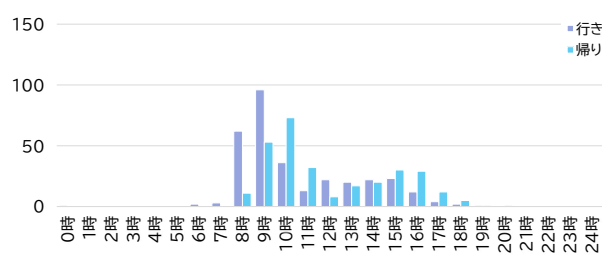
【20-64歳】



【65-74歳】



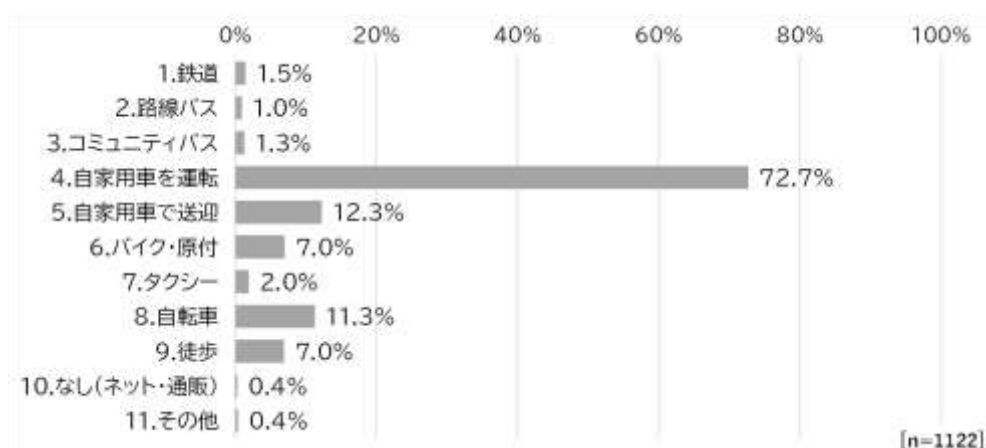
【75歳以上】



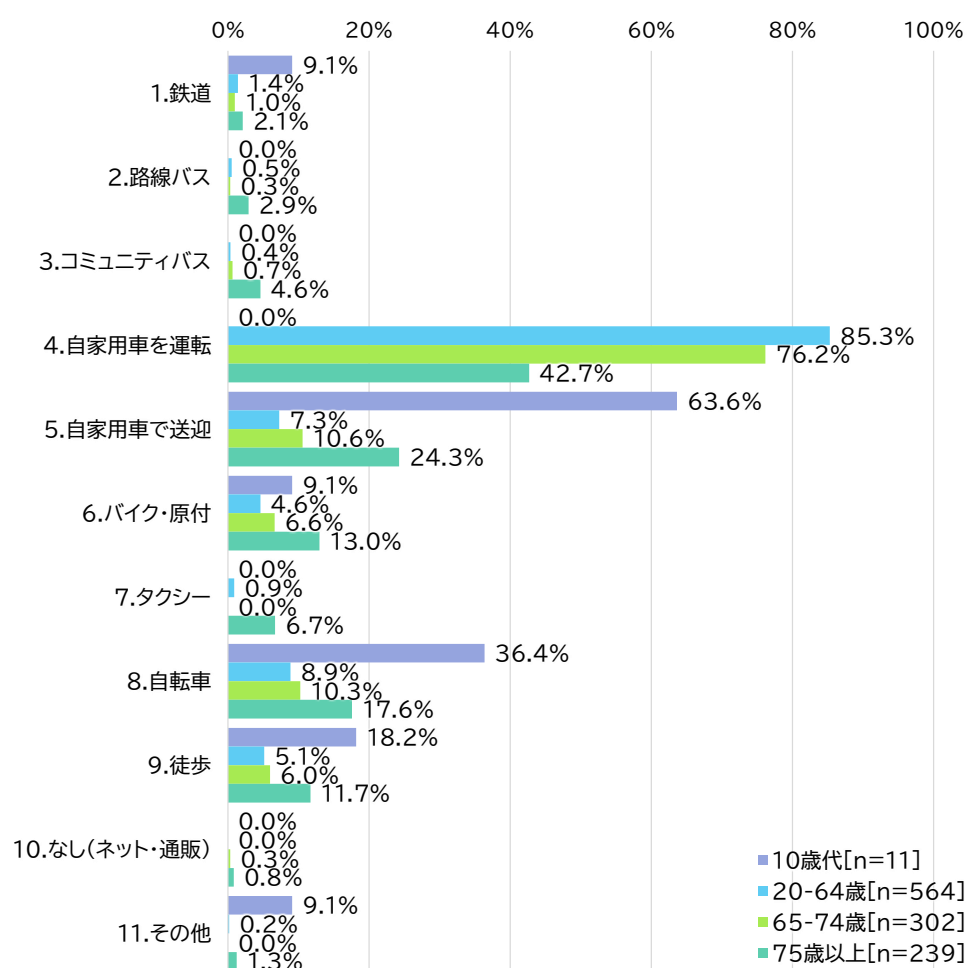
※不明、無回答、複数回答を除く

③買い物先への移動手段

買い物先への移動手段としては、「自家用車を運転」が約73%で、圧倒的に多くなっています。年齢別に見ると、「自家用車を運転」が、20-64歳では約85%、65-74歳では約76%を占める一方、75歳以上では約43%とやや低く、「自家用車で送迎」「バイク・原付」「タクシー」等が他年代に比べて高くなっています。また、10歳代では「自家用車で送迎」「自転車」が他年代に比べて高くなっています。



【年齢別】



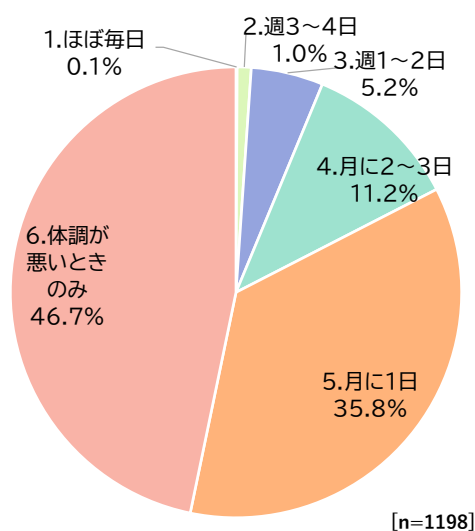
※不明、無回答、複数回答を除く

(3) 医療機関の利用（通院）について【質問 5】

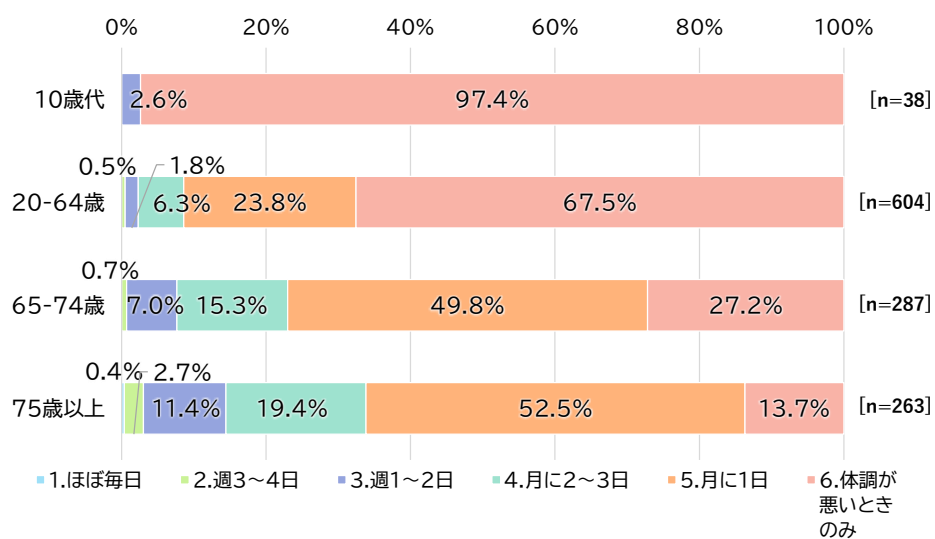
①医療機関に行く頻度

回答者の通院頻度としては、「体調が悪いときのみ」が約 47%で最も多く、これに次いで、「月に 1 日」が約 36%となっています。

年齢別に見ると、64 歳以下では「体調が悪いときのみ」が多数を占めますが、65-74 歳では月に 1 日以上が約 73%、75 歳以上では約 86%を占め、定期的に通院している人が多くなっています。



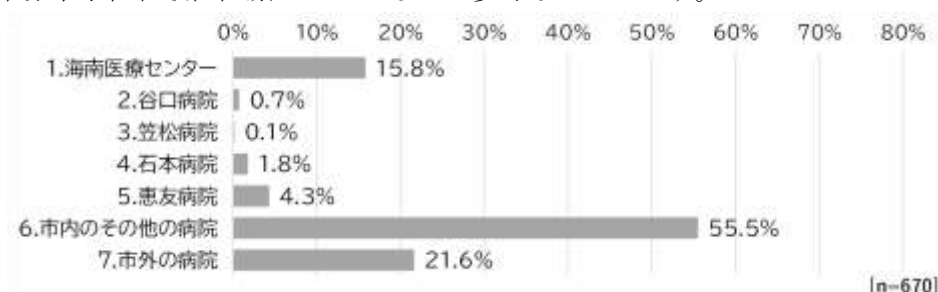
【年齢別】



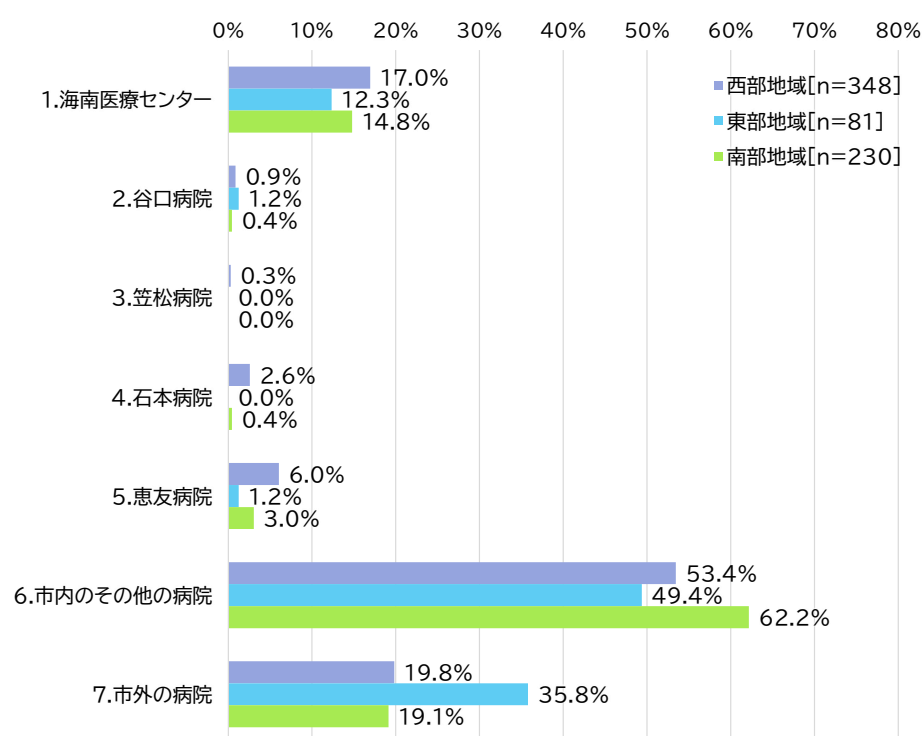
※不明、無回答、複数回答を除く

②最もよく利用する医療機関

回答者が最もよく利用する医療機関としては、「市内のその他の病院」が約56%で最も多く、これに次いで「市外の病院」が約22%、「海南医療センター」が約16%となっており、日頃は身近なクリニック（内科・眼科・歯科等）を利用していることが伺えます。市外の病院としては、県立医大付属病院や日本赤十字社和歌山医療センターなどが多くなっています。

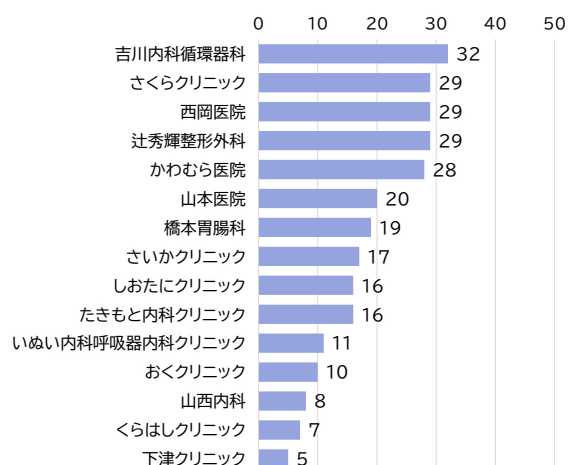


【地域別】

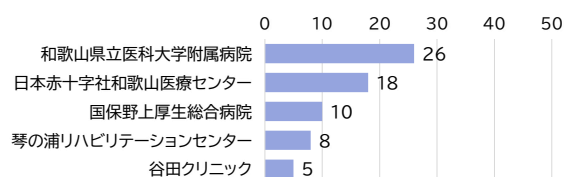


※不明、無回答、複数回答を除く

市内その他の病院の回答（回答数5以上のみ）



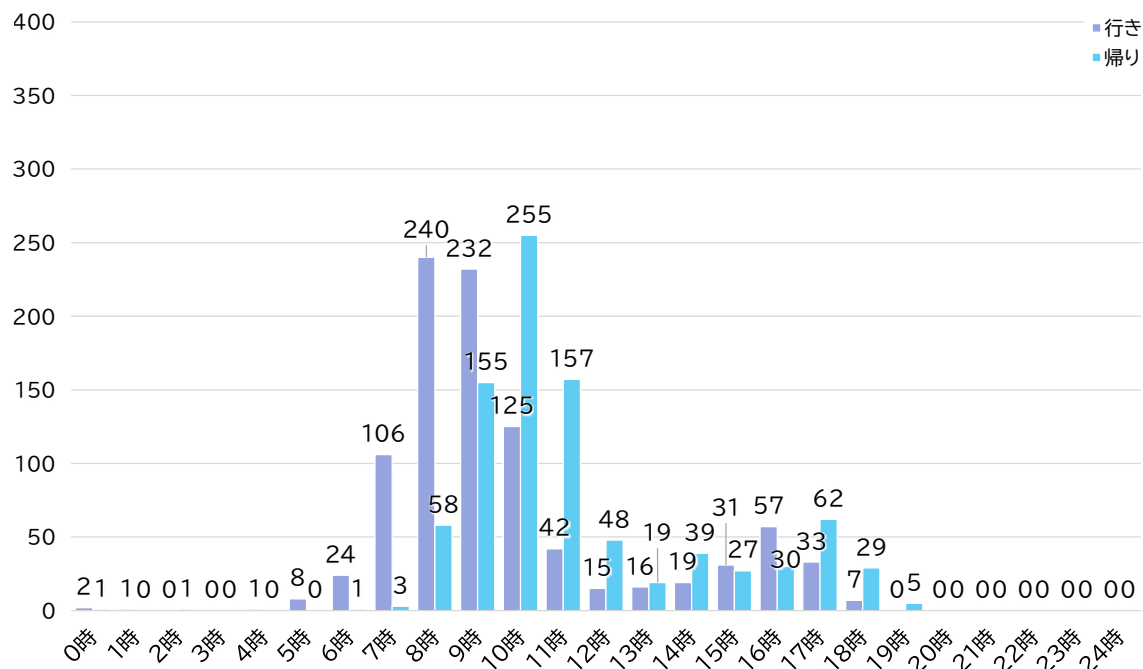
市外の病院の回答（回答数5以上のみ）



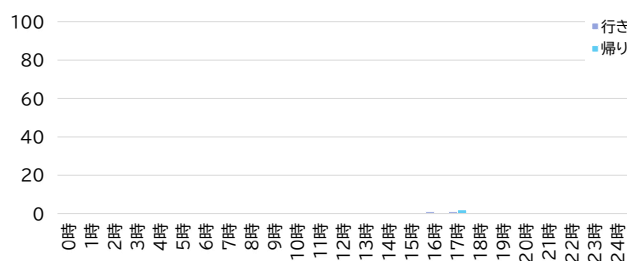
③通院の時間帯

通院の時間帯としては、行きは8～9時、帰りは10時台がピークとなっており、午前中に集中しています。この傾向は、65歳以上の高齢者が顕著となっています。

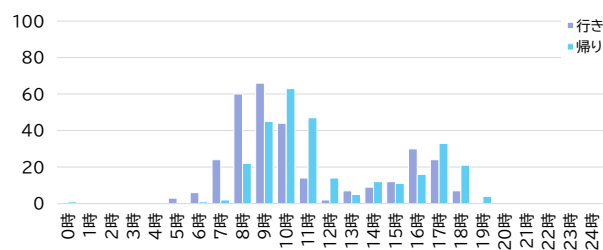
【全年齢】



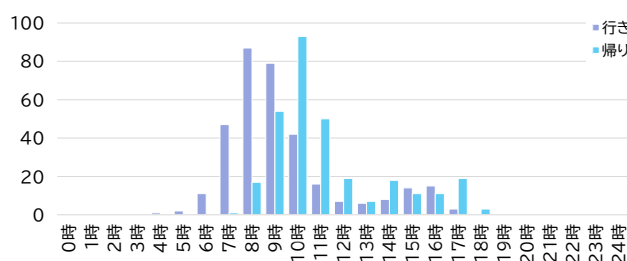
【10歳代】



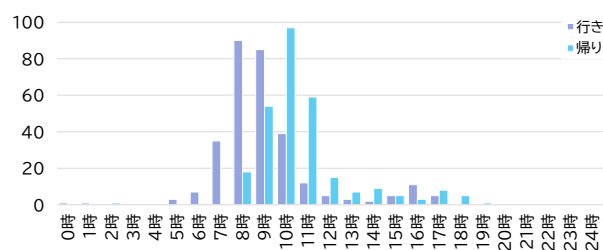
【20-64歳】



【65-74歳】



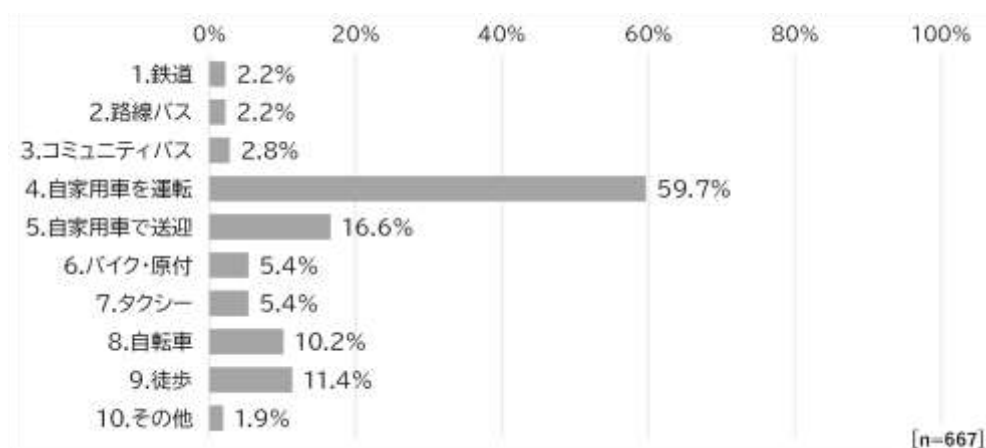
【75歳以上】



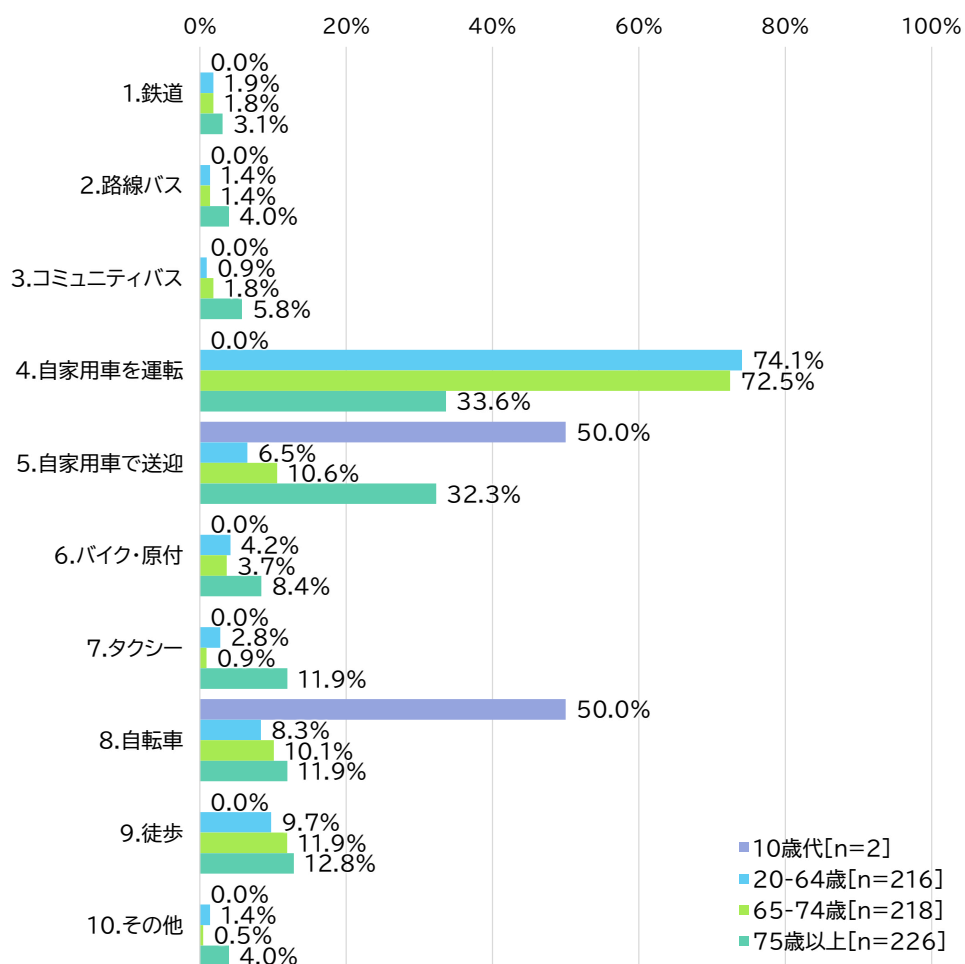
※不明、無回答、複数回答を除く

④通院先への移動手段

通院先への移動手段としては、「自家用車を運転」が約60%で最も多く、年齢的には20-64歳、65-74歳では「自家用車を運転」が約7割を超えています。75歳以上では「自家用車を運転」が約34%である一方、「自家用車で送迎」「バイク・原付」「タクシー」を利用する人の割合が、他年代に比べて高くなっています。



【年齢別】

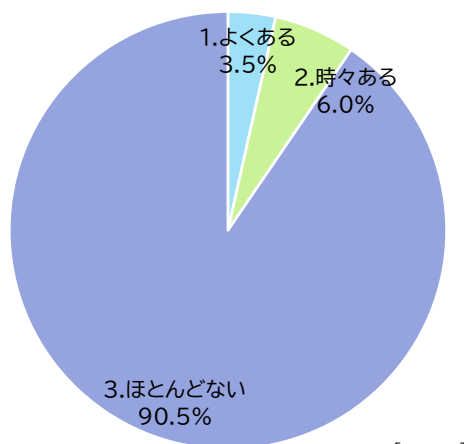


※不明、無回答を除く

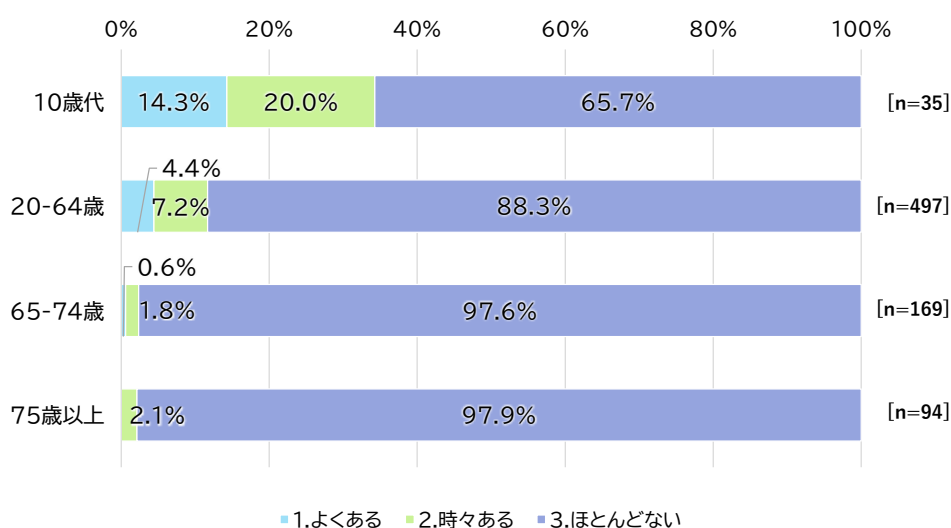
(4) ふだんの移動で、交通手段に関して困ること【質問 6】

①通勤・通学の移動で困ること

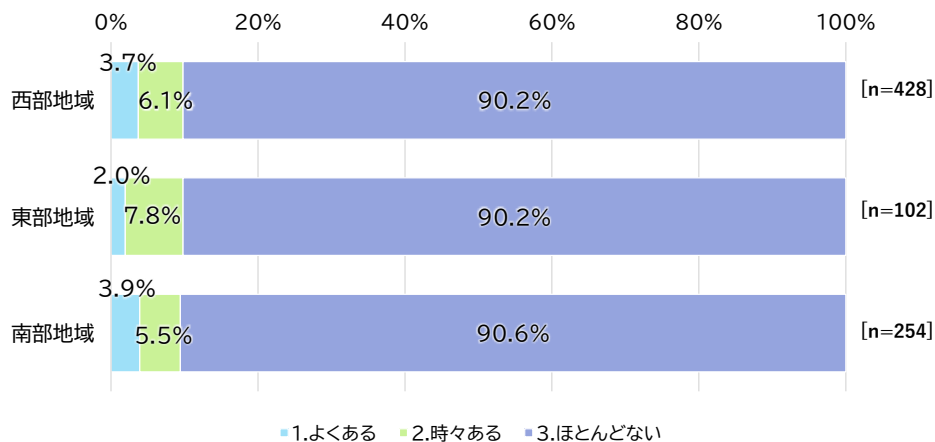
通勤・通学の移動で困ることについては、約 91%が困ることは「ほとんどない」と回答していますが、10 歳代では、約 34%が「よくある」「時々ある」と回答しており、若年層で困る人の割合がやや高くなっています。



【年齢別】



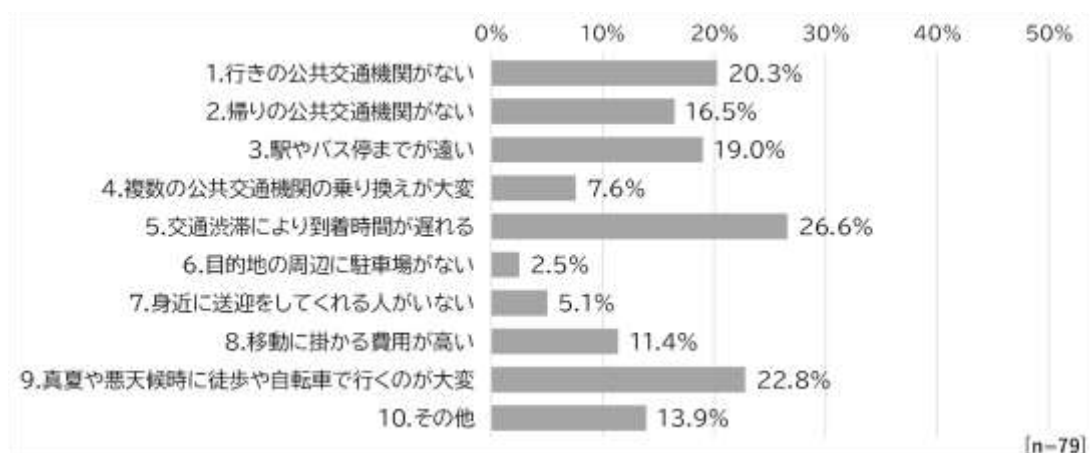
【地域別】



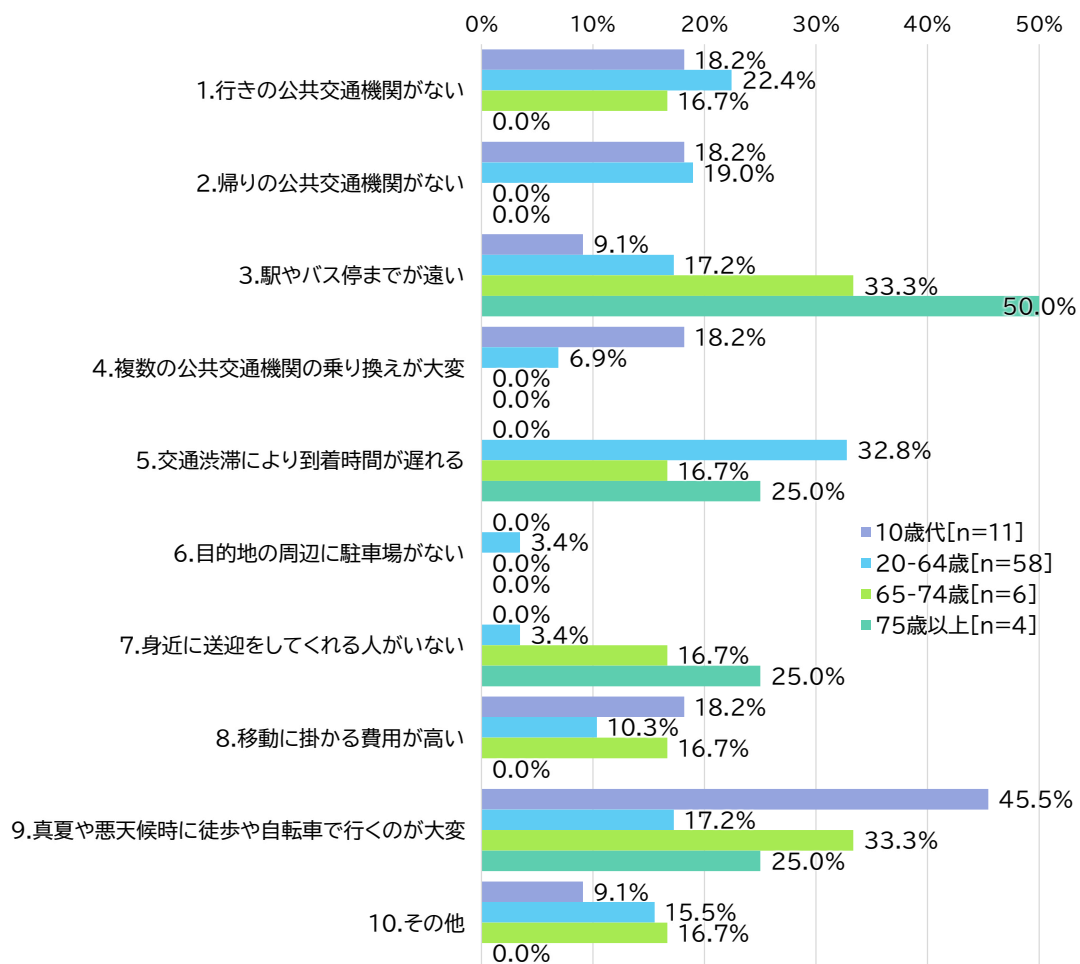
※不明、無回答、複数回答を除く

■通勤・通学で困る理由

通勤・通学の移動で困る理由としては、「交通渋滞により到着時間が遅れる」が約 27%で最も多く、次いで、「真夏や悪天候時に徒歩や自転車で行くのが大変」が約 23%となっています。



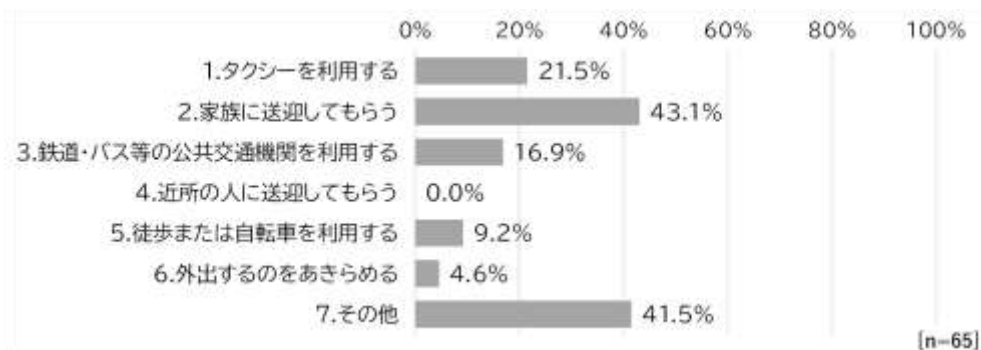
【年齢別】



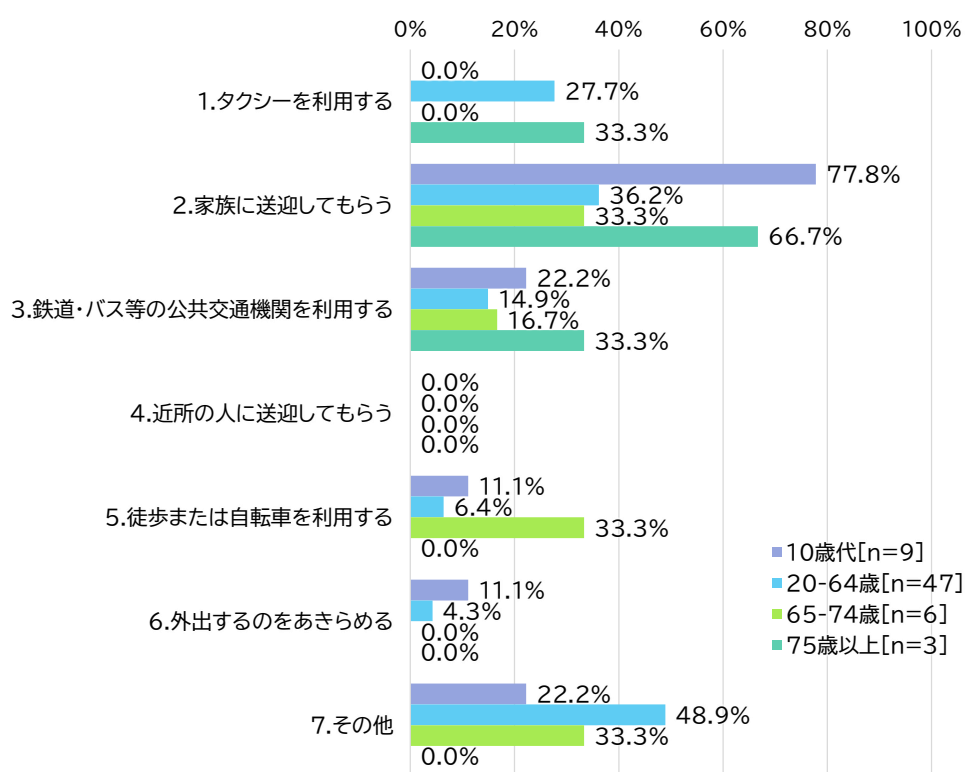
※不明、無回答を除く

■通勤・通学で困った場合の対応

通勤・通学の移動で困った場合の対応としては、「家族に送迎してもらう」が約43%で最も多くなっています。



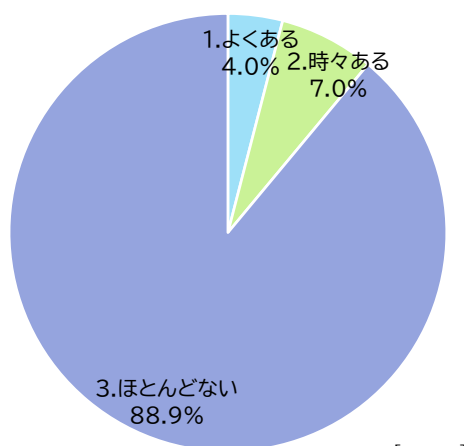
【年齢別】



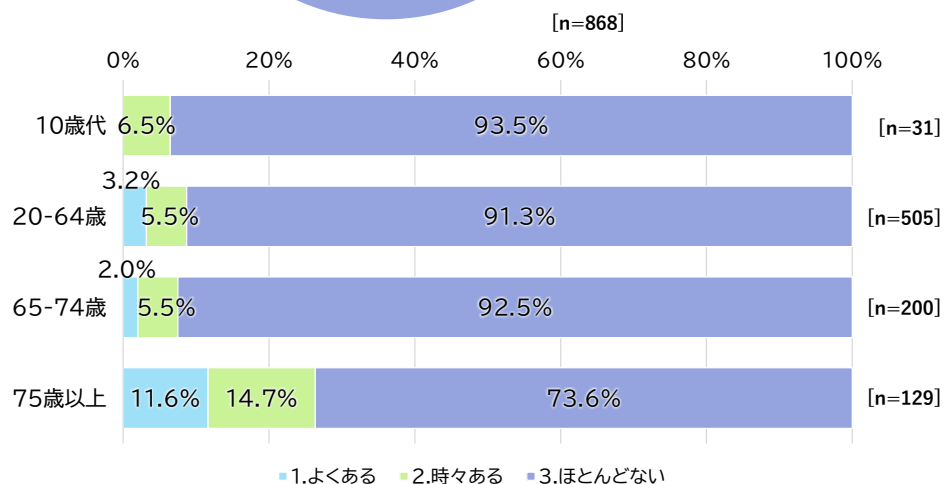
※不明、無回答を除く

②日常の買い物の移動で困ること

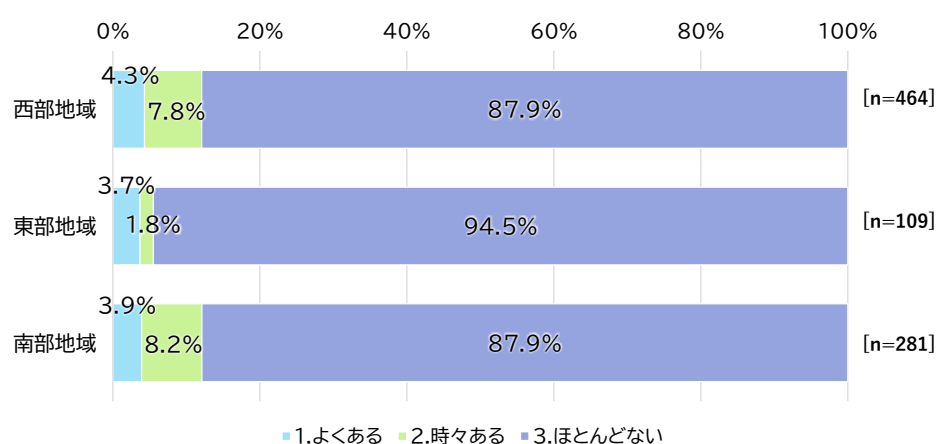
日常の買い物の移動で困ることについては、約 89%が「ほとんどない」と回答しています。年齢別に見ると、74 歳以下では 9 割以上が「ほとんどない」と回答していますが、75 歳以上では「よくある」「時々ある」があわせて約 26%となっており、他年代に比べて高くなっています。



【年齢別】



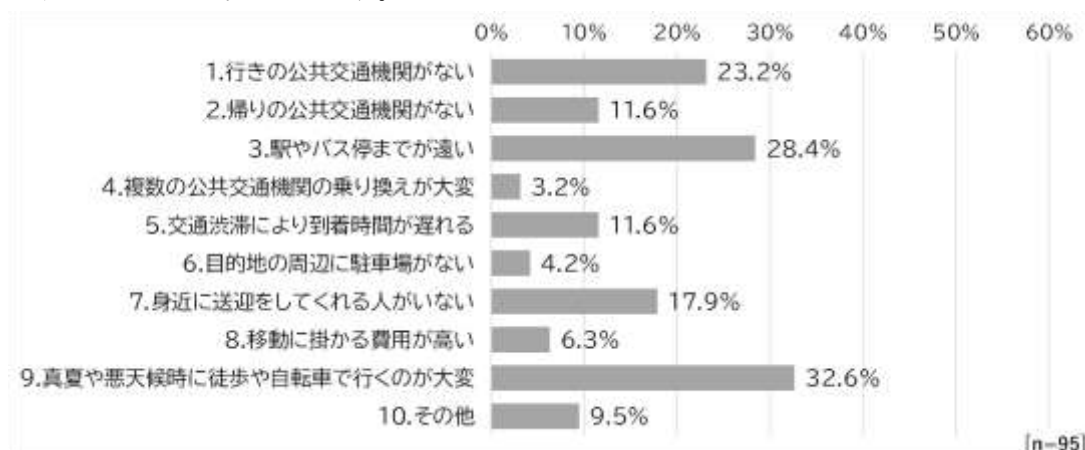
【地域別】



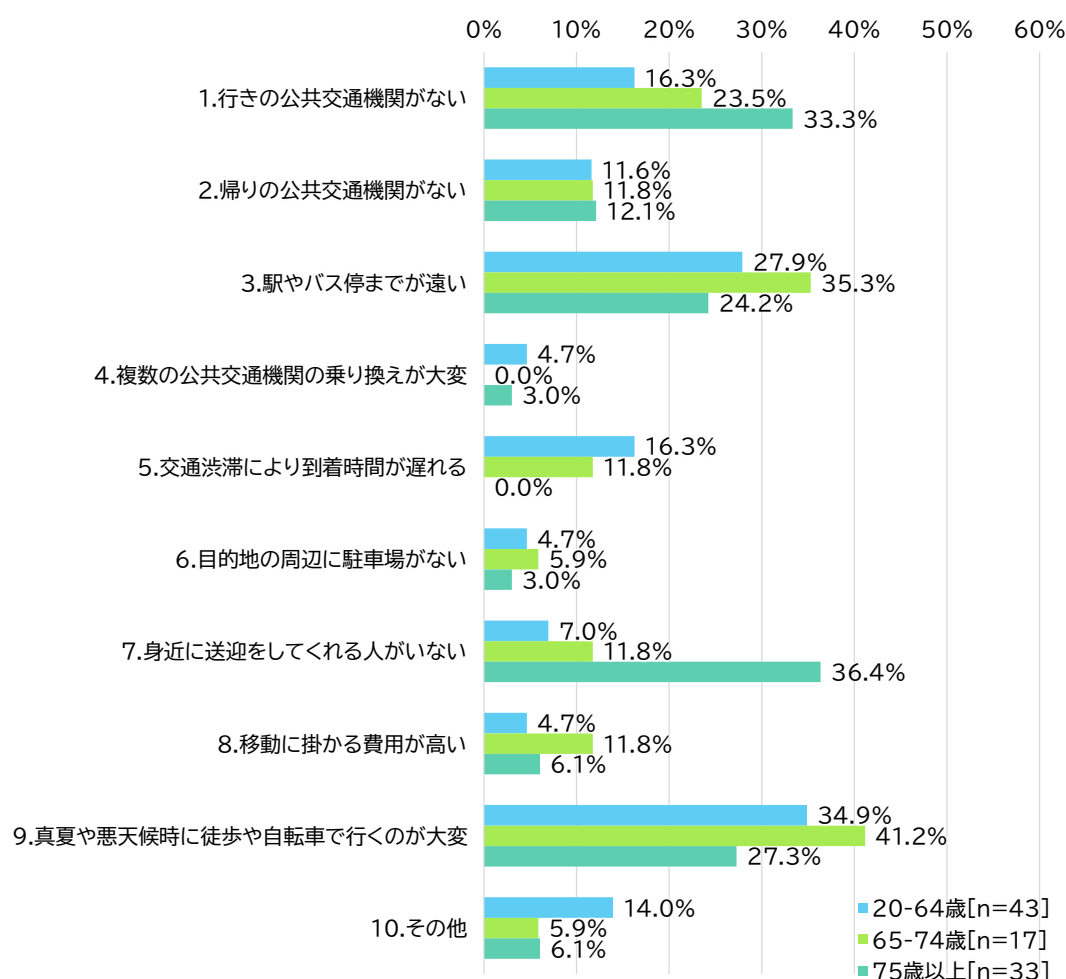
※不明、無回答、複数回答を除く

■買い物で困る理由

買い物時の移動で困る理由としては、「真夏や悪天候時に徒歩や自転車で行くのが大変」が約 33% で最も多く、これに次いで、「駅やバス停までが遠い」が約 28% となっています。年齢別に見ると、75 歳以上では「身近に送迎してくれる人がいない」と回答した人が約 36%、「行きの公共交通機関がない」が約 33% と他年代に比べて高く、自分で運転もできず、公共交通も使えない方が、買い物時の移動に困っていると考えられます。



【年齢別】

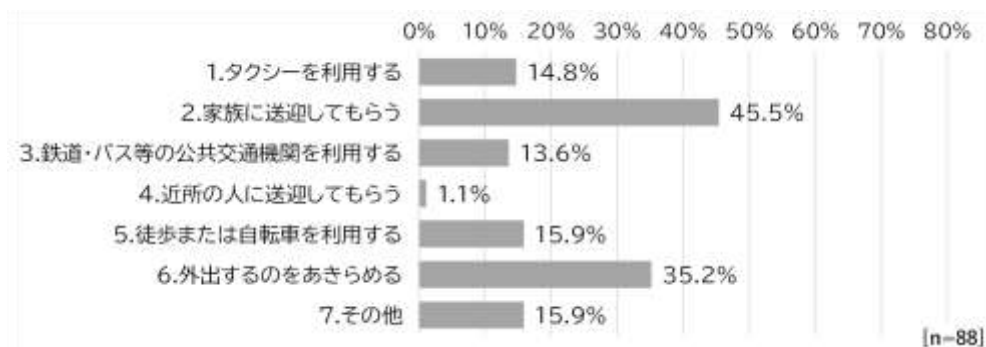


※10 歳代は回答者数が非常に少ないため、グラフ化していない
※不明、無回答を除く

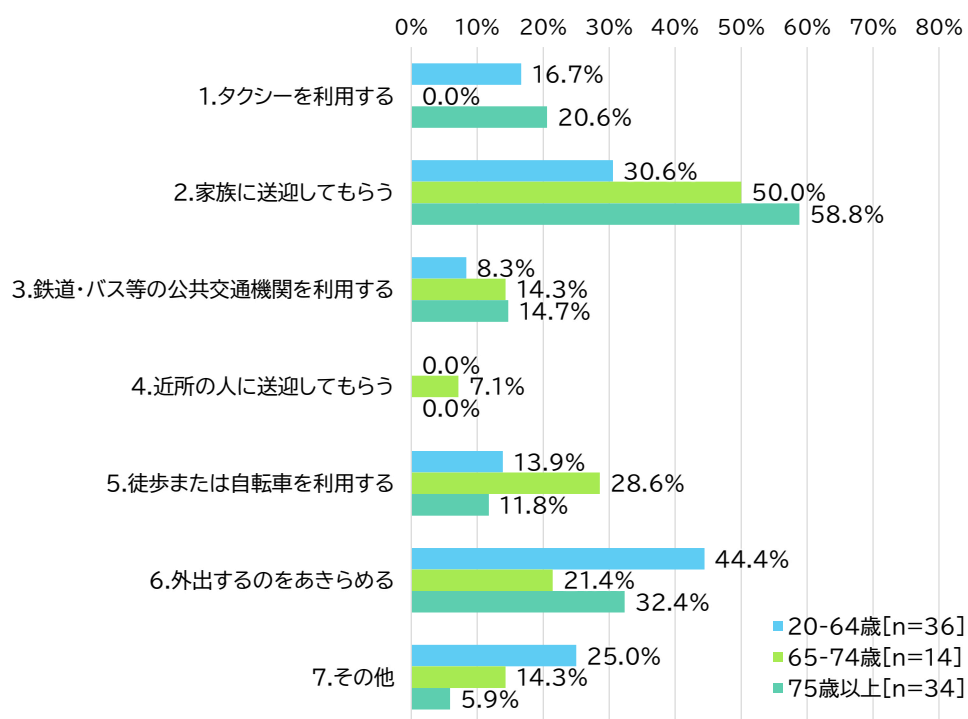
■買い物で困った場合の対応

買い物時の移動で困った場合の対応としては、「家族に送迎してもらう」が約46%で最も多く、これに次いで「外出するのをあきらめる」が約35%となっています。

年齢別に見ると、高齢になるほど「家族に送迎してもらう」と回答した人の割合が高くなっています。



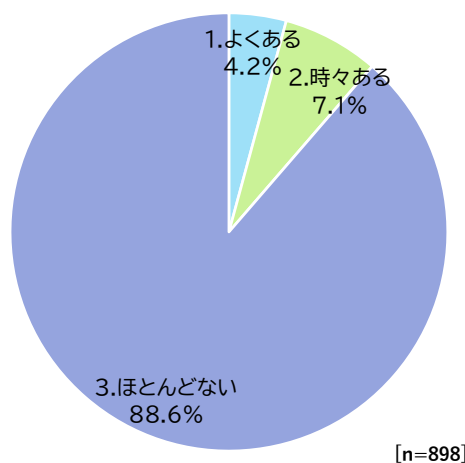
【年齢別】



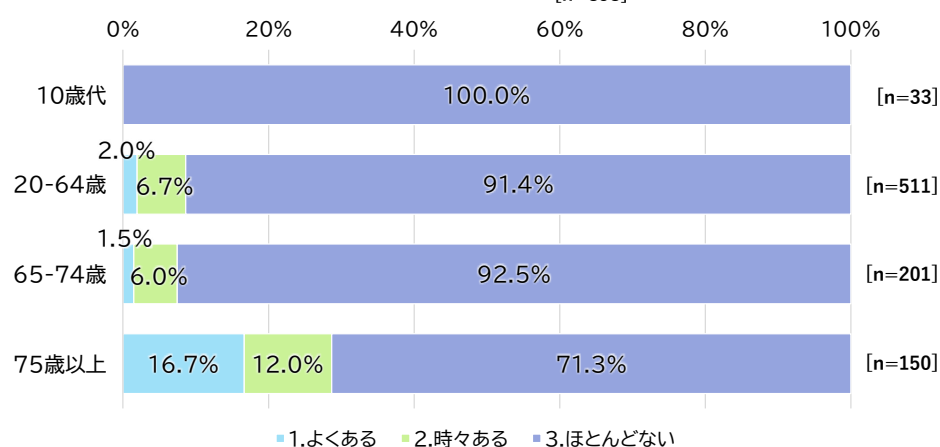
※10 歳代は回答者数が非常に少ないため、グラフ化していない
※不明、無回答を除く

③通院時の移動で困ること

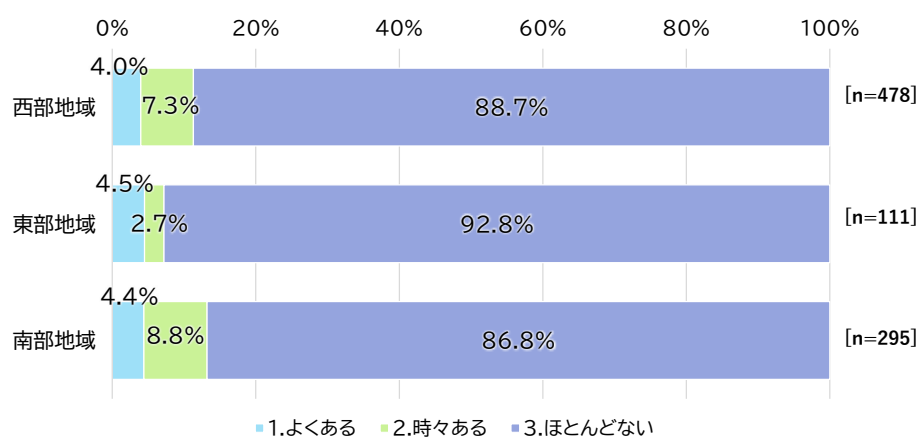
通院時の移動で困ることについては、約 89%が「ほとんどない」と回答しています。年齢別に見ると、74 歳以下では 9 割以上が「ほとんどない」と回答していますが、75 歳以上では「よくある」「時々ある」があわせて約 29%となっており、他年代に比べて高くなっています。



【年齢別】



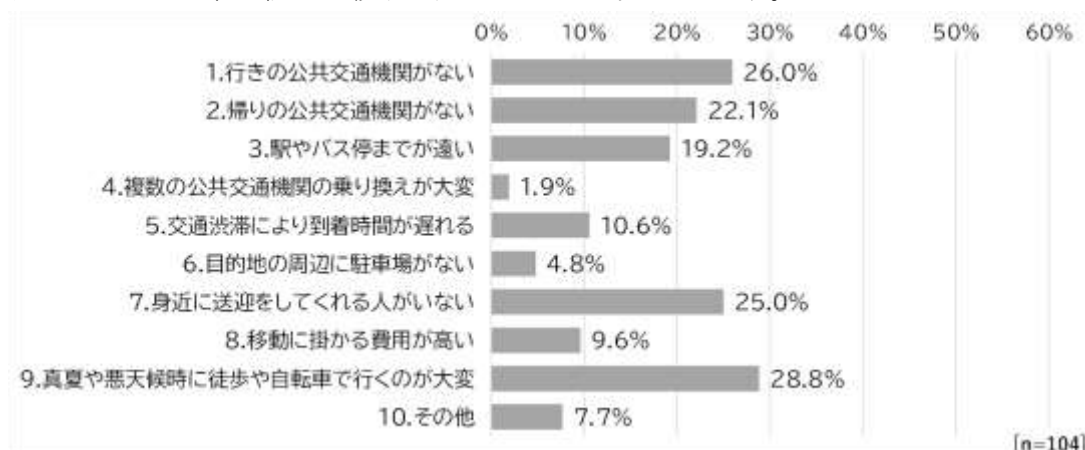
【地域別】



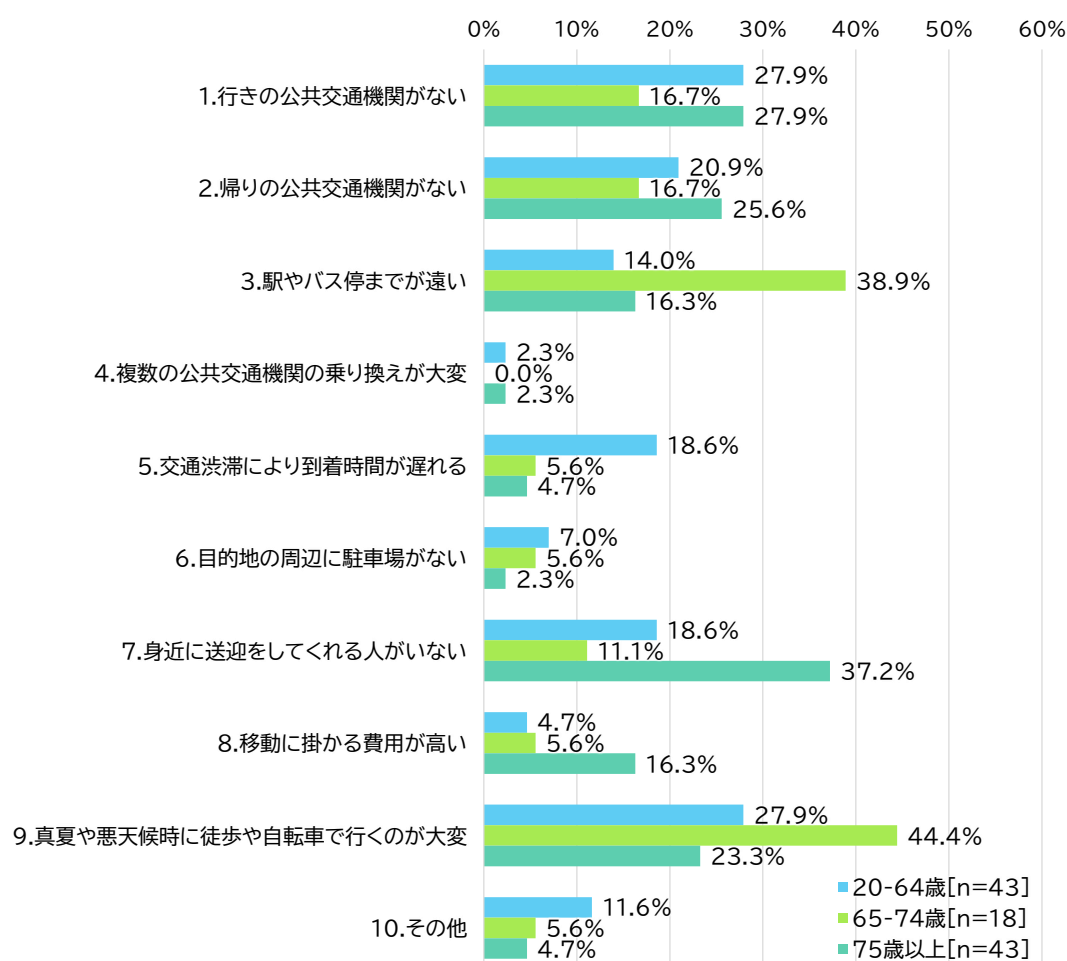
※不明、無回答、複数回答を除く

■通院で困る理由

通院時の移動で困る理由としては、「真夏や悪天候時に徒歩や自転車で行くのが大変」が約 29%で最も多く、次いで「行きの公共交通機関がない」（約 26%）、「身近に送迎してくれる人がいない」（約 25%）となっています。年齢別に見ると、75 歳以上では「身近に送迎してくれる人がいない」、64-75 歳では「駅やバス停までが遠い」と回答した割合が高く、自分で運転もできず、公共交通を利用しづらい方が、通院時の移動に困っていると考えられます。



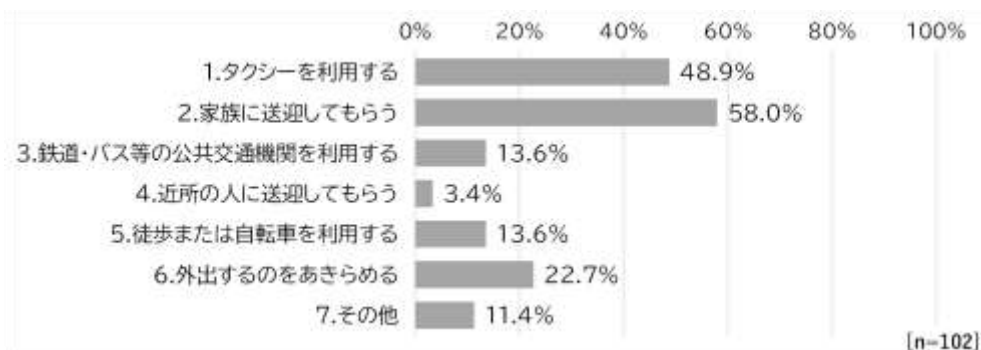
【年齢別】



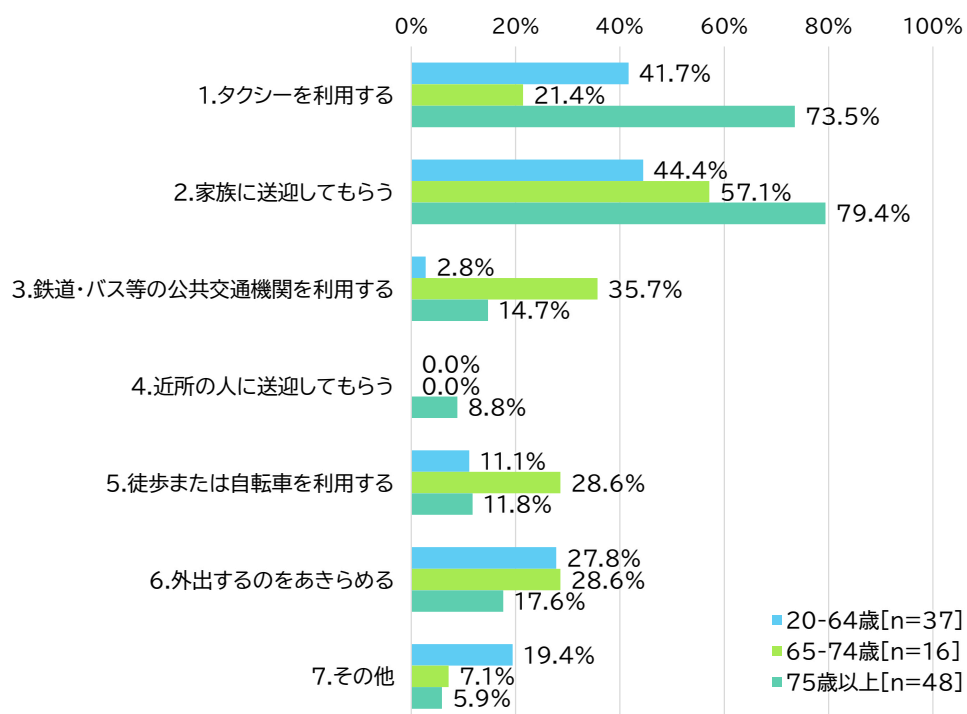
※10 歳代は回答者数が非常に少ないため、グラフ化していない
※不明、無回答を除く

■通院で困った場合の対応

通院時の移動で困った場合の対応としては、「家族に送迎してもらう」が約 58%で最も多く、これに次いで「タクシーを利用する」が約 49%となっています。年齢別に見ると、75 歳以上では 7 割以上が「家族に送迎してもらう」「タクシーを利用する」と回答しています。



【年齢別】



※10 歳代は回答者数が非常に少ないため、グラフ化していない

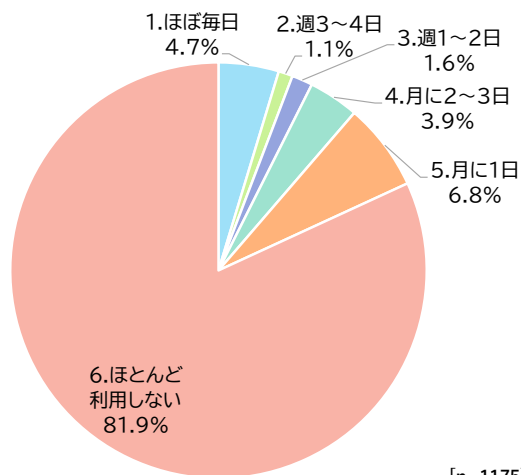
※不明、無回答を除く

2.2.2 海南市内の地域公共交通について【質問 7～13】

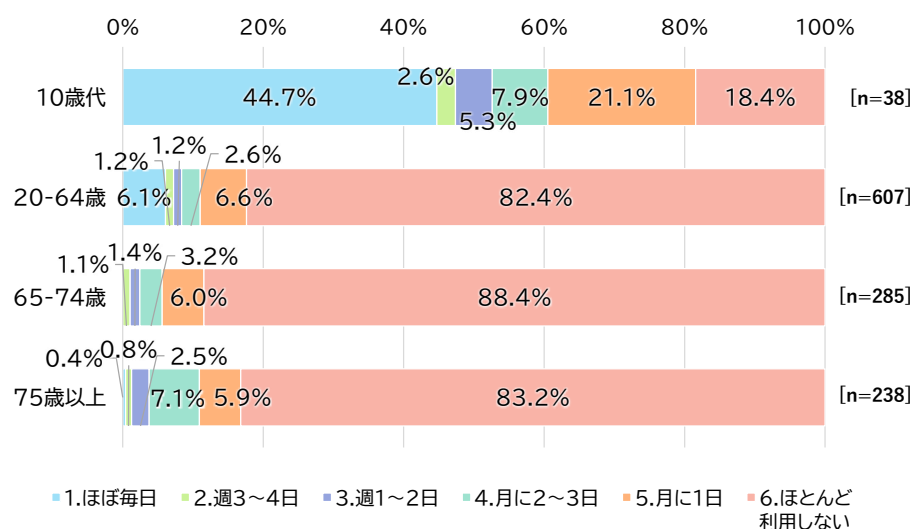
(1) 鉄道の利用について【質問 7】

①鉄道の利用頻度

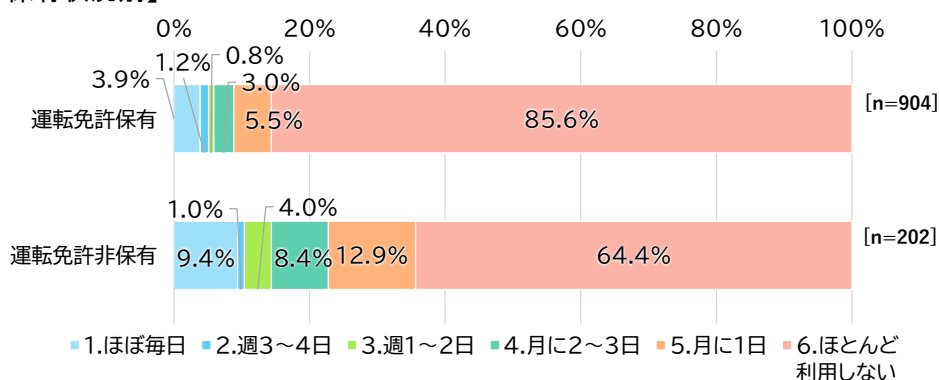
鉄道の利用頻度については、約 18%が「月に 1 日」以上利用していると回答しています。20 歳以上では、「ほとんど利用しない」がいずれも 8 割以上を占めていますが、10 歳代では、「ほぼ毎日」が約 45%おり、通学の移動で鉄道を利用している学生が一定数いると考えられます。



【年齢別】



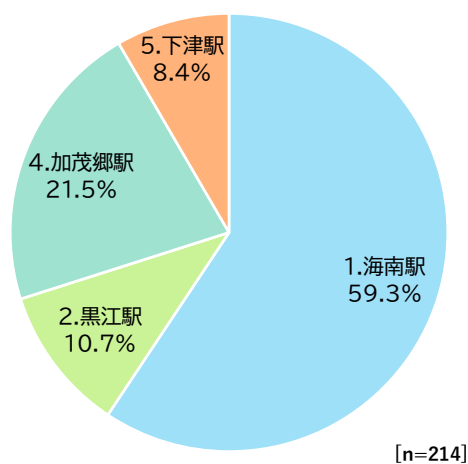
【運転免許の保有状況別】



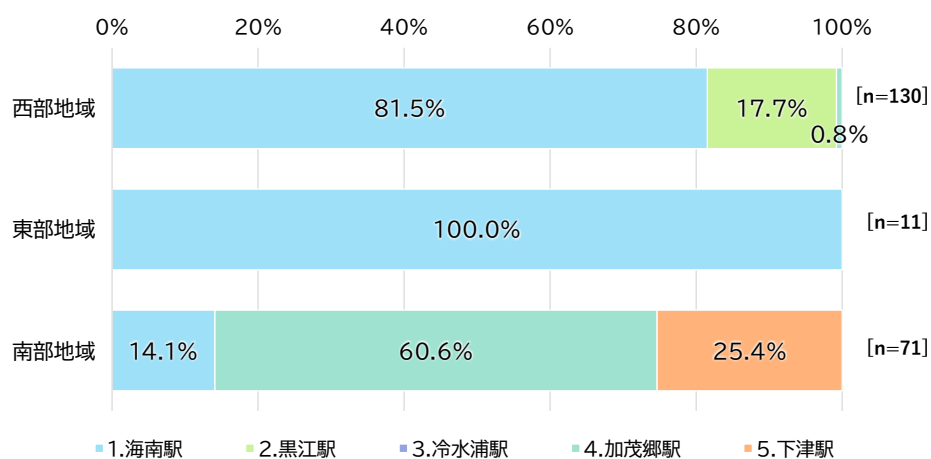
※不明、無回答、複数回答を除く

②最も利用する駅

鉄道を利用する人が最も利用する駅としては、海南駅が約 59%で最も多くなっています。地域別に見ると、西部地域・東部地域では海南駅、南部地域では加茂郷駅が、それぞれ最も多くなっています。



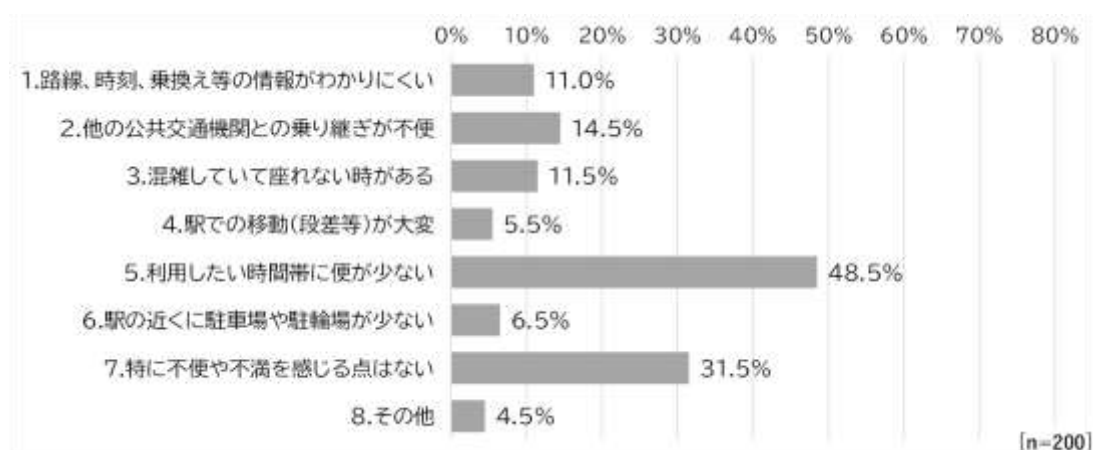
【地域別】



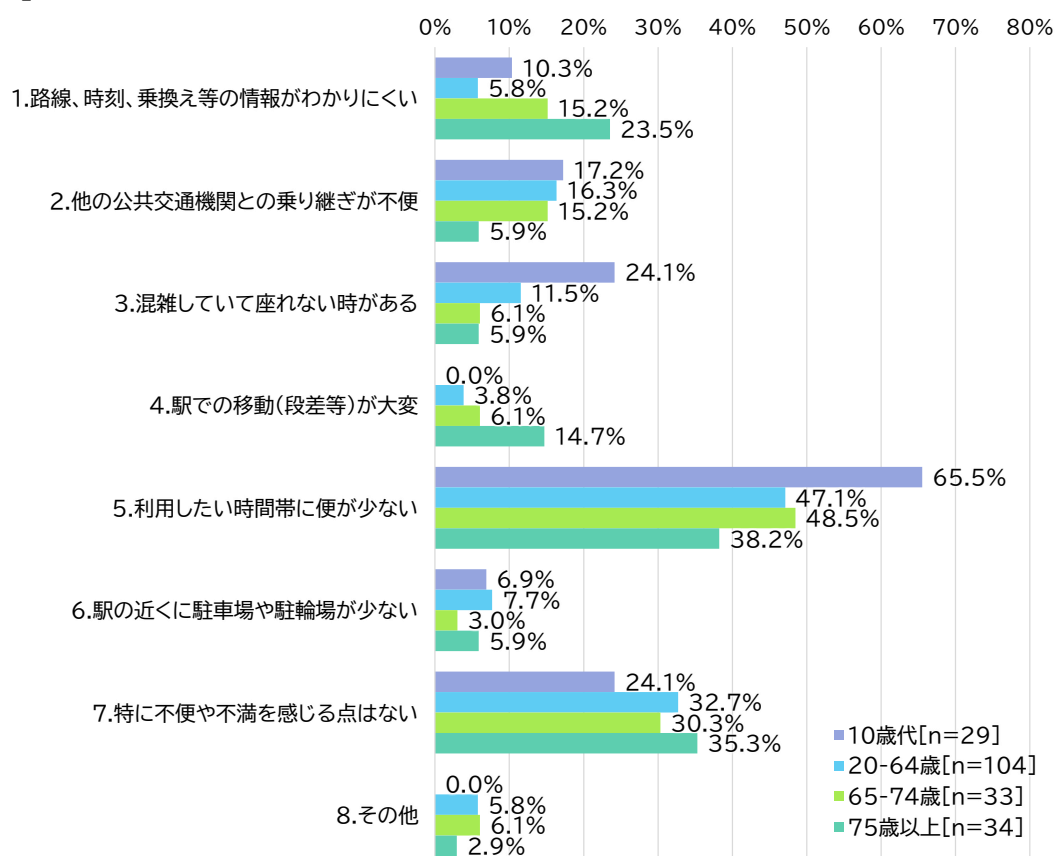
※不明、無回答、複数回答を除く

③鉄道について不便や不満を感じる点

鉄道を利用する人が鉄道について不便や不満を感じる点としては、「利用したい時間帯に便が少ない」が約49%で最も多い一方、次いで、「特に不便や不満を感じる点はない」が約32%となっています。年齢別見ると、10歳代の若年層で「利用したい時間帯に便が少ない」「混雑していて座れないときがある」と言った不満が多い一方、高齢になるほど「特に不便や不満を感じる点はない」と答えた方が多くなっています。



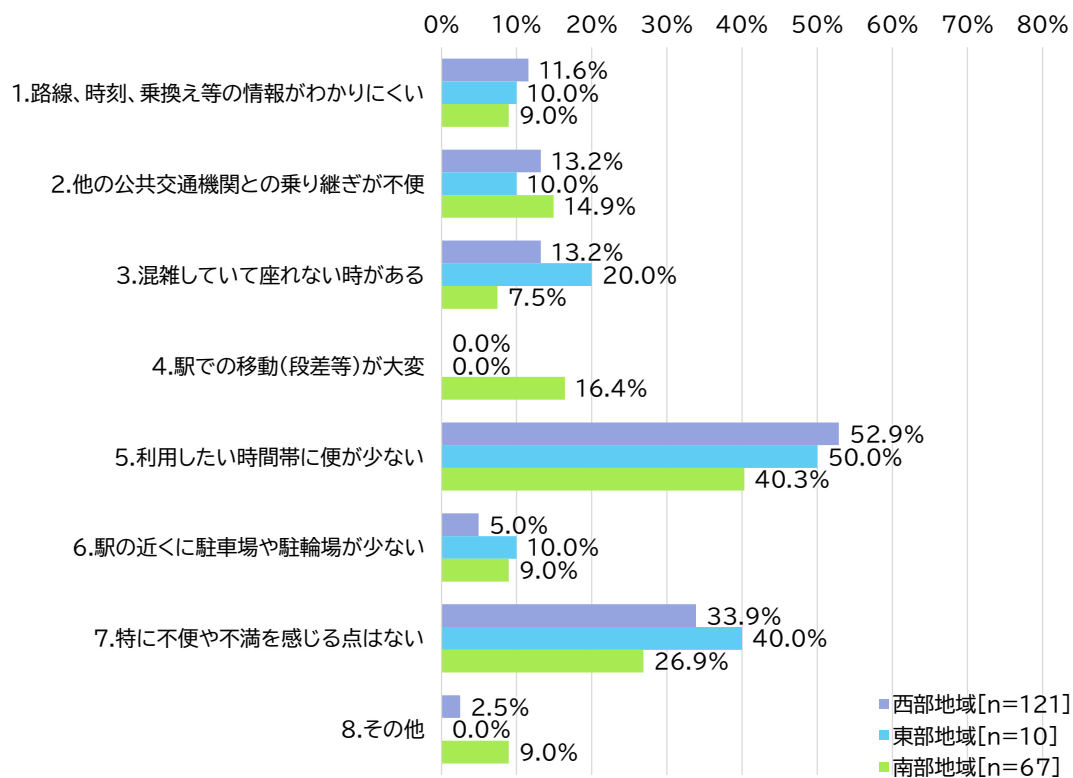
【年齢別】



※不明、無回答、複数回答を除く

地域別には、大きな地域差はありませんが、「路線、時刻、乗換え等の情報が分かりにくい」「利用したい時間帯に便が少ない」「混雑していて座れないときがある」については、西部地域や東部地域でやや高くなっています。

【地域別】

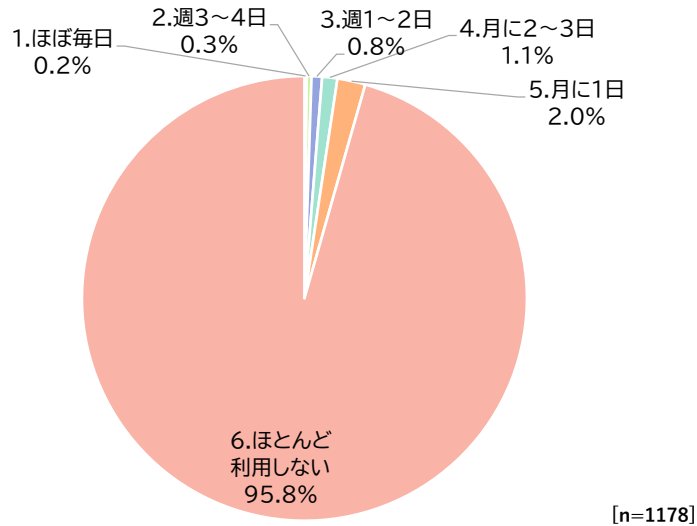


※不明、無回答、複数回答を除く

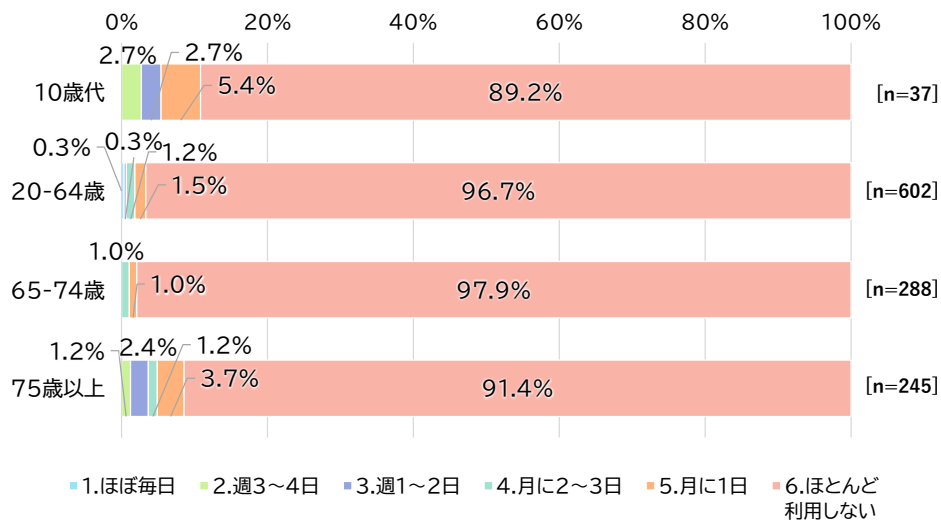
(2) 路線バスの利用について【質問 8】

①路線バスの利用頻度

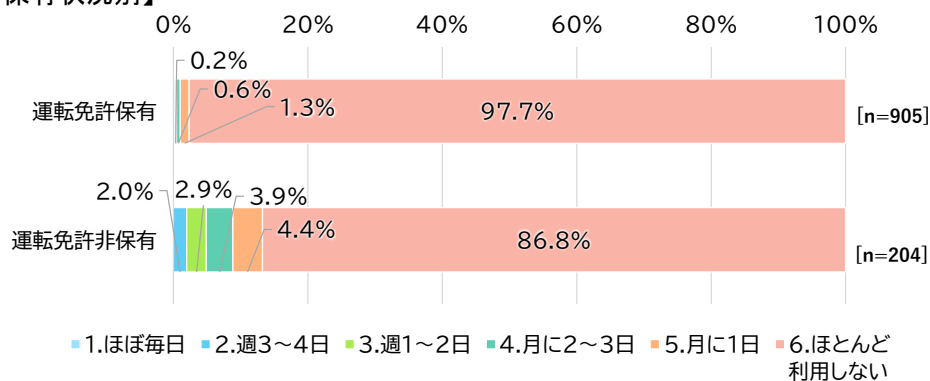
路線バスの利用頻度については、約 4%が「月に 1 日」以上利用していると回答しています。10 歳代で約 11%、75 歳以上で約 9%と、その割合がやや高くなっています。また、運転免許の保有状況別に見ると、運転免許非保有者では、約 13%が「月に 1 日」以上利用しており、利用者は限定的ではあるものの、運転免許を保有しない若年層や高齢者等の交通弱者にとって、路線バスが必要な移動手段となっていると考えられます。



【年齢別】



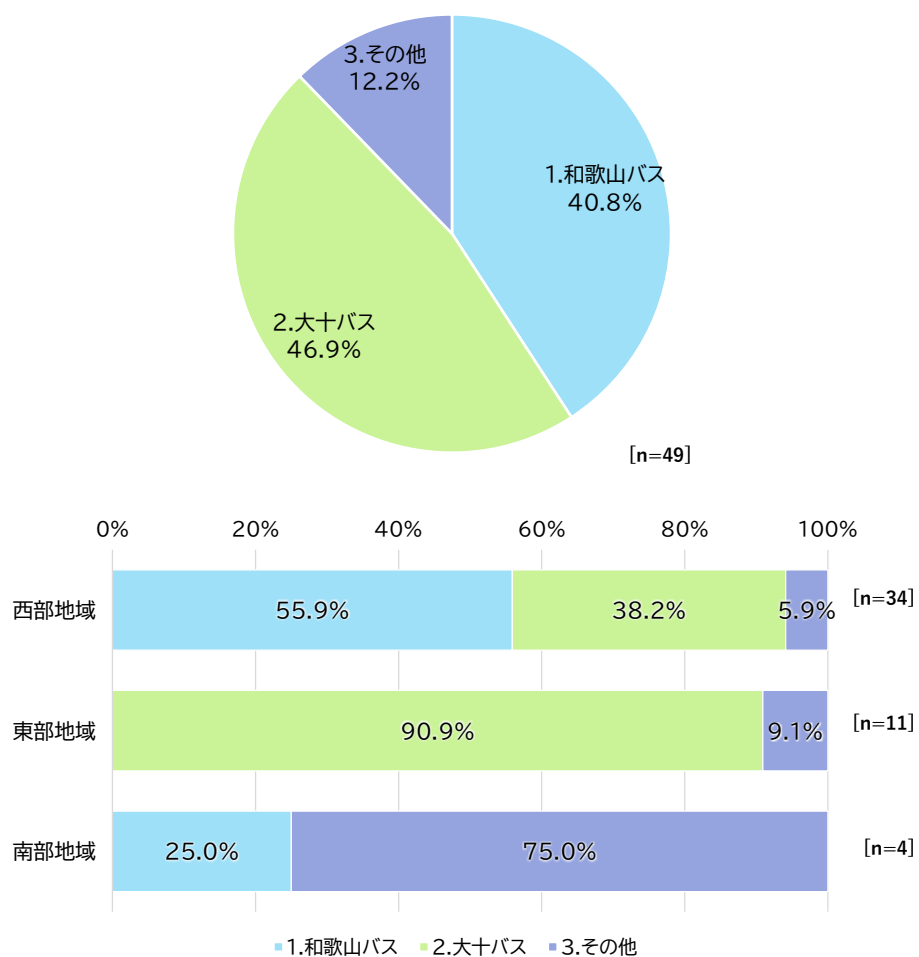
【運転免許の保有状況別】



※ 不明、無回答、複数回答を除く

②最も利用するバス会社

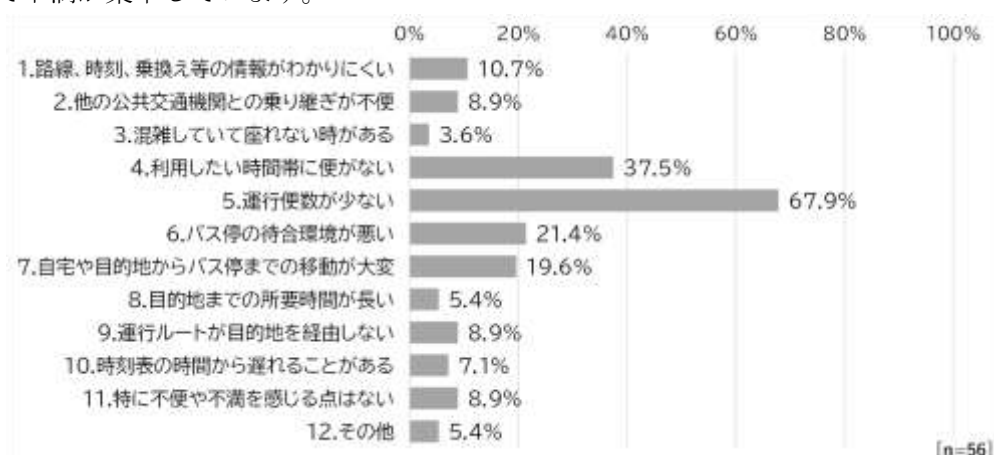
最もよく利用するバス会社については、大十バスと和歌山バスが同程度となっており、西部地域では和歌山バス、東部地域では大十バスの利用が多くなっています。



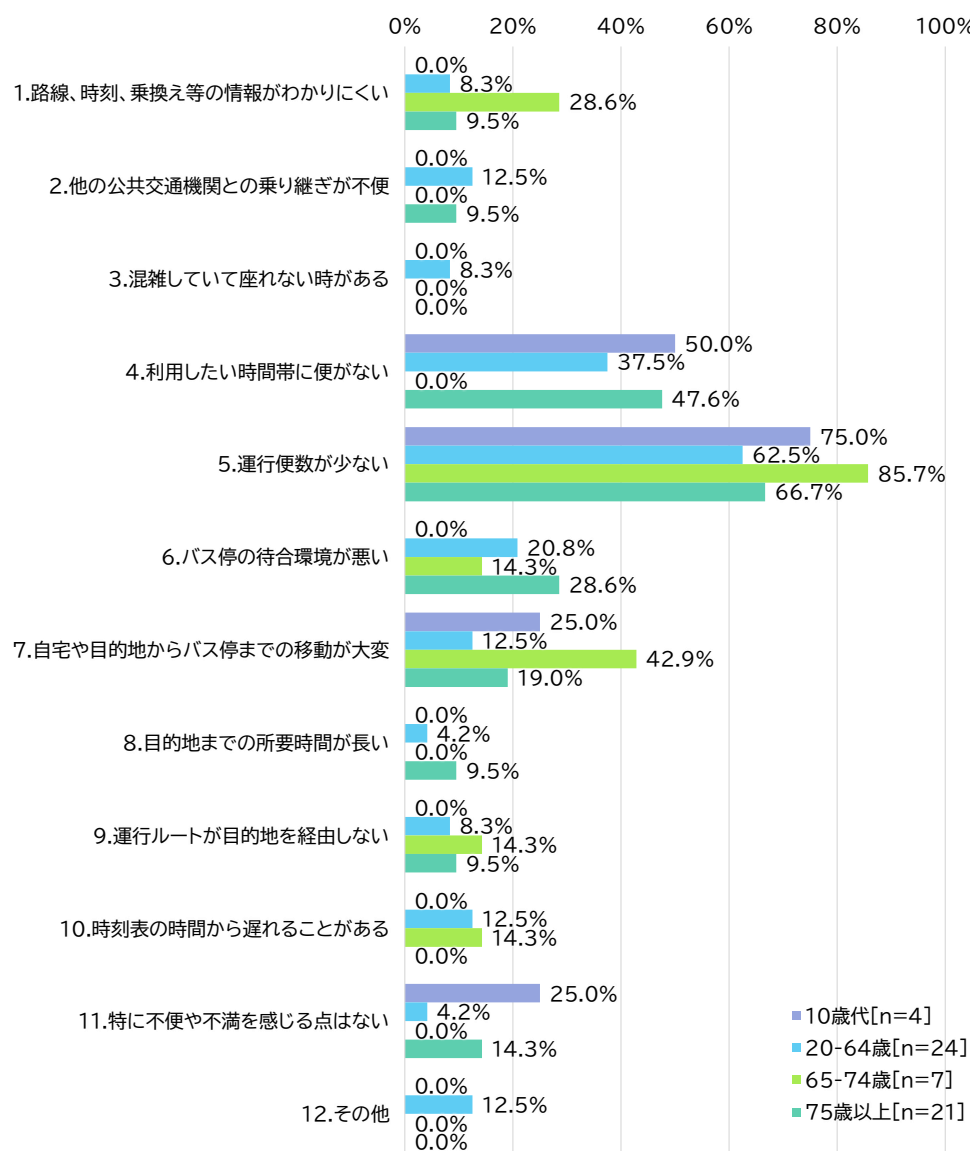
※不明、無回答、複数回答を除く

③路線バスについて不便や不満を感じる点

路線バス利用者が、路線バスについて不便や不満を感じる点としては、「運行便数が少ない」が約68%で最も多く、次いで「利用したい時間帯に便が少ない」が約38%となっており、運行便数の少なさに對して不満が集中しています。

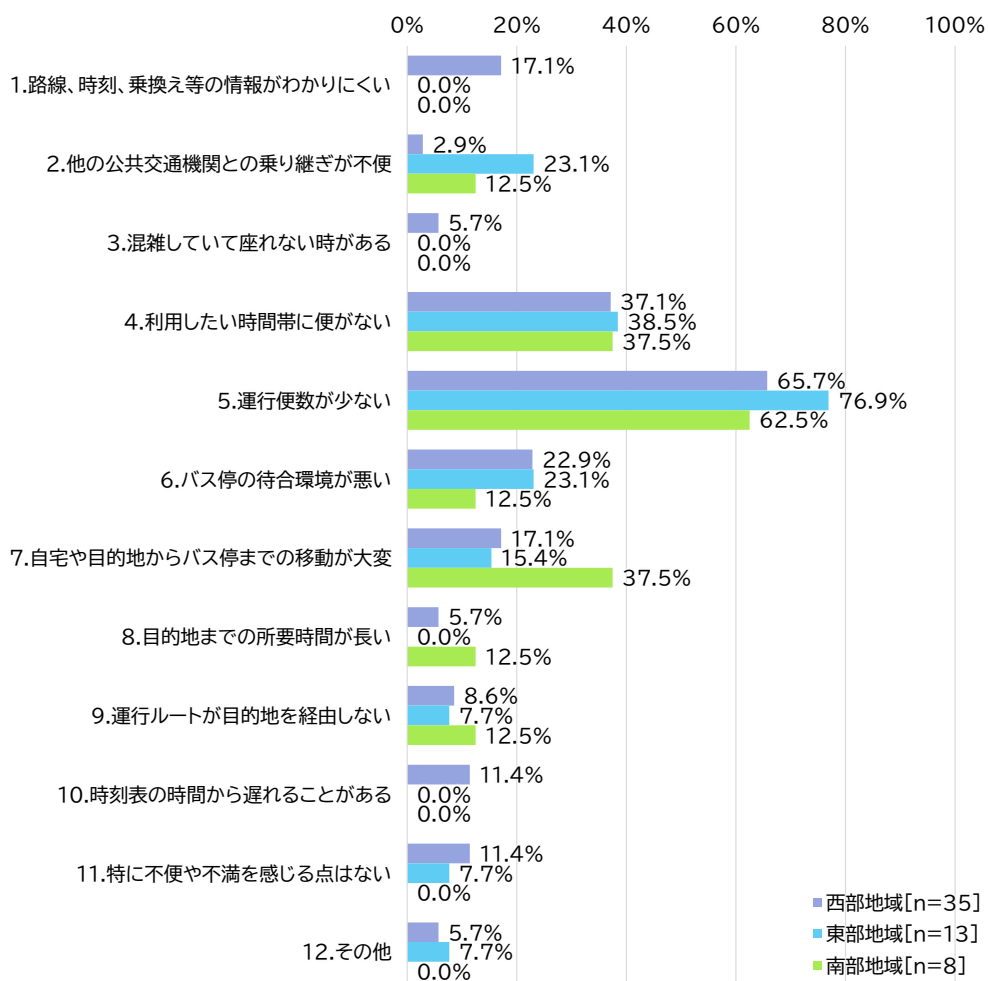


【年齢別】



※不明、無回答を除く

【地域別】

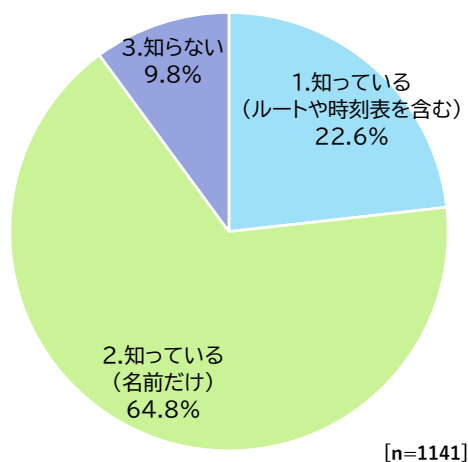


※不明、無回答を除く

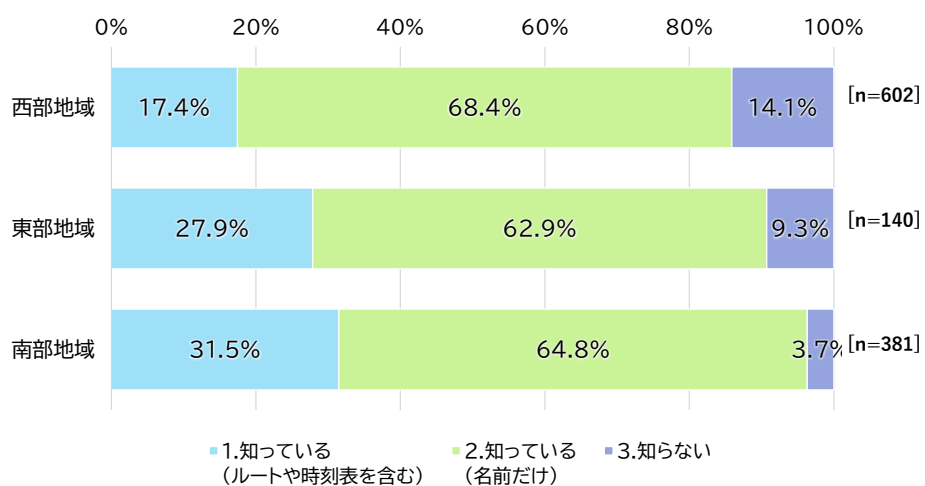
(2) 海南市コミュニティバス（コミバス）の利用について【質問 9】

① コミバスの認知度

コミュニティバスの認知度については、「知っている（ルートや時刻表を含む）」が約 23%、「知っている（名前だけ）」が約 65%となっており、約 9 割の方に認知されています。地域別に見ると、認知度の高い順に南部地域、東部地域、西部地域となっています。



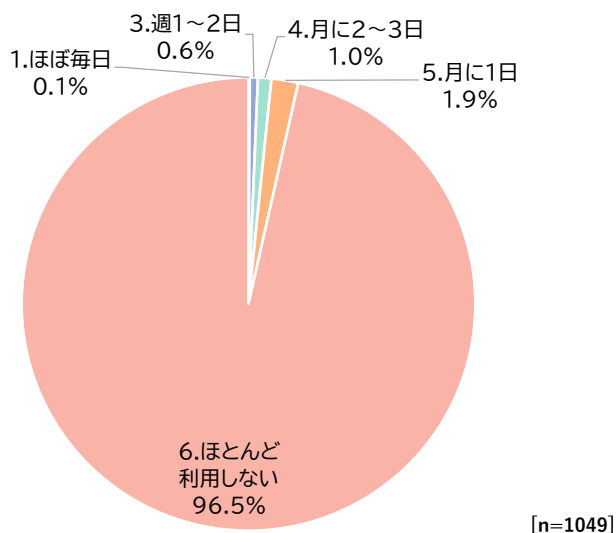
【地域別】



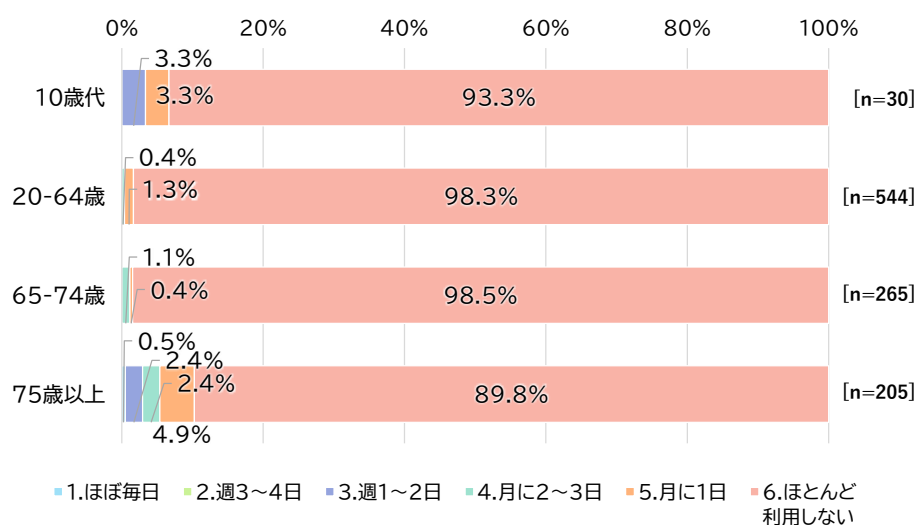
※不明、無回答、複数回答を除く

②コミバスの利用頻度

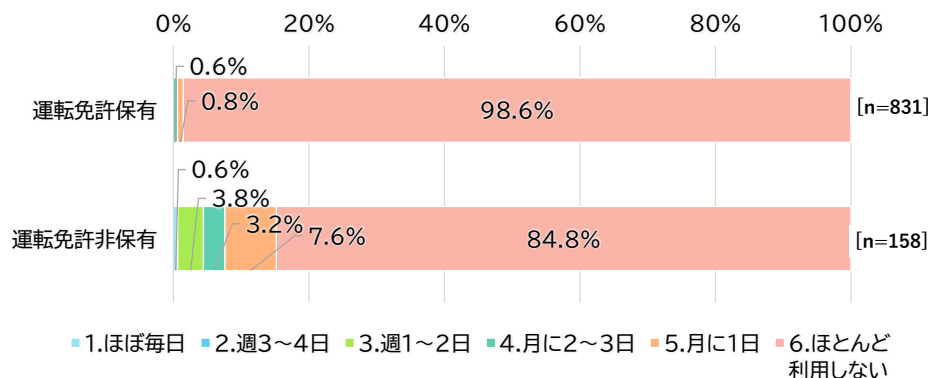
路線バスの利用頻度については、約4%が「月に1日」以上利用していると回答しています。10歳代で約7%、75歳以上で約10%と、その割合がやや高くなっています。また、運転免許の保有状況別に見ると、運転免許非保有者では、約15%が「月に1日」以上利用しており、利用者は限定的ではあるものの、運転免許を保有しない若年層や高齢者等の交通弱者にとって、路線バスと同様にコミュニティバスが必要な移動手段となっていると考えられます。



【年齢別】



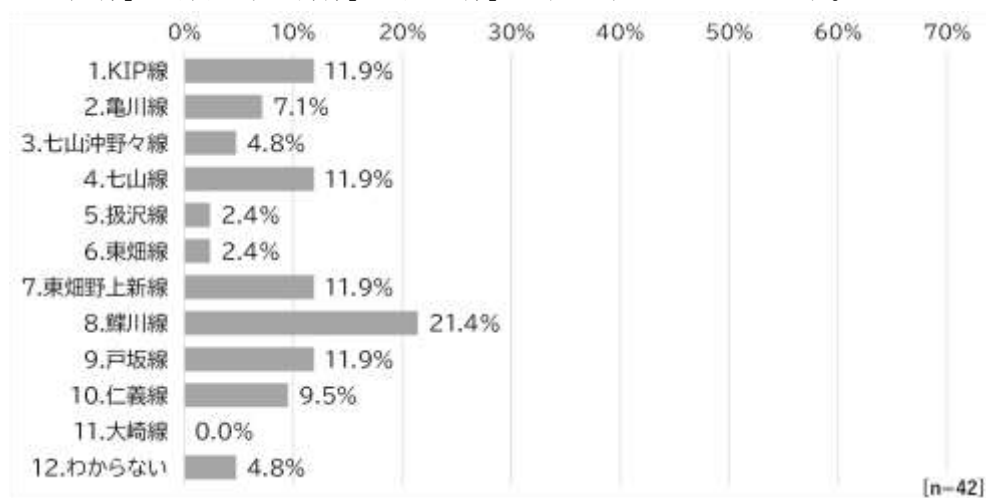
【運転免許の保有状況別】



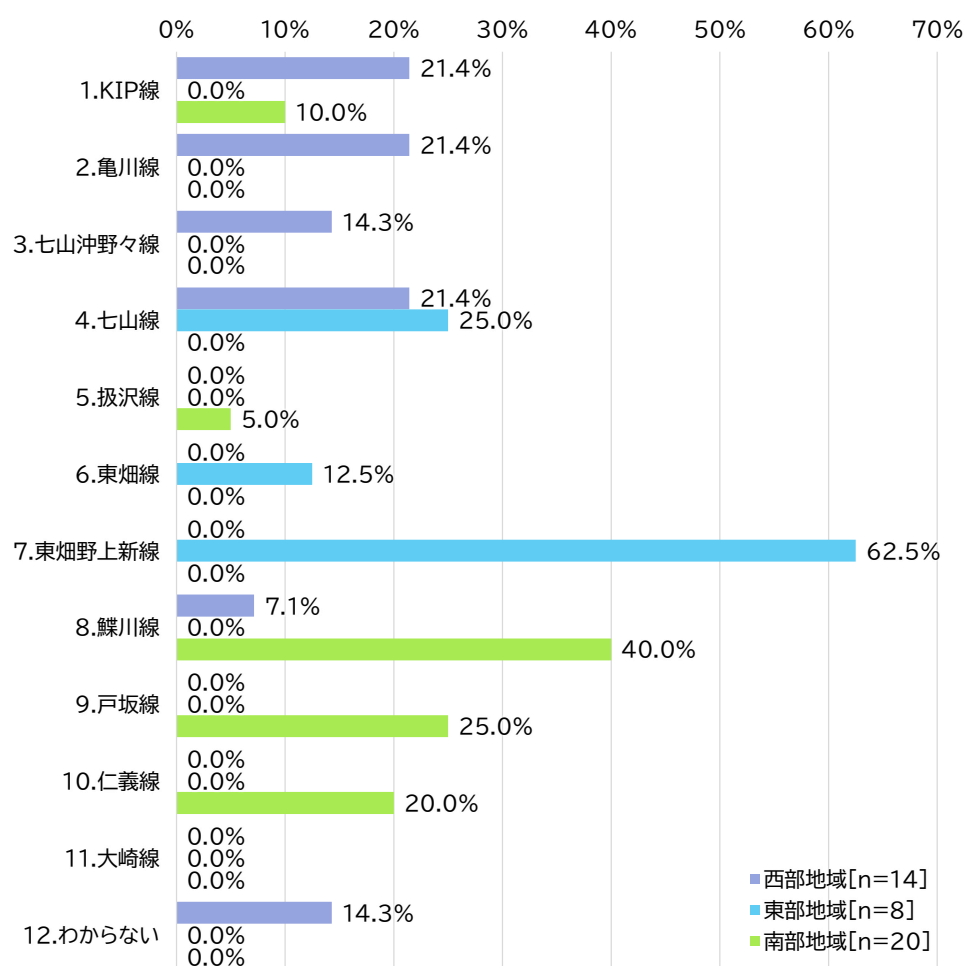
※不明、無回答、複数回答を除く

②最も利用するコミバス路線

コミバス利用者が最もよく利用する路線については、「鰯川線」が約 21%で最も多く、次いで、「KIP 線」「七山線」「東畑野上新線」「戸坂線」が約 12%となっています。



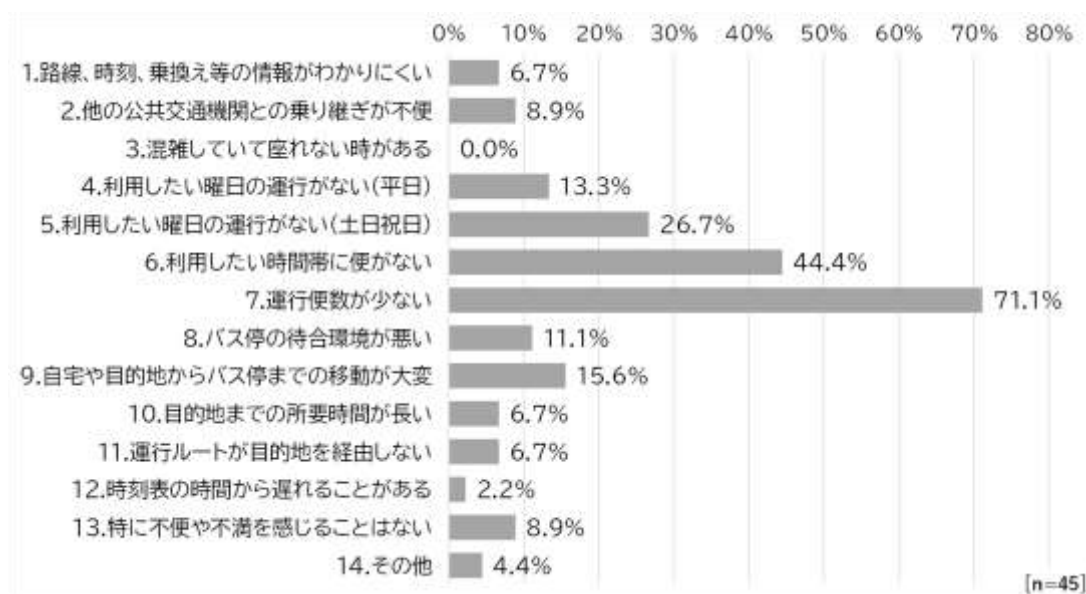
【地域別】



※不明、無回答を除く

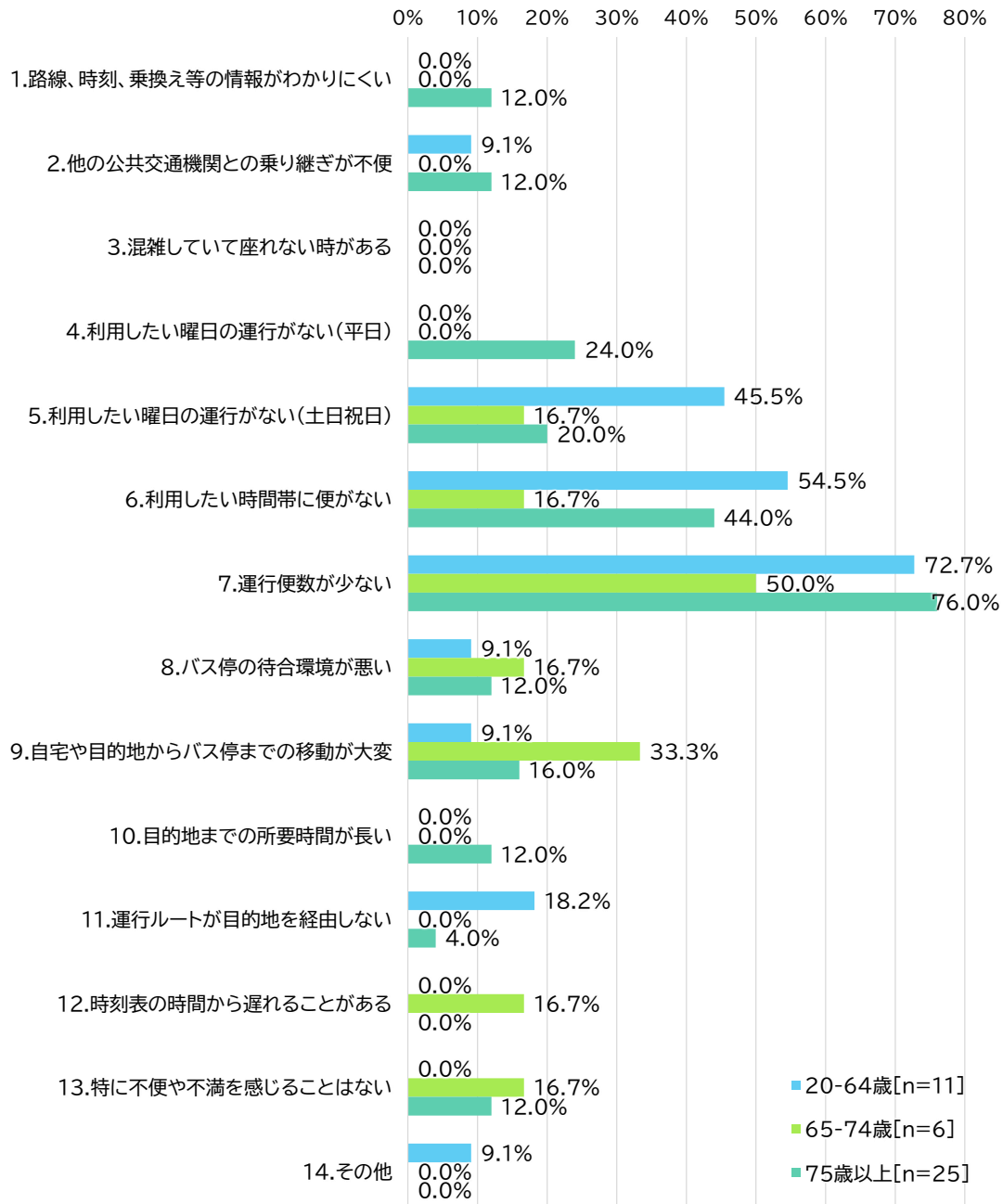
③コミバスについて不便や不満を感じる点

コミュニティバス利用者が、コミュニティバスについて不便や不満を感じる点としては、「運行便数が少ない」が約71%で最も多く、次いで、「利用したい時間帯に便がない」が約44%となっています。また、これに次いで「利用したい曜日の運行がない（土日祝日）」が約27%となっています。



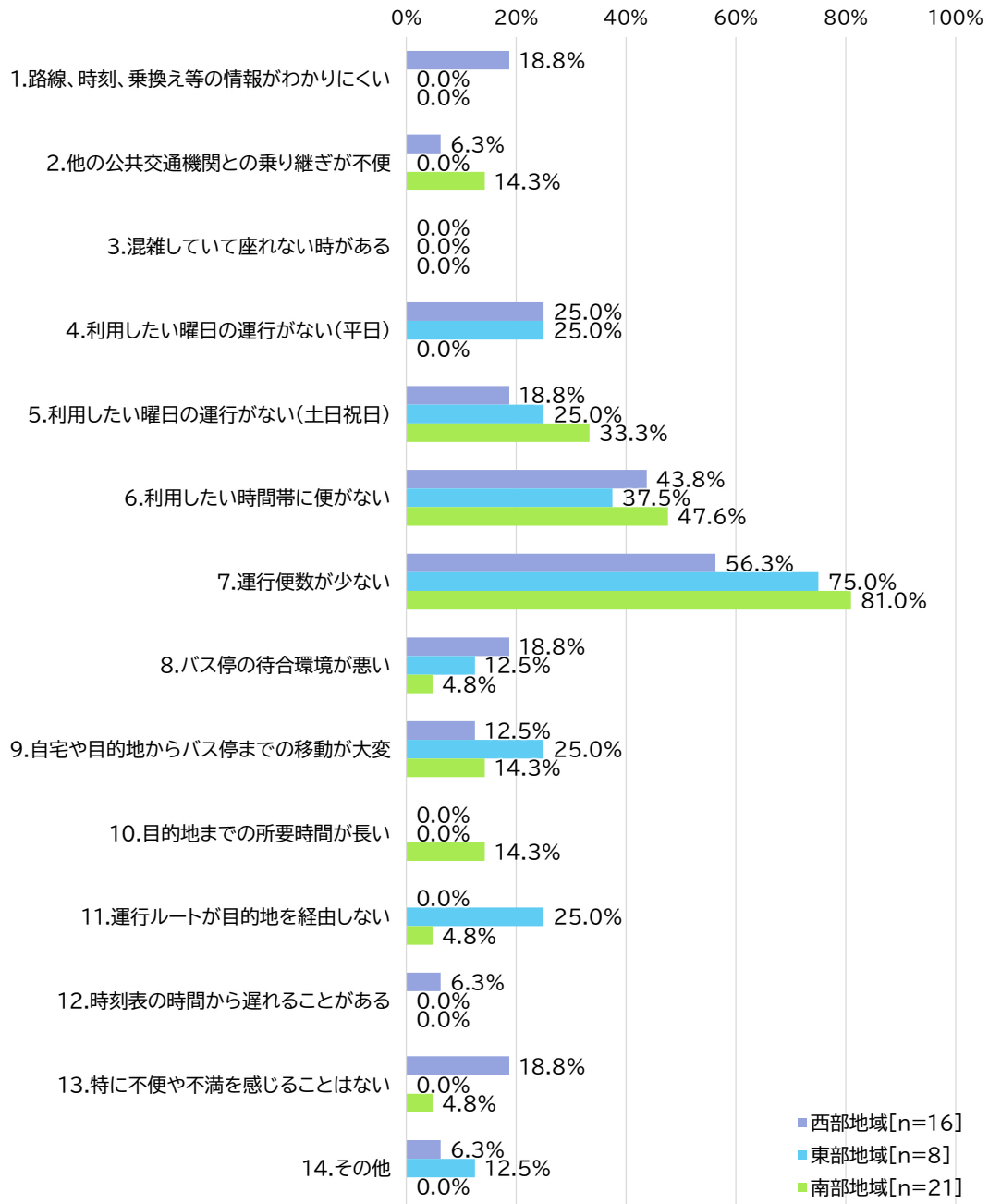
※不明、無回答を除く

【年齢別】



※10 歳代は回答者数が非常に少ないため、グラフ化していない
 ※不明、無回答を除く

【地域別】



■西部地域[n=16]

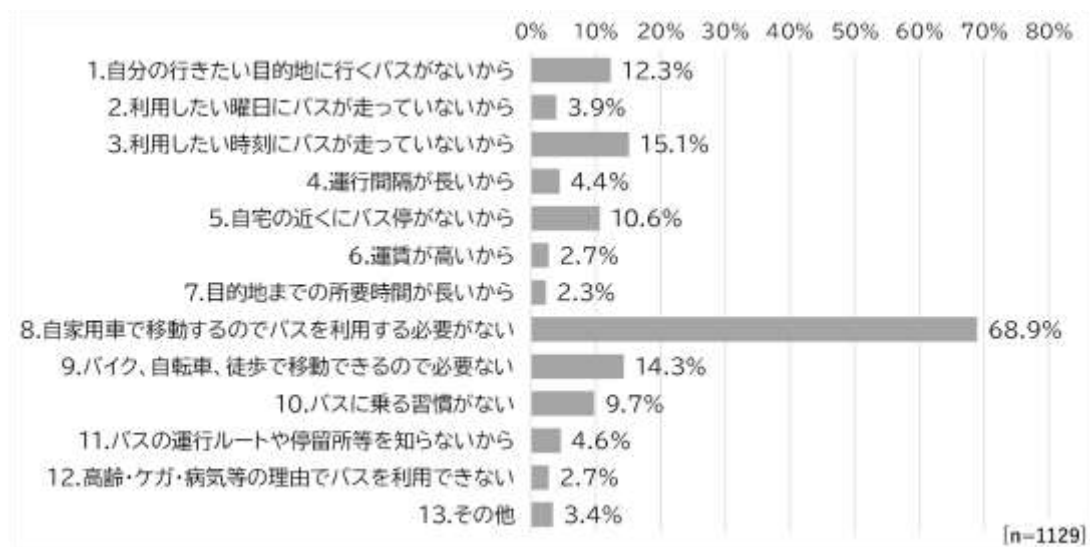
■東部地域[n=8]

■南部地域[n=21]

※不明、無回答を除く

(3) バスを利用しない理由（路線バス・コミバスを利用しないと回答した人のみ）【質問 10】

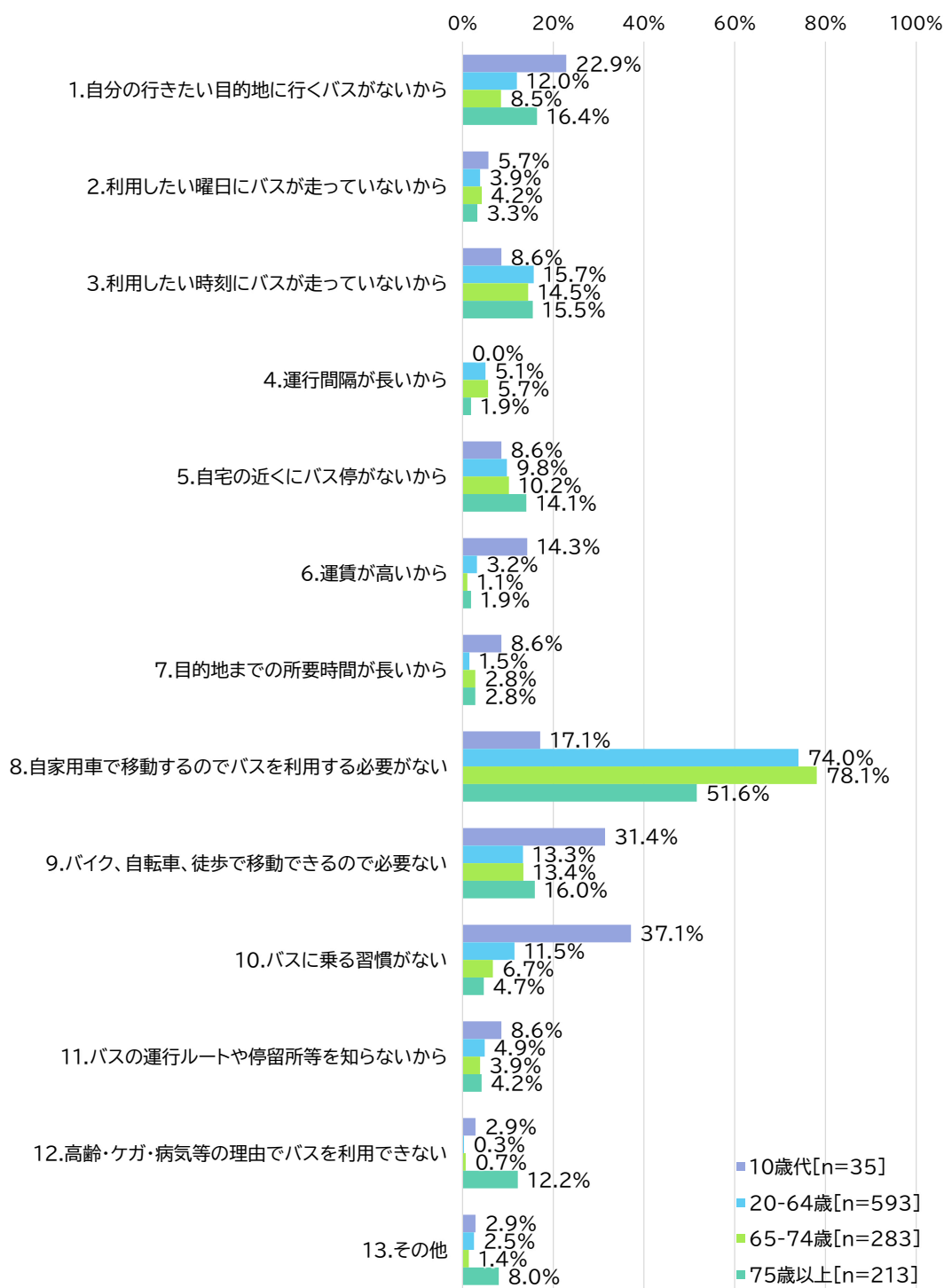
路線バスおよびコミュニティバスを利用しない人が、バスを利用しない理由としては、「自家用車で移動できるのでバスを利用する必要がない」が約 69%で圧倒的に多くなっており、自家用車に依存した生活スタイルが定着していることが伺えます。



※不明、無回答を除く

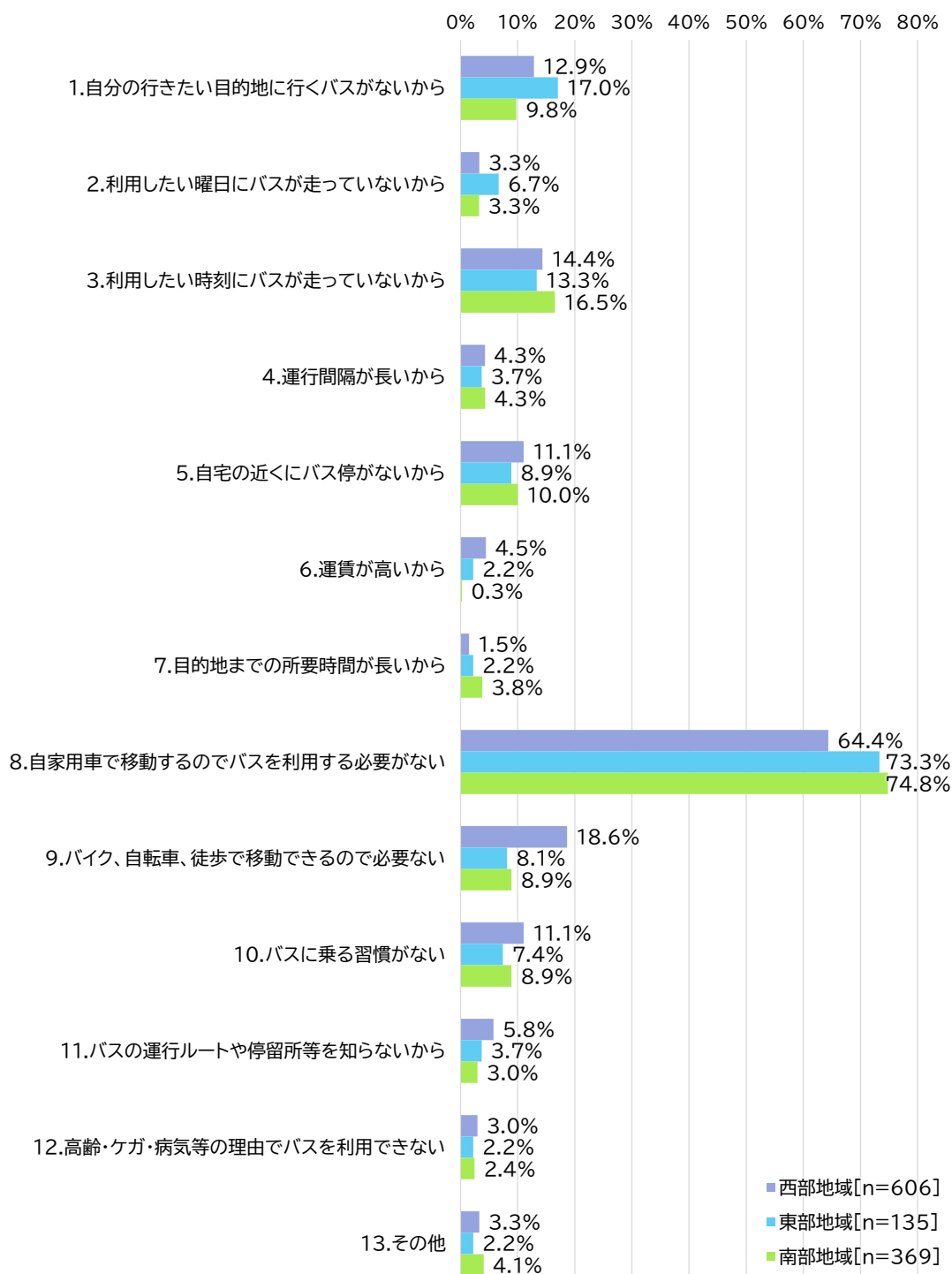
年齢別に見ると、「自家用車で移動できるのでバスを利用する必要がない」の割合は10歳代と75歳以上ではやや低い一方、10歳代では「自転車、バイク、徒歩で移動できるのでバスを利用する必要がない」や「バスを利用する習慣がない」、「自分の行きたい目的地に行くバスがないから」、「運賃が高い」ためにバスを利用していないという人が多くなっています。75歳以上では、「自分の行きたい目的地に行くバスがないから」や「高齢・ケガ・病気等の理由でバスを利用できない」という人が他年代に比べて多くなっています。

【年齢別】



地域別に見ると、大きな地域差はありませんが、東部地域、南部地域では「自家用車で移動するのでバスを利用する必要がない」と回答とした人の割合がやや高く、西部地域では、「バイク、自転車、徒歩で移動できるので必要ない」と回答した人の割合がやや高くなっています。

【地域別】

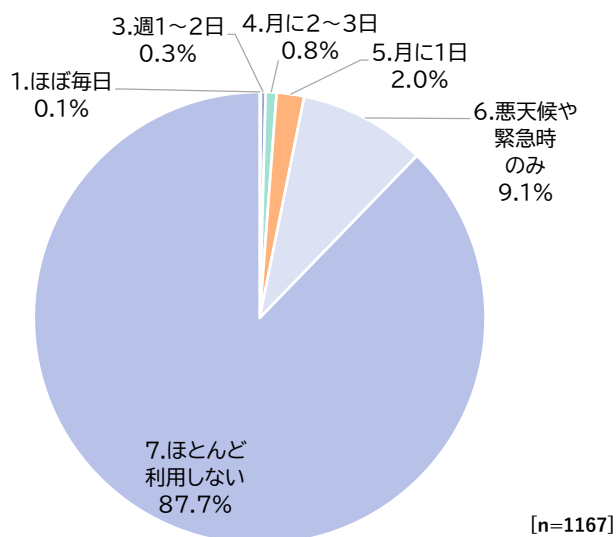


※不明、無回答を除く

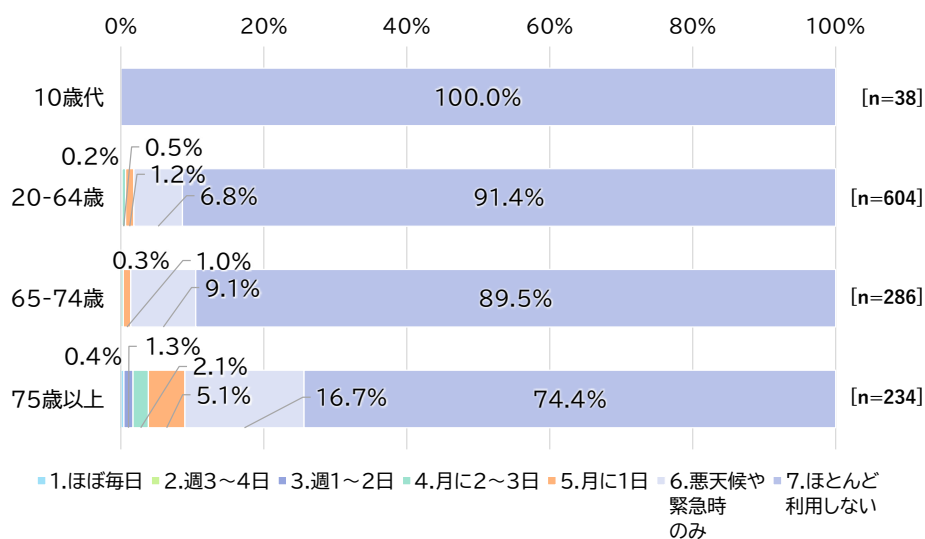
(4) タクシーの利用について【質問 11】

① タクシーの利用頻度

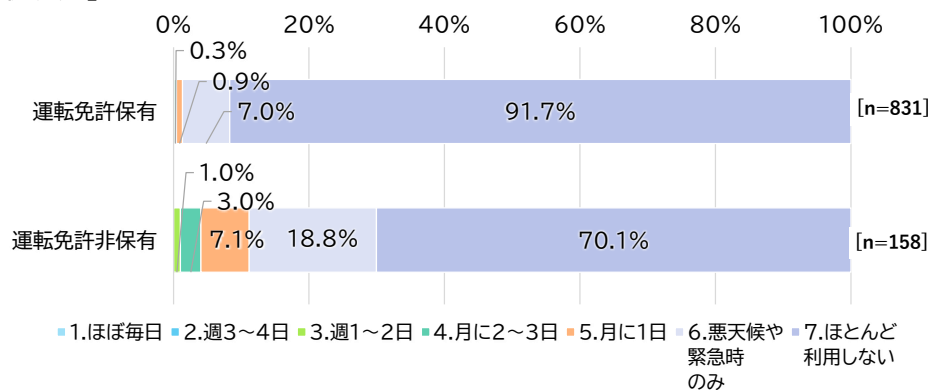
タクシーの利用頻度については、約 3%が「月に 1 日」以上利用していると回答しています。高齢になるほどその割合は高く、75 歳以上で約 9%となっています。また、運転免許の保有状況別に見ると、運転免許非保有者では、約 11%が「月に 1 日」以上利用しています。



【年齢別】



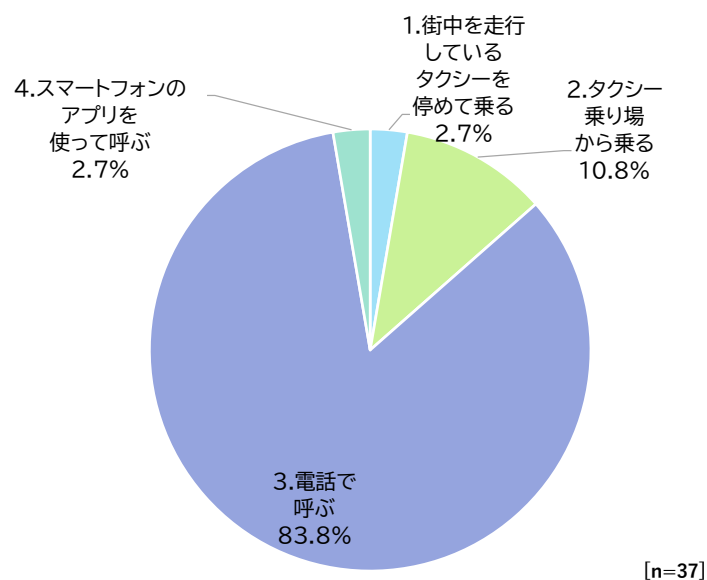
【免許の保有状況別】



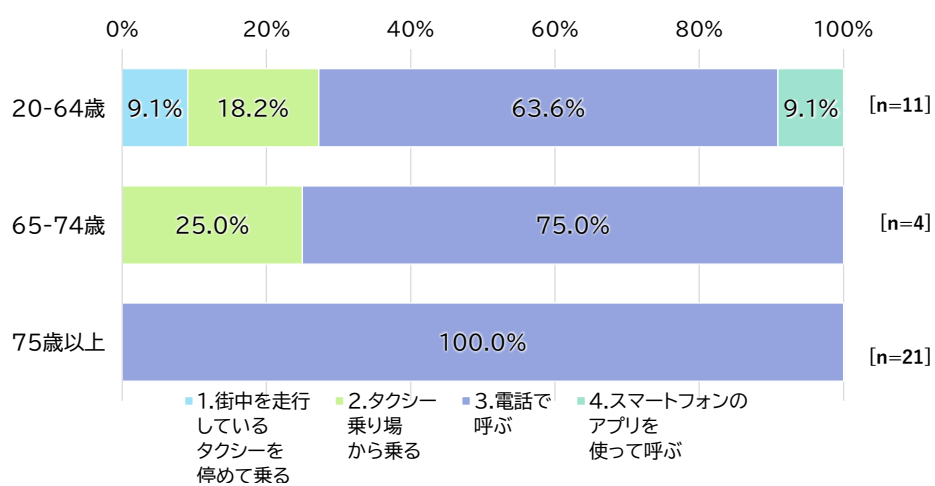
※不明、無回答、複数回答を除く

②タクシーの利用方法

タクシーの利用方法としては、「電話で呼ぶ」が約84%で圧倒的に多くなっています。



【年齢別】



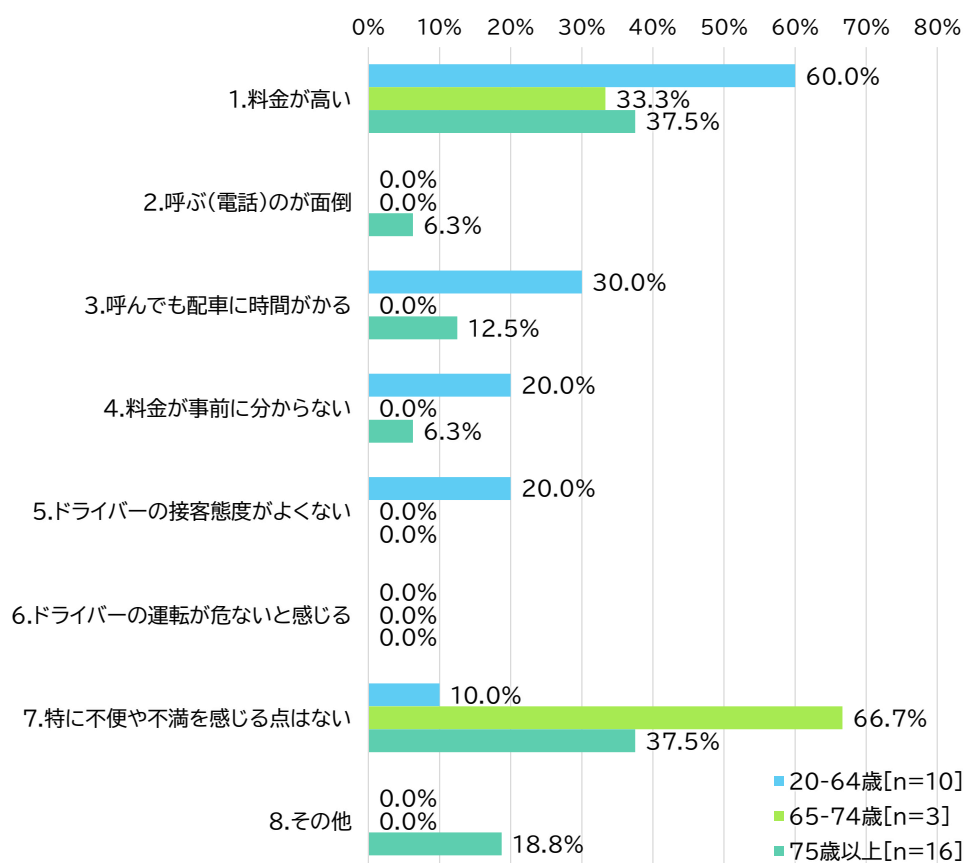
※10歳代は回答者数が非常に少ないため、グラフ化していない
 ※不明、無回答、複数回答を除く

③タクシーについて不便や不満を感じる点

タクシー利用者が、タクシーについて不便や不満を感じる点としては、「料金が高い」が約45%で最も多い一方、次いで「特に不便や不満を感じる点はない」が31%となっています。



【年齢別】

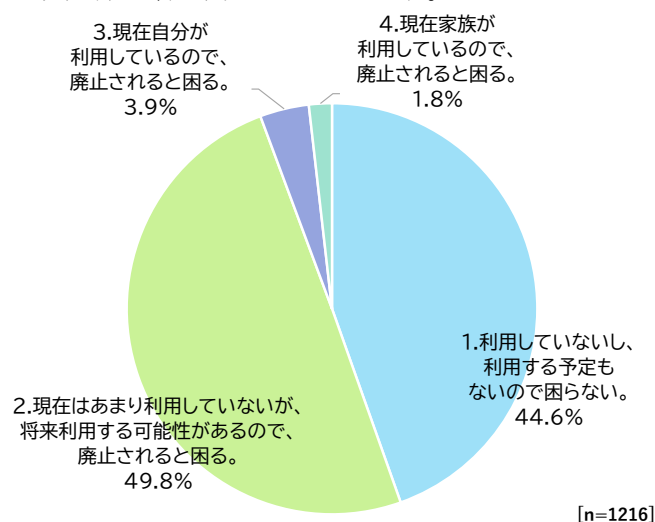


※不明、無回答を除く

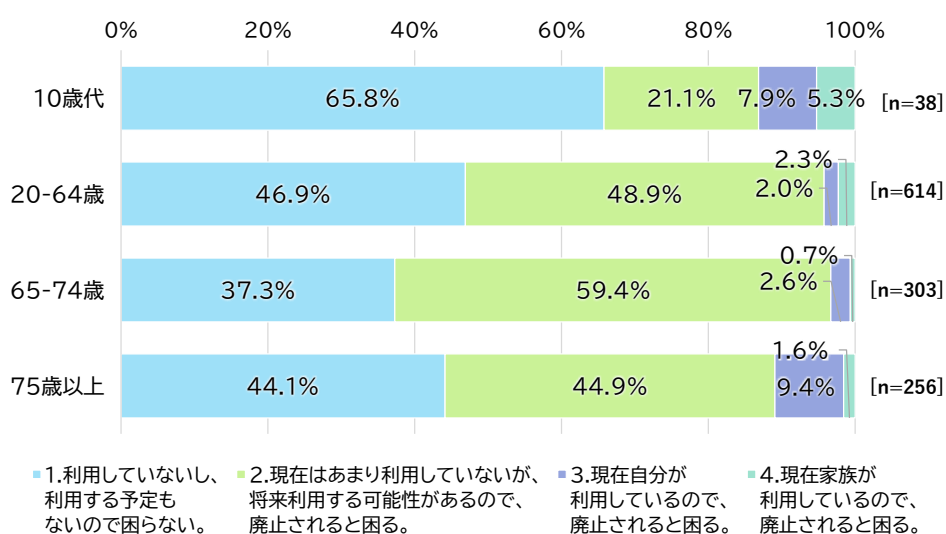
(5) コミバス・路線バスが廃止された場合の対応【質問 12】

① 困ることがあるか

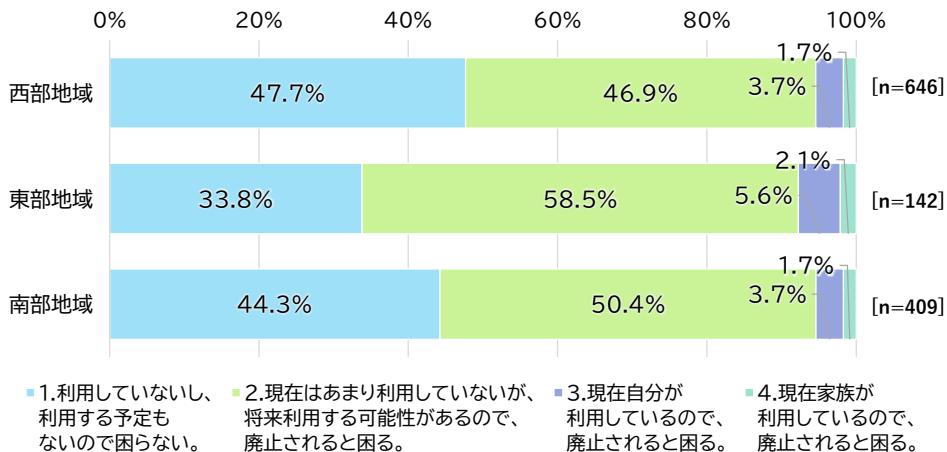
コミュニティバスや路線バスが廃止された場合、「現在、自分または家族が利用しているので、廃止されると困る」という方はあわせて約 6%と低いですが、「将来利用する可能性があるので、廃止されると困る」が約 50%を占め、最も多くなっています。年齢別には、65-74 歳で「将来利用する可能性があるので困る」という割合が最も高くなっています。



【年齢別】



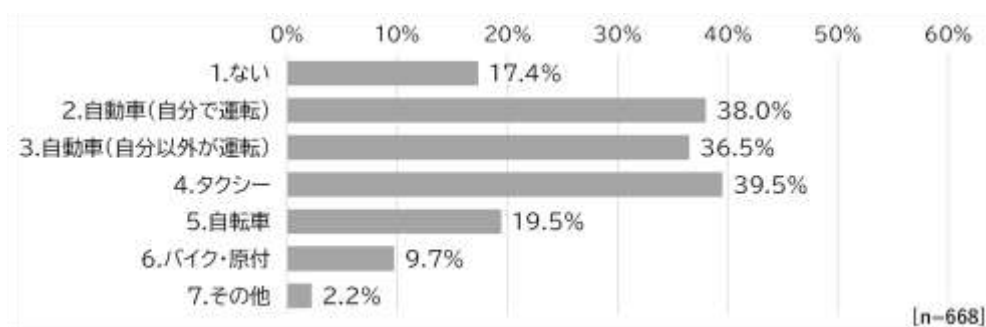
【地域別】



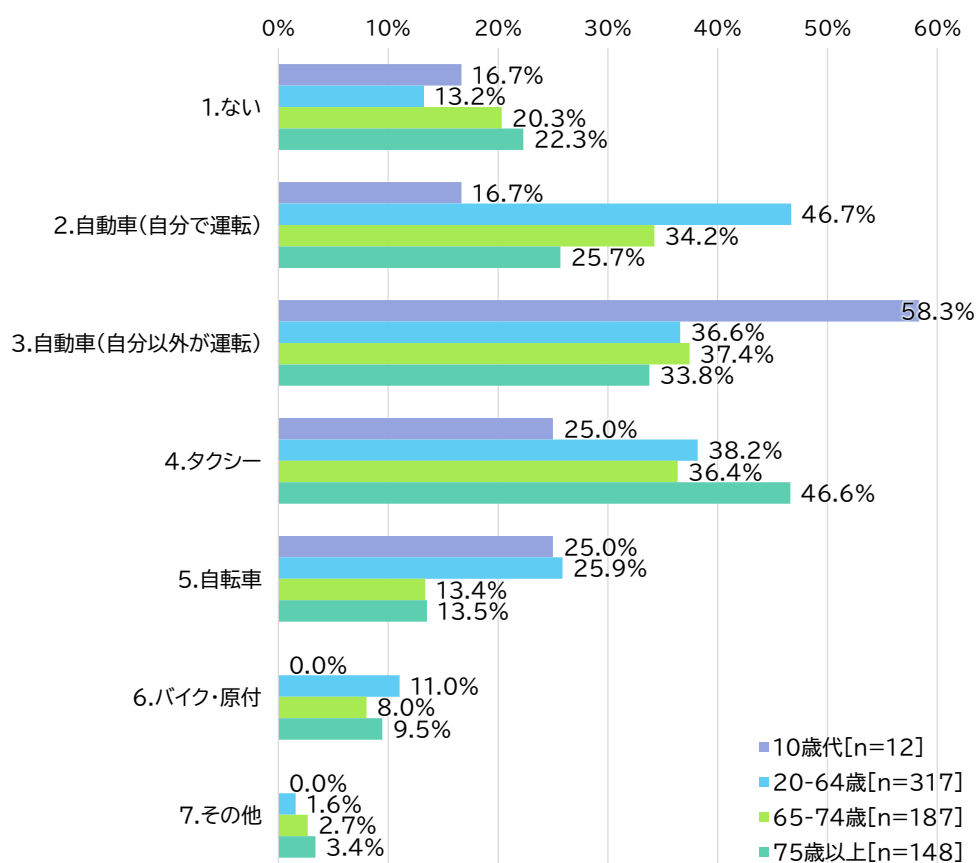
※ 不明、無回答、複数回答を除く

②廃止された場合の代わりの移動手段

コミュニティバスや路線バスが廃止された場合の代わりの移動手段としては、「タクシー」「自動車（自分で運転）」「自動車（自分以外が運転）」が約4割で同程度となっています。年齢別に見ると、10歳代では「自動車（自分以外が運転）」、20-64歳では「自動車（自分が運転）」、75歳以上では「タクシー」と回答した人の割合が高くなっています。



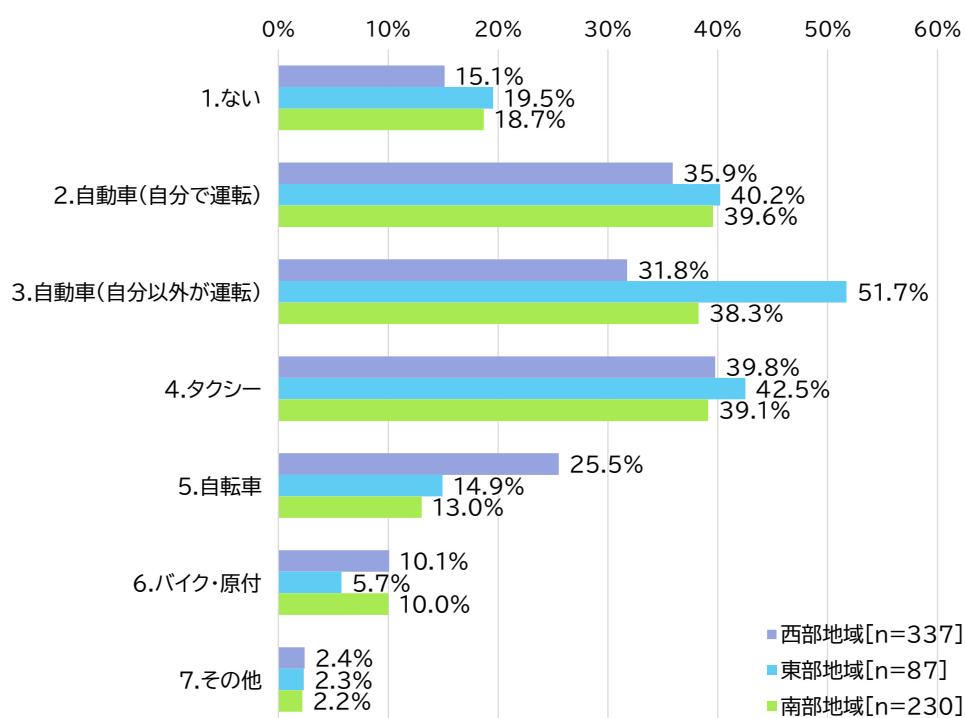
【年齢別】



※不明、無回答を除く

地域別に見ると、大きな地域差はありませんが、西部地域では「自転車」が約26%と他地域に比べてやや高くなっています。

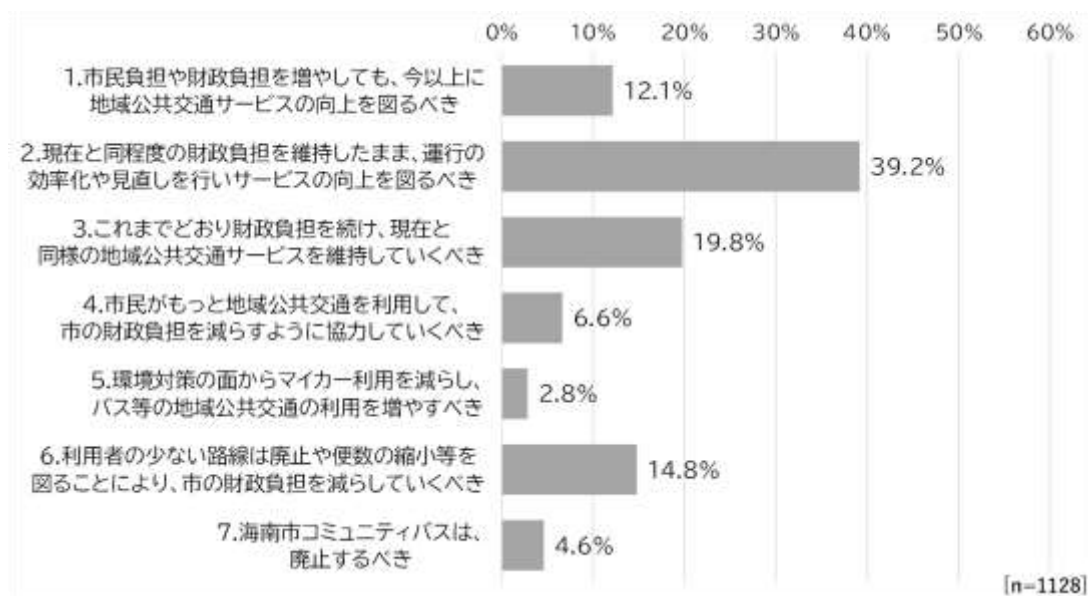
【地域別】



※不明、無回答を除く

(6) 今後の地域公共交通に対する財政負担の考え方【質問 13-①】

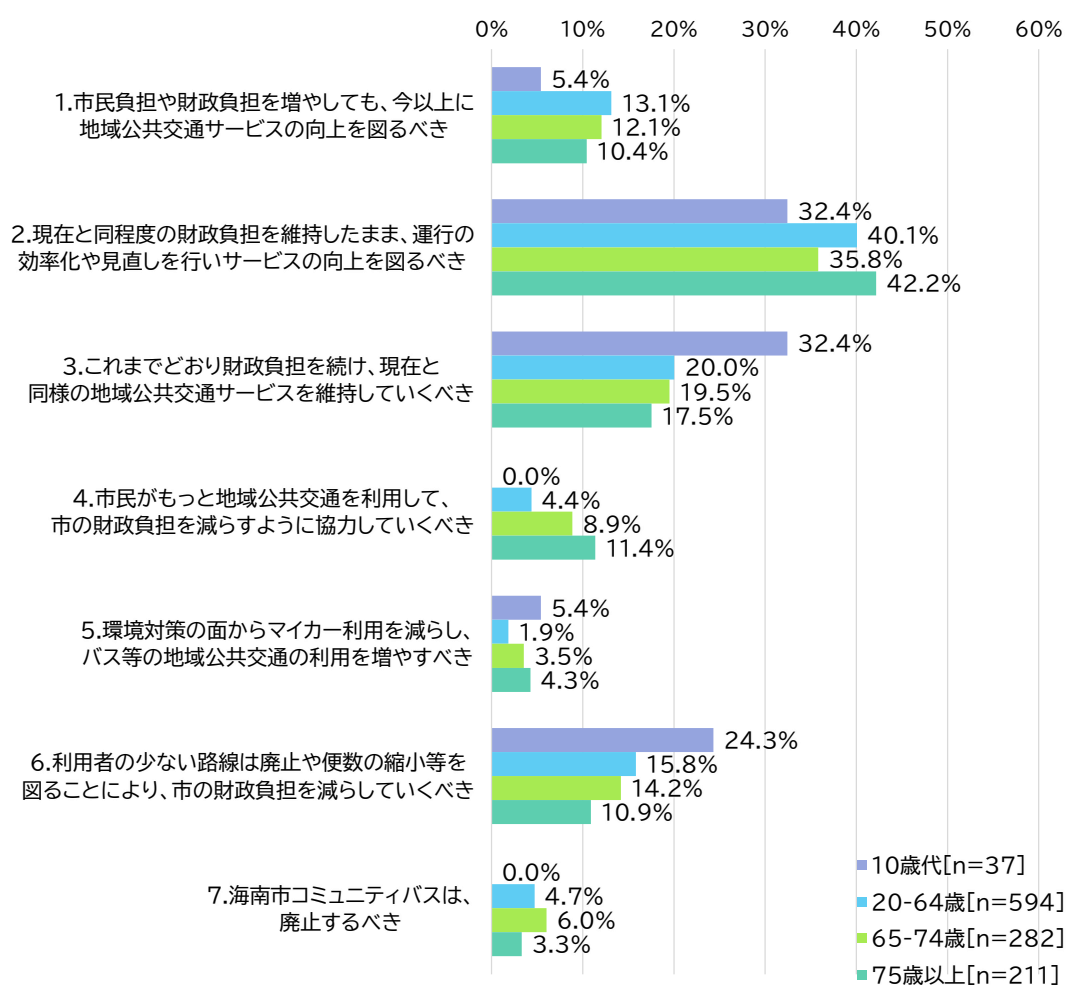
今後の地域公共交通に対する財政負担の考え方については、「現在と同程度の財政負担を維持したまま、運行の効率化や見直しを行いサービスの向上を図るべき」が約 39%で最も多く、これに次いで「これまで通りの財政負担を続け、現在と同様の地域公共交通サービスを維持していくべき」が約 20%となっています。



※不明、無回答を除く

年齢別に見ると、「現在と同程度の財政負担を維持したままサービスの向上を図るべき」や「市民がもっと地域公共交通を利用して市の財政負担を減らすよう協力していくべき」については、高齢になるほどその割合が高い傾向があります。一方、「利用者の少ない路線の廃止や便数の縮小等を図ることにより、市の財政負担を減らしていくべき」については若年層ほどその割合が高い傾向があり、世代間でやや考え方にギャップが見られます。

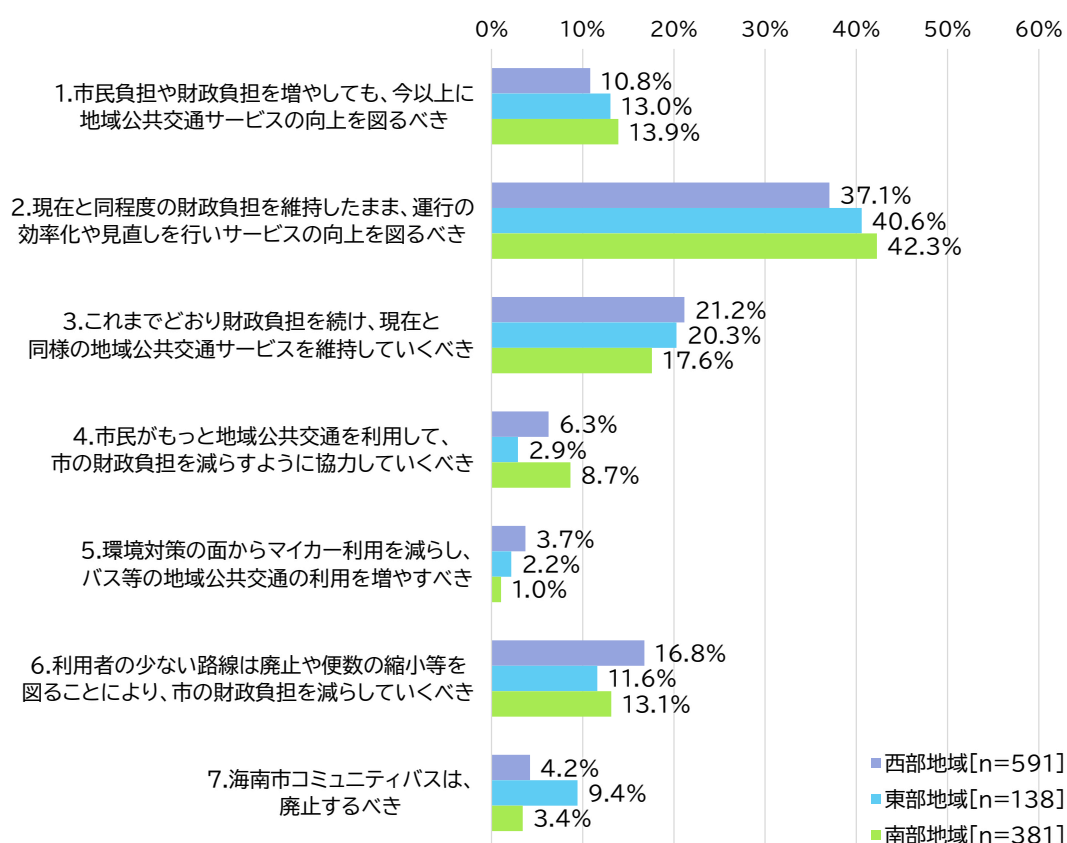
【年齢別】



※不明、無回答を除く

地域別に見ると、大きな地域差はありませんが、南部地域では、「現在と同程度の財政負担を維持したままサービスの向上を図るべき」や「市民負担や財政負担を増やしても、今以上に地域公共交通のサービスを図るべき」というサービス向上を求める意見がやや他地域に比べて高くなっています。一方、西部地域では「利用者の少ない路線の廃止や便数の縮小等を図ることにより、市の財政負担を減らしていくべき」の割合がやや高くなっています。

【地域別】

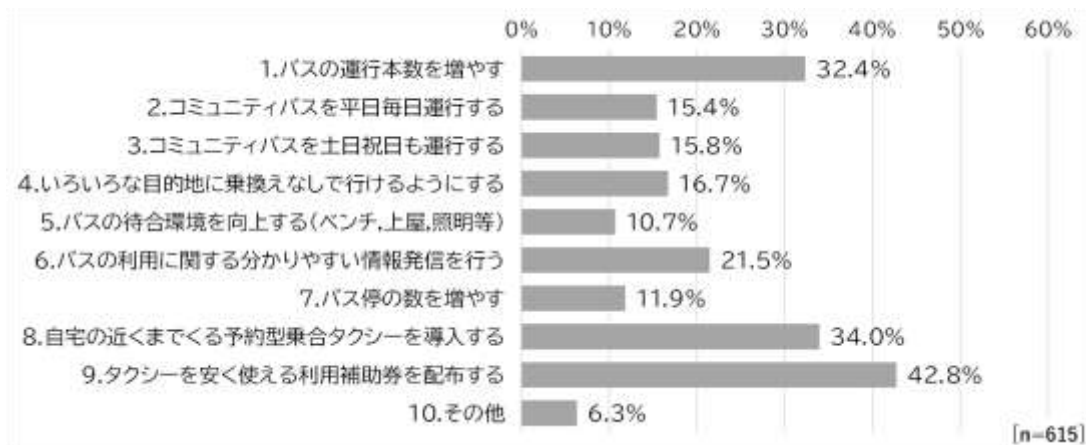


※不明、無回答を除く

(7) 今後の地域公共交通において、向上が望まれるサービス【質問 13-②】

※質問 13-①で「1.」または「2.」を選んだ方のみ

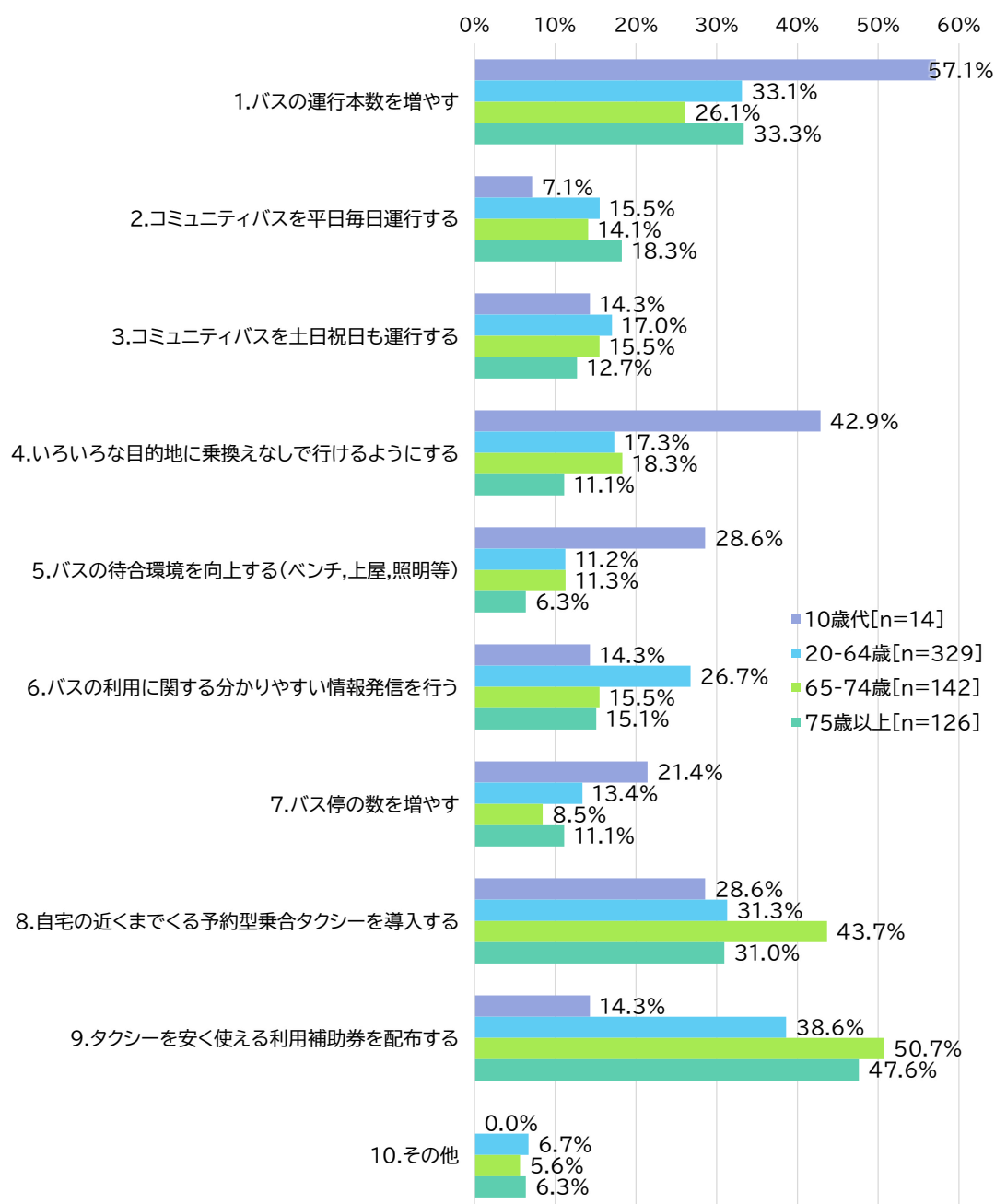
今後の地域公共交通において向上が望まれるサービスとしては、「タクシーを安く使える利用補助券」が約 43%で最も多く、次いで「予約型乗合タクシーを導入する」（約 34%）「バスの運行本数を増やす」（約 32%）となっています。



※不明、無回答を除く

年齢別に見ると、10歳代はバスに関するサービスの向上を望む人が多くっており、65歳以上はタクシーの利用補助券の配布や予約型乗合タクシーの導入を望む人が多い傾向となっています。

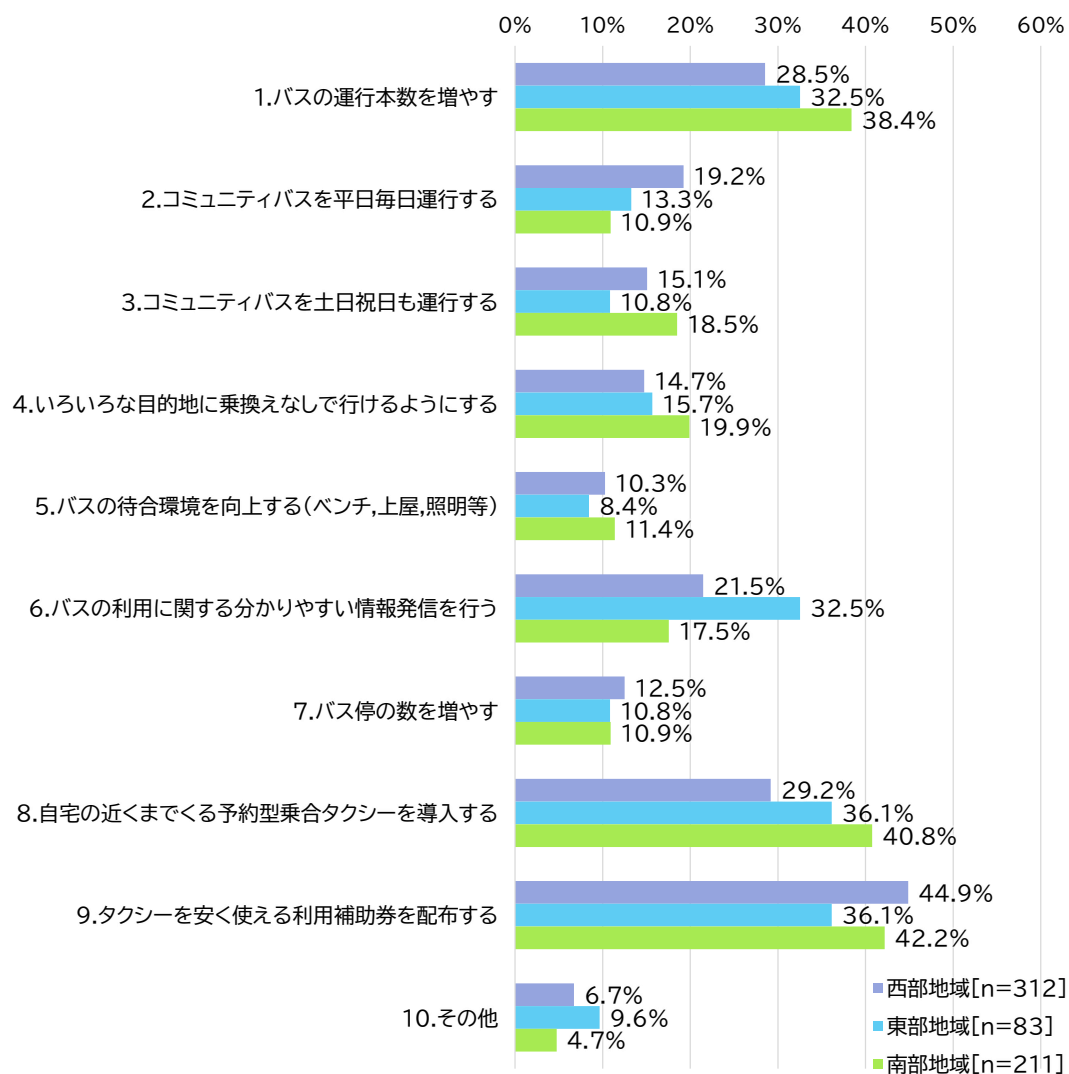
【年齢別】



※不明、無回答を除く

地域別にみると、南部地域ではバス運行本数の増便、予約型乗合タクシーの導入を望む人が、他地域に比べて多い傾向となっています。

【地域別】



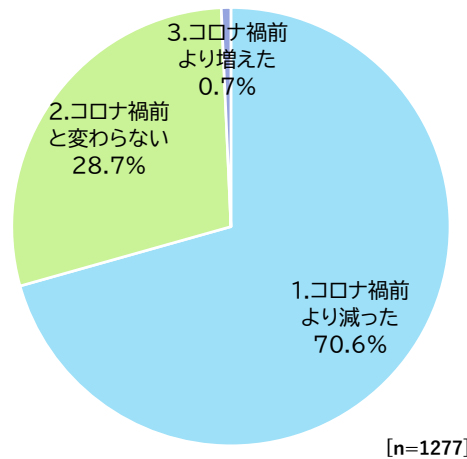
※不明、無回答を除く

2.2.3 最近の生活スタイルについて【質問 14, 15】

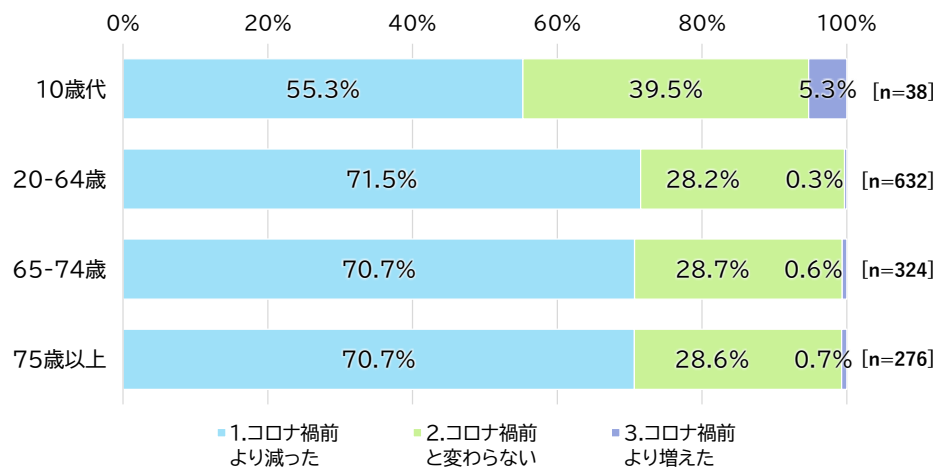
(1) 新型コロナの影響について

①外出頻度

新型コロナの影響による外出頻度の変化は、約 7 割がコロナ禍前よりも外出頻度が減ったと回答しています。年齢別に見ると、外出頻度が減ったと回答した割合は、20 歳以上はほぼ同程度となっています。



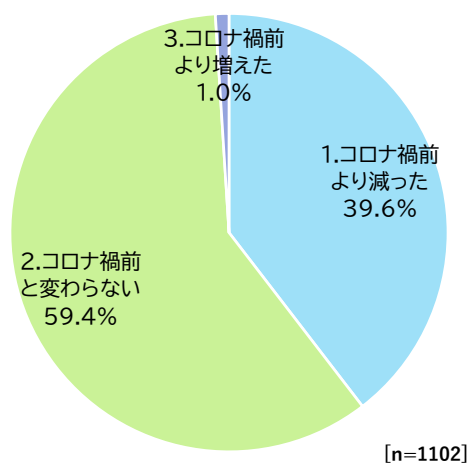
【年齢別】



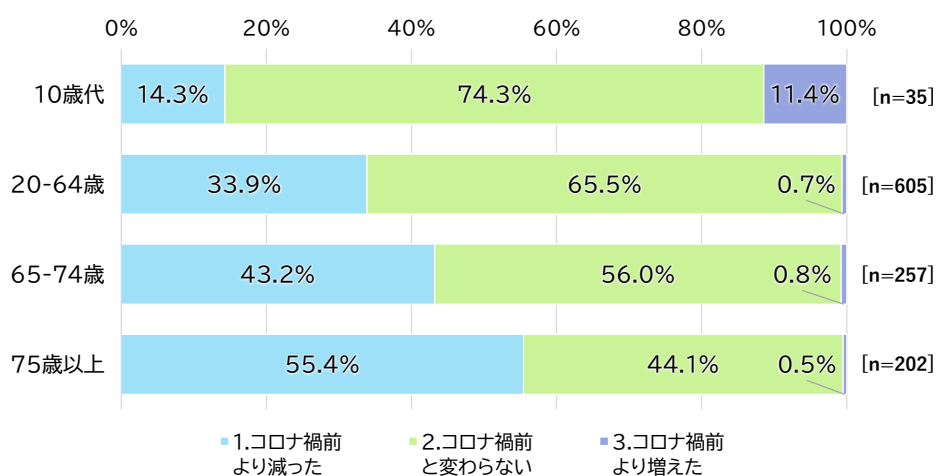
※不明、無回答、複数回答を除く

②-1 公共交通の利用頻度

公共交通の利用頻度の変化は、約40%がコロナ禍前よりも減ったと回答しています。年齢別に見ると、高年齢になるほど「減った」と回答した割合は高くなっており、75歳以上では、「減った」と回答した割合が約55%と半数を超えています。



【年齢別】

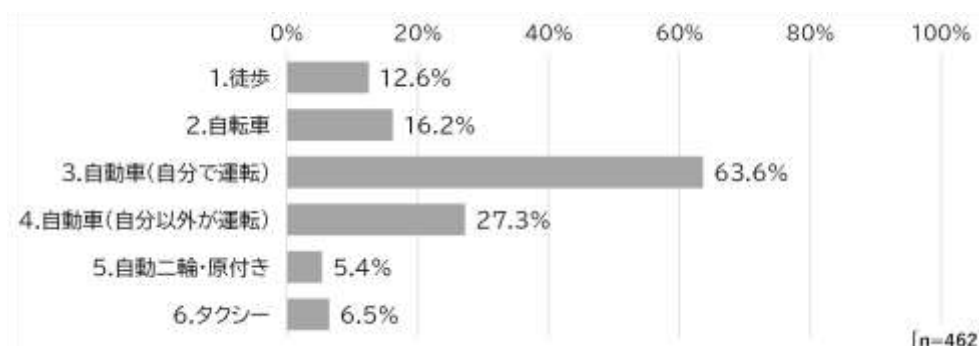


※不明、無回答、複数回答を除く

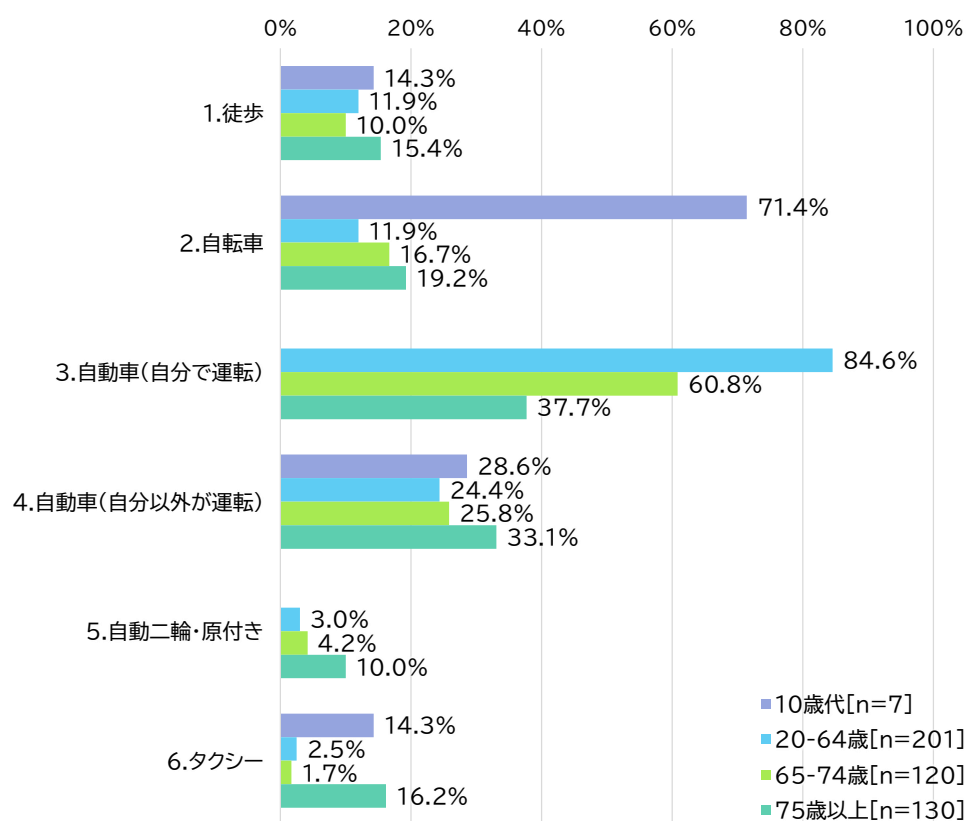
②-2 公共交通の代わりに増えた交通手段（②で「1. コロナ禍前より減った」と回答した方）

公共交通の代わりに増えた交通手段としては、「自動車（自分で運転）」が約 64%でもっとも多くなっています。これに次いで「自動車（自分以外が運転）」が約 27%で、自動車へのシフトが顕著となっています。

年齢別に見ると、10 歳代は「自転車」、20 歳以上は「自動車（自分で運転）」が最も多く、75 歳以上では「自動車（自分以外が運転）」も多くなっています。また、10 歳代、75 歳以上は「タクシー」の利用が他年代に比べて多くなっています。



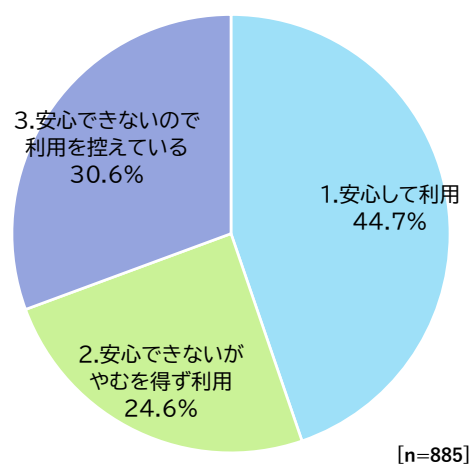
【年齢別】



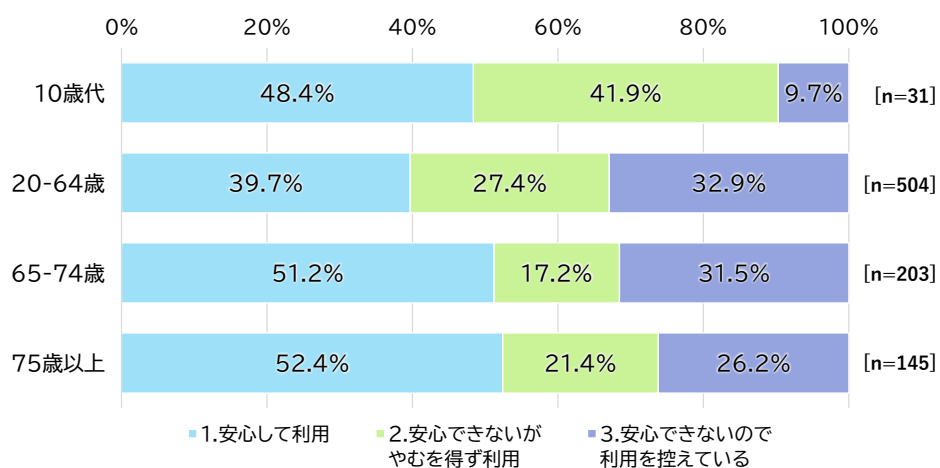
※不明、無回答を除く

③ 公共交通利用への安心感

公共交通を利用する上での安心感については、安心して利用しているのは約 45%にとどまり、約 31%が利用を控えていると回答しています。



【年齢別】

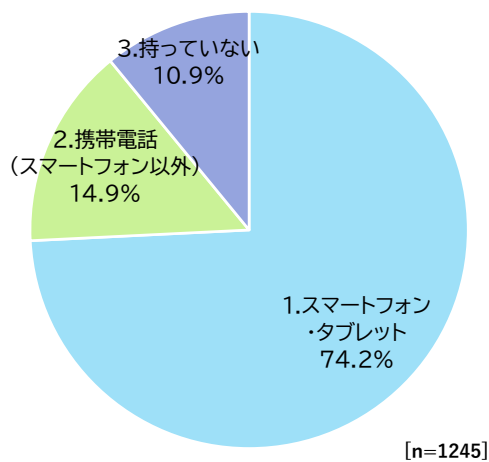


※不明、無回答、複数回答を除く

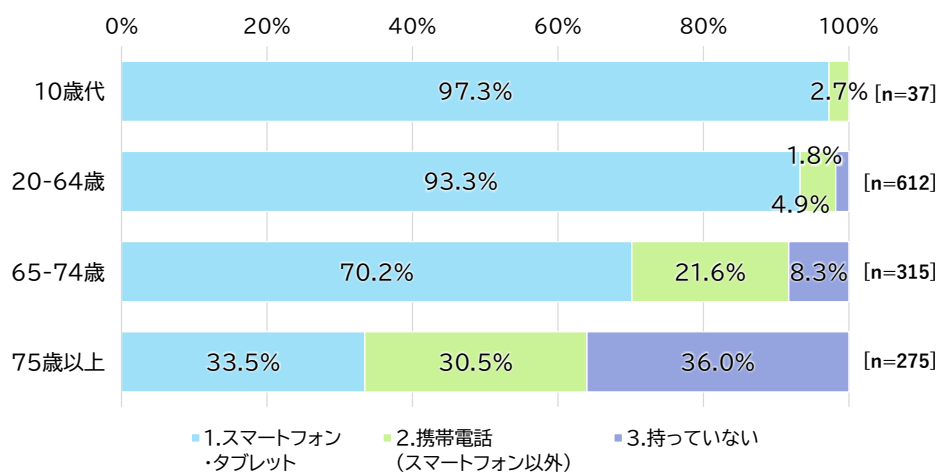
(2) スマートフォン等の所有・利用状況について

① 保有状況

スマートフォン・タブレットについては、全体では約75%が保有すると回答していますが、年齢とともに保有率は低くなっており、75歳以上では約34%となっています。



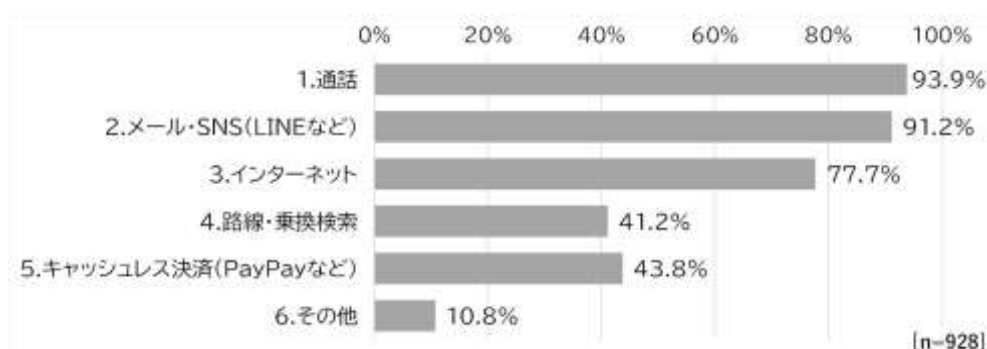
【年齢別】



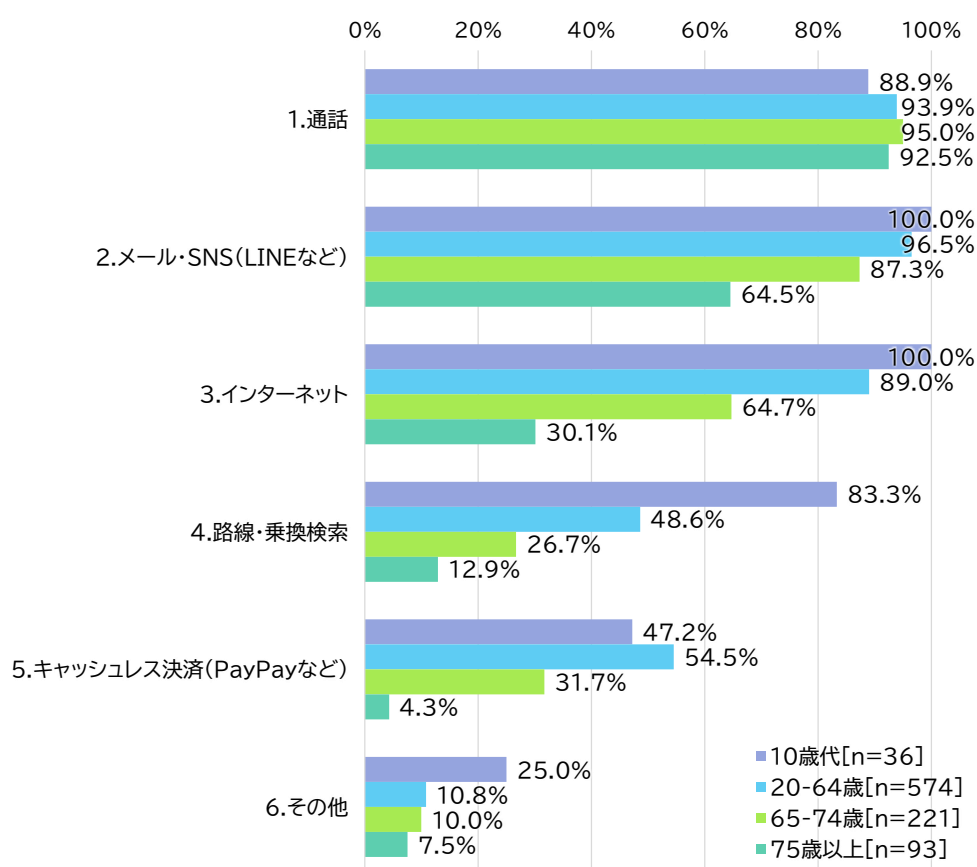
※不明、無回答、複数回答を除く

②スマートフォンで利用する機能

回答者がスマートフォンで利用する機能として、通話、メール・SNS については9割以上、インターネットについては約8割が利用する一方、路線・乗換検索、キャッシュレス決済については約4割程度にとどまっています。特に、75歳以上の高齢者では、インターネットについては約30%、路線・乗換検索については約13%、キャッシュレス決済については約4%と、他年代に比べて低くなっています。



【年齢別】



※不明、無回答を除く